

教育改革が進んでいる中、特に社会的な関心を集めているのが学力の低下論争であろう。小・中学校では、学習指導要領の改訂によって、国語や算数などの教科で教える内容が3割削減された。同時に、学校完全週5日制に伴う授業時間数の減少や「総合的な学習の時間」の新設などが実施されたので、「学力低下を招く」との批判や不安が強まっている。

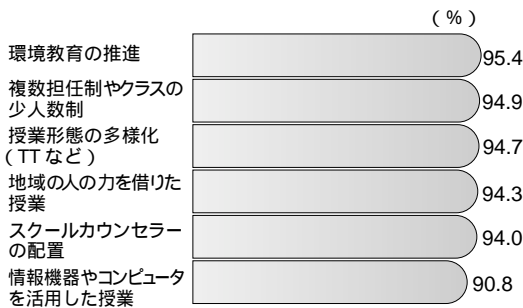
教育活動を実際に担っているのは教師である。教育改革がうまくいくかどうかの鍵は教師が握っている。そこで、現場の教師たちが現在進んでいる教育改革をどうとらえているのか。教師の意見を尋ねてみたいと思った。調査票の作成にあたっては、教育改革についての項目のほかに、学力面、特に教材についての項目を増やし、教師の教材観を明らかにしたいと思った。

TOPIC 1 新しい教育施策に対する好意的な評価

詳細はp.18～21へ

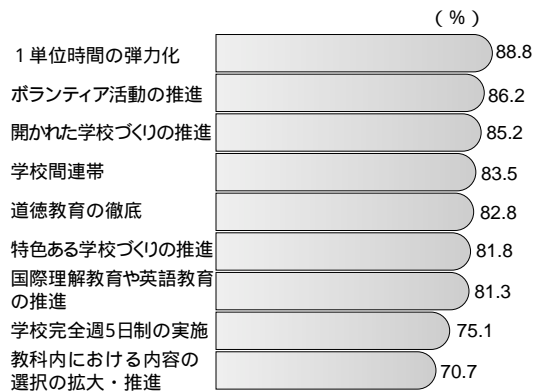
賛成が9割以上

無条件で賛成



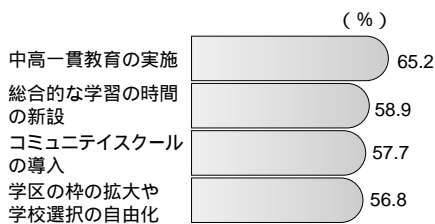
賛成が7～9割

積極的に賛成



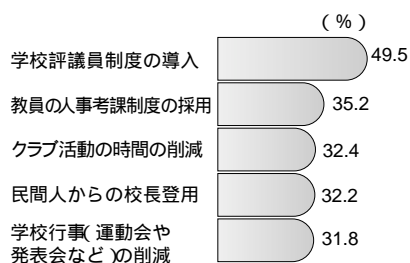
賛成が5～6割

どちらかといえば、賛成



賛成が5割以下

改革に反対



「とても」+「やや」賛成の割合

調査概要

地域：北海道・岩手・宮城・山形・福島・茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・石川・福井・岐阜・愛知・兵庫・岡山・香川・沖縄の22都道府県

時期：2002年2月～4月上旬

方法：調査協力校の校長先生経由で、校内の先生方が記入したアンケートを各自直接郵送による返送。

有効サンプル数：

学校調査票（校長回答）

対象140名、回収数47名(回収率33.6%)

*学校調査票が回収できた地域は調査地域のうち、下線がついた13都道府県であった。

教師調査票（管理職を含む）

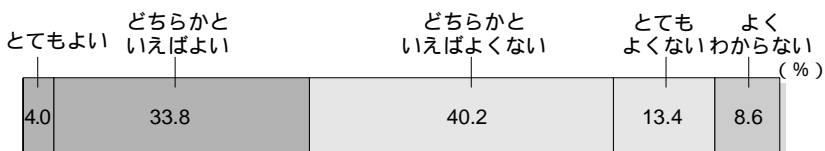
対象2,199名、回収数551名(回収率25.1%)

TOPIC 2

学習指導要領の改訂には懐疑的

詳細はp.10～11へ

今回の改訂で、学習内容の3割削減は子どもたちにとってはよいことか

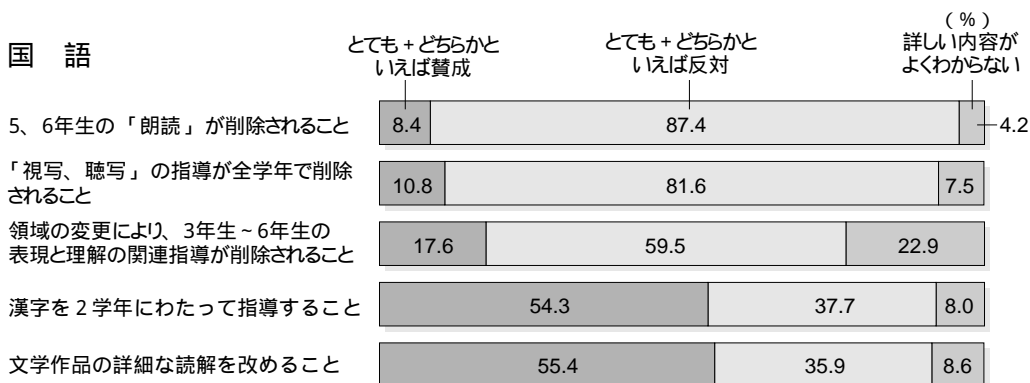


TOPIC 3

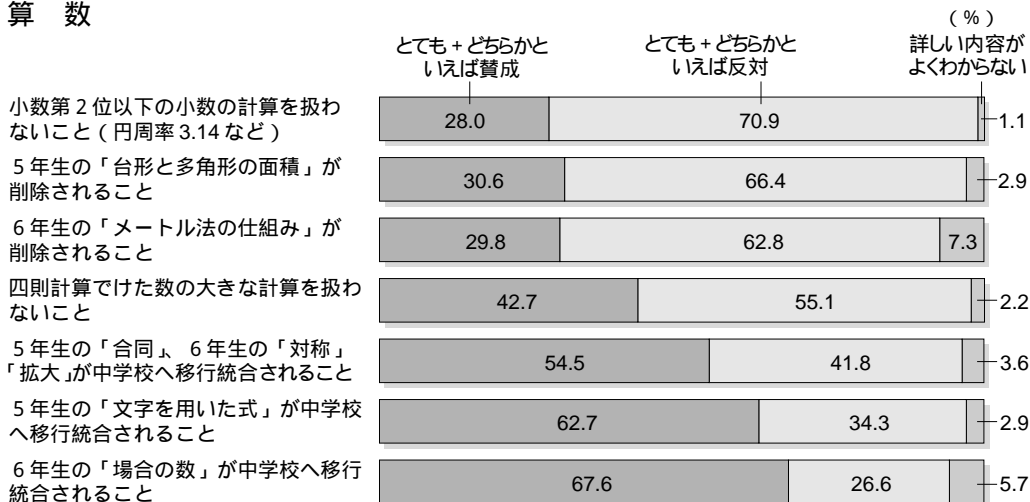
国語・算数の改訂に反対の声

詳細はp.12～15へ

国語



算数

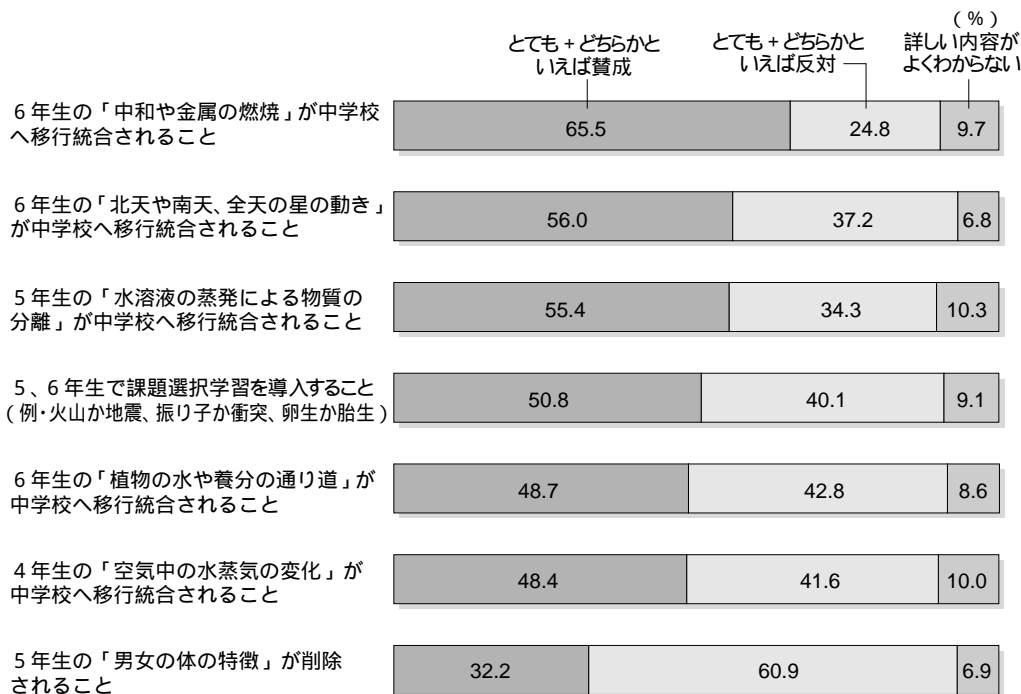


TOPIC 4

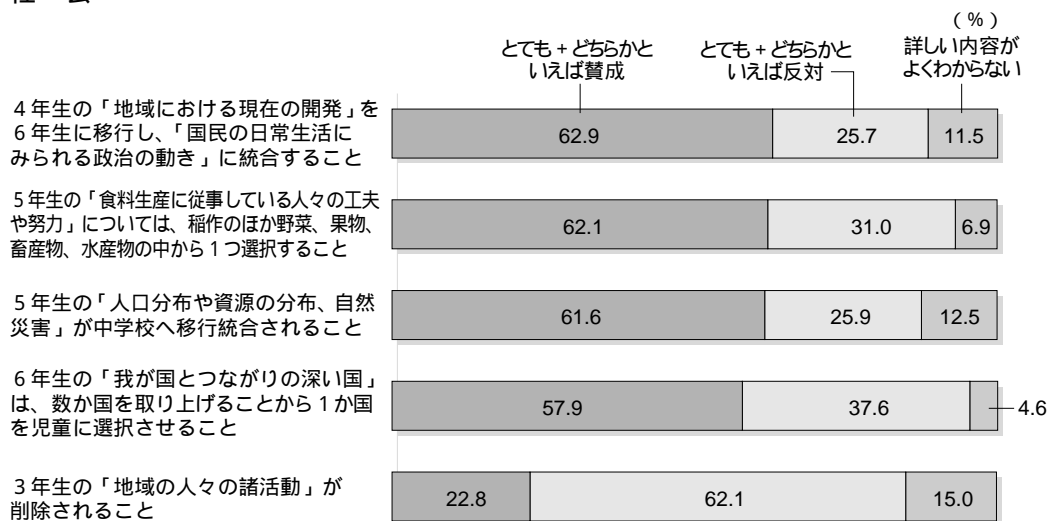
理科・社会の改訂におおむね賛成

詳細はp.12 ~ 15へ

理 科



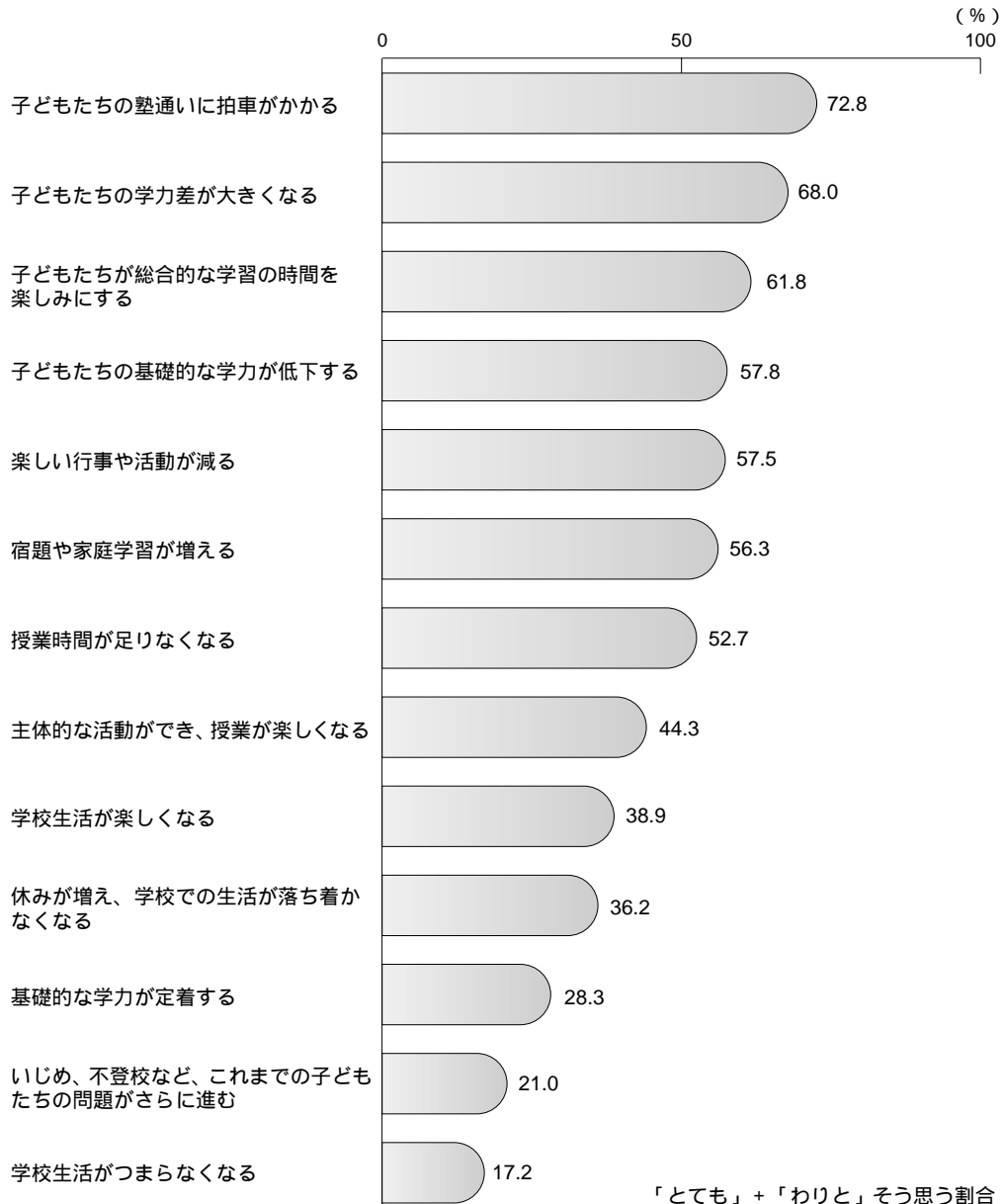
社 会



TOPIC 5

新学習指導要領の実施による 子どもを取り巻く環境の変化 塾通いに拍車・学力格差の広がり

詳細はp.16へ

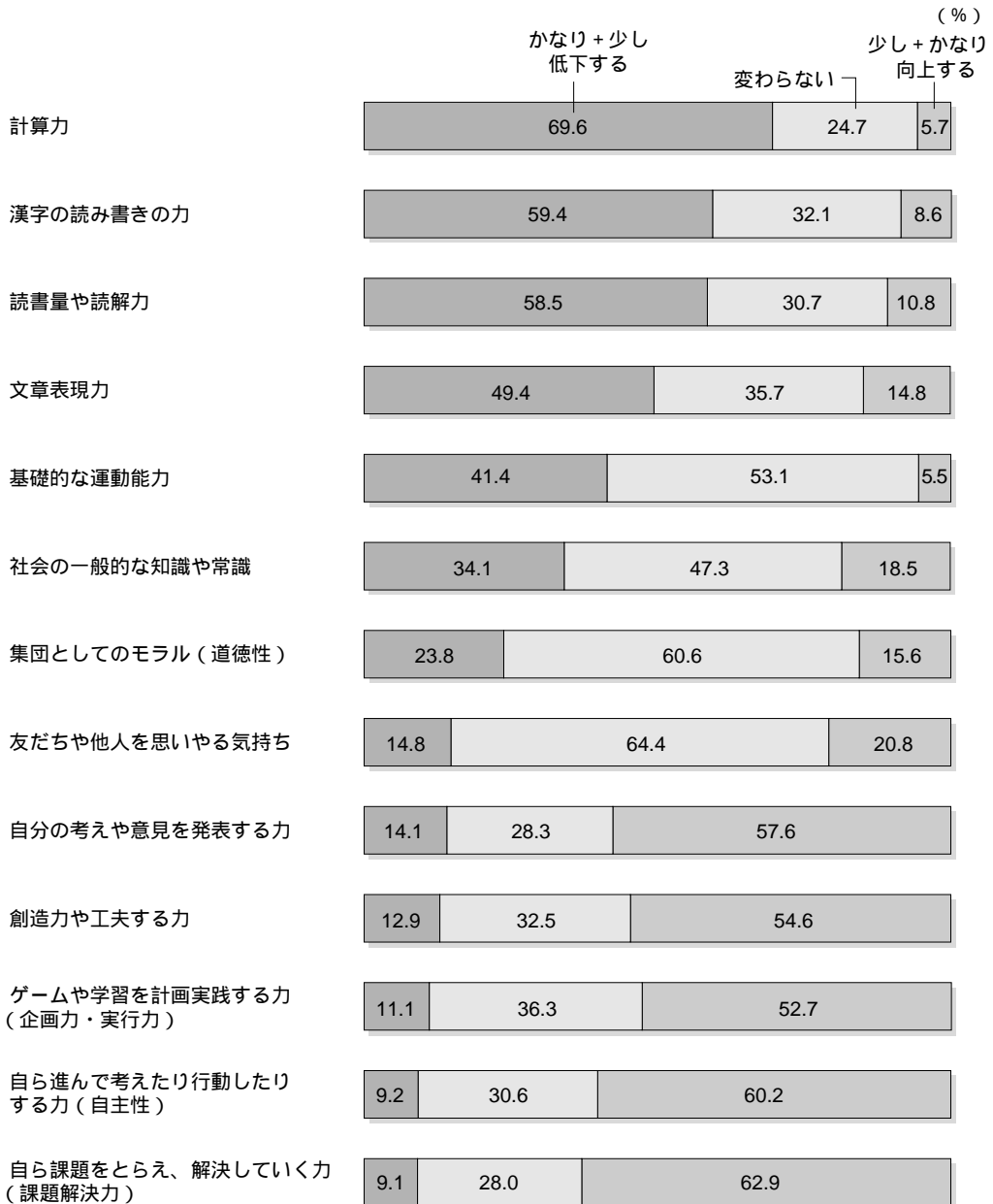


TOPIC 6

新学習指導要領の実施による 子どもの「力」の変化

問題解決力の向上と基礎学力の低下

詳細はp.17へ



まとめ**教師の声をどう生かすか**

これまでふれてきたように、教育改革に対する教師たちの意見は「教育改革には賛成だし、学習指導要領の改訂などを契機として、子どもたちの自主性や課題解決力などは伸びると思う。しかし、算数や国語などの基礎学力の低下が心配だ」となる。

教育改革に対する教師たちの見方はきわめて適切のように思った。それだけに、教師の意見を教育改革に生かしてほしいと思った。

問題解決型学習のための条件整備を

総合的な学習の時間は問題解決型学習のスタイルをとる。問題解決型の学習を進めるためには、施設や費用、人などが必要になる。実をいうと、問題解決型はコストのかかる教育プログラムなのだが、現状はそうした予算や人件費面での配慮がなされていない印象を受ける。総合的な学習を進めるのなら、そのための条件整備が望まれよう。

基礎学力向上への取り組みを

基礎学力がついていないと、問題解決型の学習は空回りし、這いまわる経験主義になってしまう。そう考えると、算数や国語の学力低下が心配という教師たちの懸念はきわめて妥当のように思われる。総合的な学習を進めるためにも、学校全体として、国語や算数の基礎的な学力の充実に心がけてほしいと思った。

教師の意欲を育てる環境づくりを

規制緩和が世の中の主流となっているのに、教育界では規制が厳しくなり、教師の意欲をそぐ動きが目につく。総合的な学習を定着させるには、学級での主体的な個性的な取り組みが必要であろう。それだけに学校内にのびのびとした雰囲気を持つことが大事になる。教育委員会も学校長も、それぞれの教師に責任を持たせ、教師が動きやすい環境づくりに努めてほしいと思った。

はじめに

教育改革が進んでいる。小・中学校では、学校完全週5日制実施や学習内容の3割削減、「総合的な学習の時間」の新設などが目につくが、高校レベルでは6年制学校の設置や選抜制度の抜本的な見直し、大学レベルでも国立大学の独立法人化や第三者評価機関の導入が具体化されつつある。このように、それぞれの学校段階ごとに、改革が進んでいる。その中には、学校評議員制度の導入や学区の枠の緩和など、これまでは考えられなかった改革案も盛り込まれている。

そうした状況のもとで、特に社会的な関心を集めているのが学力の低下論争であろう。小・中学校では、学習指導要領の改訂によって、国語や算数などの教科で教える内容が3割削減された。同時に、学校完全週5日制に伴う授業時間数の減少や「総合的な学習の時間」の新設なども実施されたので、「学力低下を招く」との批判や不安が強まっている。

こうした教育改革について、テレビや新聞などで多くの論争が展開されているし、親を対象にした世論調査結果なども報じられている。しかし、教育の当事者である教師たちの意見が紹介されることは少ない。

教育活動を実際に担っているのは教師である。いかに強力に教育政策を遂行しようとしても、教師が政策に賛同できず、サボタージュをすれば、政策は上滑りして実行力を発揮できない。学校内での取り組みにしても、校長先生が専制的に指示したところで有効でなく、教師の支持を得ることが必要であろう。

そう考えると、教育改革がうまくいくかどうかの1つの鍵を教師の意識が握っているように思われる。そこで、現場の教師たちが現在進んでいる

教育改革をどうとらえているのか、教師たちの意見を尋ねてみたいと思った。

調査票の作成にあたっては、教育改革についての項目の他に、教師対象の調査なので、学力面、特に教材についての項目を増やし、教師の教材観を明らかにしたいと思った。

教師調査を行うとき、サンプルの選び方が問題になる。可能な限り、全国的な規模で教師の声を聞きたいので、調査方法として、全国の小学校をランダムにサンプリングし、調査対象校を抽出した。協力の得られた学校には、調査票を配布し、校長先生から校内の先生方に調査票を配布してもらい、アンケート記入後はそれぞれの先生方から郵送で直接返送してもらおう方法をとった。なお、個人を対象とした調査票とは別に、抽出小学校に、学校の概要や改革についての学校としての取り組みを尋ねる「学校調査票」を送付し、返送してもらった。調査時期は2002年2月～4月上旬である。

回収した学校調査の地域は、北海道、山形、福島、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、新潟、石川、福井、愛知の13都道府県に分布する。教師サンプルの有効回収数は男性233名、女性318名、合計551名である。なお、学校調査と教師調査は別々に郵送で回収しているので、教師サンプルには学校調査回収地域(47校)以外のサンプルも含まれている。学校調査の回収率は33.6%、教師の回収率は25.1%である。年齢構成では、40代が最も多く41.6%、次いで30代が29.2%と、30代から40代で7割を占める教師たちである。

都道府県別の学校調査回収校の割合は表1に、教師のサンプル数は表2、表3にはサンプルの概要を示した。

表1 学校調査の回収校分布

北海道	山形	福島	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	山梨	新潟	石川	福井	愛知
2校	5	1	4	2	2	15	4	1	1	2	5	3
4.3%	10.6	2.1	8.5	4.3	4.3	31.9	8.5	2.1	2.1	4.3	10.6	6.4

表2 サンプル数

全体	男性	女性
551名(100.0%)	233名(42.3%)	318名(57.7%)

表3 サンプルの概要

1) 年齢

(%)				
20代	30代	40代	50代	それ以上
9.8	29.2	41.6	18.7	0.7

2) 学級担任

(%)							
1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	専科	その他
10.2	9.9	10.6	9.1	12.6	15.7	5.8	26.1

3) 専門教科

(%)									
国語	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	家庭	生活科	その他
18.5	17.5	10.9	8.5	5.6	3.2	11.9	2.6	1.6	19.7

第1章

新学習指導要領の 内容と評価

1. 新学習指導要領に対する関心と知識

まず、今回の改訂内容についての教師の関心や知識を調べるところから始めてみよう。表1-1は、教師自身が4月から導入される新学習指導要領の内容を、大まかにどの程度理解しているのか尋ねたものである。「とてもよく知っている」割合は、全体で6.2%と予想以上に低い数値である。管理職も多数含まれているであろう50代の教師に至ってもわずか13.6%であった。「わりと知っている」までを含めると、全体で約5割、「少し知っている」までを含めると90.5%となるが、「あまりよく知らない」教師も約1割いることに驚き

を隠せない結果である。ただ、小学校の先生といえども専門教科があるので、専門教科以外の教科に対しては、すべてに明るくないので、こうした結果となったのだろう。

では、保護者（親たち）はどう思っているのだろうか。教師たちがつかんでいる保護者の意見や考え方を参考にして尋ねた結果の表1-2では、保護者も今回の改訂の内容について十分な知識や情報がなく、あまりよく伝わっていないことがわかる。「とてもよく知っている」は0.2%、「わりと知っている」は11.7%で、「少しだけ知っている」(38.5%)と「あまり知らない」(39.4%)が圧倒的に多い。

また、保護者は今回の改訂や総合的な学習の時

表1-1 新学習指導要領に対しての知識(教師自身がどのくらい知っているか) × 年代

	(%)				
	とてもよく 知っている	わりと 知っている	少し 知っている	あまりよく 知らない	知らない
全体	6.2	43.7	40.6	9.1	0.4
20代	0.0	33.3	51.9	14.8	0.0
30代	5.6	37.3	49.1	8.1	0.0
40代	4.8	46.3	38.3	10.1	0.4
50代	13.6	52.4	28.2	4.9	1.0

表1-2 新学習指導要領や総合的な学習の時間の内容に対する保護者の知識

	(%)					
	とてもよく 知っている	わりと 知っている	少しだけ 知っている	あまり 知らない	ぜんぜん 知らない	よく わからない
	0.2	11.7	38.5	39.4	9.3	0.9

間の導入に対しては、表1 - 3が示すように、賛成は少なく、「どちらともいえない」が50.1%、そして「わりと+とても反対」が38.7%と、約4割近い保護者が反対傾向にあると判断している。

この背景には、表1 - 4が示すように、学習内容の3割削減は子どもたちにとって決してよいことではないと判断している教師の姿勢を十分に反映していると推測できよう。どの年代の教師も、よくないと思う割合がよいと思う割合を上回っている。全体を詳しくみると、学習内容の3割削減が「とてもよい」と判断している教師はわずか4.0%で、「とてもよくない」の13.4%を10ポイント近く下回っている。「どちらかといえば」までを含めると、よいと判断している教師は37.8%、よくないと判断している教師は53.6%にも上る。

では、今回の改訂の内容から、どの教科を不安

に思っているのか、またどの教科がよくなかったと思っているのかを比較してみることにする。表1 - 5をご覧ください。

国語と算数の割合の高さに驚かされるのは、筆者だけではあるまい。改訂の結果、算数に一番不安を持っている教師は51.7%にも及び、次いで国語の25.8%と、この2教科への不安が突出している結果である。理科や社会や体育は改訂結果によいイメージを持っている教師がやや多いといえそうだが、「よくわからない」と答えた者も4割近くいるので、改訂結果におおむね満足しているとは言いきれない結果であろう。

そこで、これからは、各教科の改訂内容について項目をあげ、できるだけ細かく分析をしていくことにしよう。

表1 - 3 今回の改訂や総合的な学習の時間の導入に対して、保護者は賛成だと思うか (%)

とても賛成	わりと賛成	どちらともいえない	わりと反対	とても反対	よくわからない
0.0	6.7	50.1	34.1	4.6	4.6

表1 - 4 今回の改訂の学習内容の3割削減は子どもたちによいことか × 年代 (%)

	とてもよい	どちらかといえばよい	どちらかといえばよくない	とてもよくない	よくわからない
全体	4.0	33.8	40.2	13.4	8.6
	37.8		53.6		
20代	1.9	34.0	39.6	13.2	11.3
	35.9		52.8		
30代	1.9	34.0	42.1	10.1	11.9
	35.9		52.2		
40代	4.8	31.3	41.0	15.0	7.9
	36.1		56.0		
50代	6.9	37.3	36.3	15.7	3.9
	44.2		52.0		

表1 - 5 今回の改訂で、一番不安に思う教科と一番よく改訂されていると思う教科 (%)

	国語	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	家庭	生活科	1つもない	よくわからない
不安な改訂の割合	25.8	1.8	51.7	3.7	1.5	1.7	5.0	0.0	0.0	4.4	4.4
よい改訂の割合	7.2	6.6	14.2	9.4	0.7	1.8	6.3	1.5	1.8	11.1	39.3

2. 新学習指導要領の改訂内容をめぐって

まず、表1-6をご覧ください。新学習指導要領の改訂で、削除されたり、移行・統合されたりする内容を各教科からいくつか抜き出し、賛成か反対か尋ねたものである。紙面の関係ですべてを網羅することはできないので、国語や算数、理科、社会などの教科を中心に、比較的わかりやすいものを選んでみた。質問紙調査という制約

上、30項目に絞らざるを得なかったことが残念ではないが、その大まかな傾向が読みとれるはずである。

まず、各教科ごとに1~30までの全項目を並べたのが表1-6で、表1-7は「賛成-反対」の割合の高い項目から順に17番目までを表示した。そして、表1-8は「反対-賛成」の割合の高かった順に11番目までを表示した。

今回の改訂では、総合的な学習の時間や学校完全週5日制および学習内容の3割削減といった言

表1-6 新学習指導要領で、削除・移行・統合・軽減される内容についての考え

						(%)	
		とても賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	とても反対	詳しい内容がよくわからない	賛成-反対の割合
国語	1. 「視写、聴写」の指導が全学年で削除されること	1.1	9.7	53.7	27.9	7.5	-70.8 ^②
		10.8		81.6			
	2. 5、6年生の「朗読」が削除されること	0.7	7.7	48.1	39.3	4.2	-79.0 ^①
		8.4		87.4			
	3. 漢字を2学年にわたって指導すること	9.3	45.0	23.0	14.7	8.0	16.6
	54.3		37.7				
社会	4. 領域の変更により、3年生~6年生の表現と理解の関連指導が削除されること	1.5	16.1	46.2	13.3	22.9	-41.9 ^④
		17.6		59.5			
	5. 文学作品の詳細な読解を改めること	9.0	46.4	24.0	11.9	8.6	19.5
	55.4		35.9				
算数	6. 3年生の「地域の人々の諸活動」が削除されること	2.0	20.8	45.6	16.5	15.0	-39.3 ^⑤
		22.8		62.1			
	7. 5年生の「人口分布や資源の分布、自然災害」が中学校へ移行統合されること	9.9	51.7	20.6	5.3	12.5	35.7
		61.6		25.9			
	8. 4年生の「地域における現在の開発」を6年生に移行し、「国民の日常生活にみられる政治の動き」に統合すること	8.4	54.5	20.6	5.1	11.5	37.2
	62.9		25.7				
数学	9. 5年生の「食料生産に従事している人々の工夫や努力」については、稲作のほか野菜、果物、畜産物、水産物の中から1つ選択すること	10.0	52.1	23.5	7.5	6.9	31.1
		62.1		31.0			
	10. 6年生の「我が国とつながりの深い国」は、数か国を取り上げることから1か国を児童に選択させること	11.9	46.0	25.9	11.7	4.6	20.3
	57.9		37.6				
算数	11. 5年生の「台形と多角形の面積」が削除されること	4.4	26.2	41.9	24.5	2.9	-35.8 ^⑥
		30.6		66.4			
	12. 小数第2位以下の小数の計算を扱わないこと(円周率3.14など)	5.8	22.2	33.7	37.2	1.1	-42.9 ^③
		28.0		70.9			
	13. 6年生の「メートル法の仕組み」が削除されること	5.3	24.5	38.8	24.0	7.3	-33.0 ^⑦
	29.8		62.8				
数学	14. 5年生の「文字を用いた式」が中学校へ移行統合されること	12.6	50.1	23.9	10.4	2.9	28.4
		62.7		34.3			
	15. 四則計算でけた数の大きな計算を扱わないこと	7.7	35.0	35.5	19.6	2.2	-12.4
	42.7		55.1				

次ページへつづく

葉や内容が一人歩きしていたので、教師たちの反応は、新学習指導要領の内容に対してもっと反対する割合が高いと予想していたが、今回の調査結果では予想以上に賛成する割合が高い気がした。特に、賛成率の高い項目は、表1-7より、「心と体を一体としてとらえる『体ほぐしの運動』が新たに加わること」(体育)が84.1%、「3年生から『保健の学習』を扱うようになること」(体育)81.4%。以下「6年生の『場合の数』が中学校へ移行統合されること」(算数)67.6%、「6年生の

『中和や金属の燃焼』が中学校へ移行統合されること」(理科)65.5%などで、「とても賛成」と「どちらかといえば賛成」を足した割合は6割を超えており、「賛成 - 反対」の割合も4割を上回っている。

1～17までをみて気がつくことは、賛成率の高いものは、主に小学校では、やや難しいと思われる内容であるが、削除ではなくて移行・統合されて、中学校または高学年に移るものが多く、選択学習も受け入れられている傾向が強い。ただし、

						(%)	
		とても賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	とても反対	詳しい内容がよくわからない	賛成 - 反対の割合
算数	16. 5年生の「合同」、6年生の「対称」「拡大」が中学校へ移行統合されること	10.2	44.3	29.2	12.6	3.6	12.7
		54.5		41.8			
数	17. 6年生の「場合の数」が中学校へ移行統合されること	15.5	52.1	18.6	8.0	5.7	41.0
		67.6		26.6			
理	18. 5年生の「男女の体の特徴」が削除されること	3.7	28.5	42.6	18.3	6.9	-28.7 ⁹⁾
		32.2		60.9			
科	19. 4年生の「空気中の水蒸気の変化」が中学校へ移行統合されること	7.7	40.7	32.1	9.5	10.0	6.8
		48.4		41.6			
科	20. 5年生の「水溶液の蒸発による物質の分離」が中学校へ移行統合されること	9.5	45.9	27.0	7.3	10.3	21.1
		55.4		34.3			
科	21. 6年生の「植物の水や養分の通り道」が中学校へ移行統合されること	8.8	39.9	33.8	9.0	8.6	5.9
		48.7		42.8			
科	22. 6年生の「中和や金属の燃焼」が中学校へ移行統合されること	12.1	53.4	18.8	6.0	9.7	40.7
		65.5		24.8			
科	23. 6年生の「北天や南天、全天の星の動き」が中学校へ移行統合されること	10.6	45.4	28.2	9.0	6.8	18.8
		56.0		37.2			
科	24. 5、6年生で課題選択学習を導入すること(例・火山か地震、振り子か衝突、卵生か胎生)	8.8	42.0	27.7	12.4	9.1	10.7
		50.8		40.1			
音楽	25. 5、6年生のへ長調と二短調の視唱や視奏を削除すること	13.0	42.3	18.6	3.1	23.0	33.6
		55.3		21.7			
音楽	26. 1、2年生の二部合唱を削除すること	13.2	42.4	26.1	5.7	12.7	23.8
		55.6		31.8			
体育	27. 3年生から「保健の学習」を扱うようになること	25.9	55.5	13.3	2.2	3.1	65.9
		81.4		15.5			
体育	28. 心と体を一体としてとらえる「体ほぐしの運動」が新たに加わること	31.0	53.1	6.0	1.8	8.1	76.3
		84.1		7.8			
家庭	29. 金銭の記録の仕方が削除されること	4.4	27.1	47.1	11.9	9.5	-27.5 ¹⁰⁾
		31.5		59.0			
家庭	30. ほころび直し削除されること	2.7	25.5	45.8	15.3	10.6	-32.9 ⁸⁾
		28.2		61.1			

数字はプラス数値、 数字はマイナス数値の順位

表1 - 7 新学習指導要領で、削除・移行・統合・軽減される内容についての考え(賛成)×年代

				(%)			
		賛成 - 反対 の割合	賛成の割合 とても賛成	20代	30代	40代	50代
1.	心と体を一体としてとらえる「体ほぐしの運動」が新たに加わること	体育 76.3	84.1 31.0	<u>44.4</u>	33.8	26.5	29.4
2.	3年生から「保健の学習」を扱うようになること	体育 65.9	81.4 25.9	<u>40.7</u>	29.8	22.9	19.6
3.	6年生の「場合の数」が中学校へ移行統合されること	算数 41.0	67.6 15.5	18.5	14.4	12.8	<u>21.6</u>
4.	6年生の「中和や金属の燃焼」が中学校へ移行統合されること	理科 40.7	65.5 12.1	9.3	11.2	10.1	<u>19.8</u>
5.	4年生の「地域における現在の開発」を6年生に移行し、「国民の日常生活にみられる政治の動き」に統合すること	社会 37.2	62.9 8.4	7.4	8.1	6.6	<u>13.7</u>
6.	5年生の「人口分布や資源の分布、自然災害」が中学校へ移行統合されること	社会 35.7	61.6 9.9	7.5	11.3	6.6	<u>16.8</u>
7.	5、6年生のへ長調と二短調の視唱や視奏を削除すること	音楽 33.6	55.3 13.0	7.4	<u>14.9</u>	12.3	14.7
8.	5年生の「食料生産に従事している人々の工夫や努力」については、稲作のほか野菜、果物、畜産物、水産物の中から1つ選択すること	社会 31.1	62.1 10.0	13.0	7.5	8.3	<u>15.7</u>
9.	5年生の「文字を用いた式」が中学校へ移行統合されること	算数 28.4	62.7 12.6	9.4	15.0	7.9	<u>21.6</u>
10.	1、2年生の二部合唱を削除すること	音楽 23.8	55.6 13.2	5.7	14.9	11.9	<u>17.8</u>
11.	5年生の「水溶液の蒸発による物質の分離」が中学校へ移行統合されること	理科 21.1	55.4 9.5	5.8	9.4	7.0	<u>17.8</u>
12.	6年生の「我が国とつながりの深い国」は、数か国を取り上げることから1か国を児童に選択させること	社会 20.3	57.9 11.9	13.0	<u>15.0</u>	8.8	13.7
13.	文学作品の詳細な読解を改めること	国語 19.5	55.4 9.0	9.6	9.5	6.1	<u>14.7</u>
14.	6年生の「北天や南天、全天の星の動き」が中学校へ移行統合されること	理科 18.8	56.0 10.6	7.4	<u>11.9</u>	10.1	<u>11.9</u>
15.	漢字を2学年にわたって指導すること	国語 16.6	54.3 9.3	11.1	<u>11.8</u>	6.1	10.7
16.	5年生の「合同」、6年生の「対称」「拡大」が中学校へ移行統合されること	算数 12.7	54.5 10.2	11.1	9.3	8.4	<u>15.7</u>
17.	5、6年生で課題選択学習を導入すること(例・火山か地震、振り子か衝突、卵生か胎生)	理科 10.7	50.8 8.8	<u>13.2</u>	11.2	5.7	9.8

年代別は「とても賛成」の割合(——は最大値)

「とても賛成」の割合はどの項目も高くなく、「どちらかといえば賛成」といった割合が非常に高い。

年代別で比較すると、体育の2項目は、20代の教師の賛成率が高く、後の15項目中、11項目では、50代の教師の賛成率が非常に高い傾向にあった。今回の調査対象の中には、担任や専科以外の教師が26.1%含まれており、50代の校長先生や教頭先生も調査に協力してくれた結果と推測できる。40代の教師からは、今ひとつ賛成に対する気持ちが薄い傾向も読みとれる。

では、次に表1-8の「反対-賛成」の割合の高い順に並べた11項目をみてみよう。「5、6年生の『朗読』が削除されること」(国語)87.4%を筆頭に、「『視写・聴写』の指導が全学年で削除されること」(国語)81.6%、「小数第2位以下の小数の計算を扱わないこと(円周率3.14など)」、

(算数)70.9%、「5年生の『台形と多角形の面積』が削除されること」(算数)66.4%、「6年生の『メートル法の仕組み』が削除されること」(算数)62.8%、といったように、国語と算数の内容の項目がきわめて反対率が高く、6割以上から9割近くまでに及ぶものもある。11項目で共通していることは、移行・統合するのではなく、削除もしくは扱わなくなる項目であることであろう。教師自身が指導する過程で、やや難しい内容であっても、子どもの生活上または学習上、大切な内容が十分含まれている単元を本当に削除していいとは思えないのである。

特に、50代の教師の反対率は高く、長い経験に基づいたものと推測されるし、現在管理職となっている世代からの賛成があまり得られないことをしっかり受け止めなければならない。

表1-8 新学習指導要領で、削除・移行・統合・軽減される内容についての考え(反対)×年代 (%)

		反対-賛成の割合	反対の割合とても反対	20代	30代	40代	50代
1. 5、6年生の「朗読」が削除されること	国語	79.0	87.4 39.3	18.5	38.8	38.4	<u>53.0</u>
2. 「視写・聴写」の指導が全学年で削除されること	国語	70.8	81.6 27.9	7.5	22.8	32.9	<u>36.6</u>
3. 小数第2位以下の小数の計算を扱わないこと(円周率3.14など)	算数	42.9	70.9 37.2	31.5	34.2	39.0	<u>41.2</u>
4. 領域の変更により、3年生～6年生の表現と理解の関連指導が削除されること	国語	41.9	59.5 13.3	5.7	8.1	12.6	<u>27.5</u>
5. 3年生の「地域の人々の諸活動」が削除されること	社会	39.3	62.1 16.5	20.8	11.9	14.3	<u>25.3</u>
6. 5年生の「台形と多角形の面積」が削除されること	算数	35.8	66.4 24.5	17.0	25.0	24.2	<u>29.4</u>
7. 6年生の「メートル法の仕組み」が削除されること	算数	33.0	62.8 24.0	20.8	23.1	24.2	<u>26.5</u>
8. ほころび直しが削除されること	家庭	32.9	61.1 15.3	16.7	17.4	11.9	<u>19.4</u>
9. 5年生の「男女の体の特徴」が削除されること	理科	28.7	60.9 18.3	<u>26.4</u>	16.8	16.7	19.6
10. 金銭の記録の仕方が削除されること	家庭	27.5	59.0 11.9	7.5	<u>15.5</u>	9.7	13.7
11. 四則計算でけた数の大きな計算を扱わないこと	算数	12.4	55.1 19.6	17.0	19.4	19.7	<u>21.8</u>

年代別は「とても反対」の割合(——は最大値)

3. 学校や子どもはどう変わるのか

表1-9は、新学習指導要領の実施により、子どもたちを取り巻く環境がどう変化するかという予想を13項目で尋ねた結果である。変化が大きいと予想されるのは、「子どもたちの塾通いに拍車がかかる」72.8%、「子どもたちの学力差が大きくなる」68.0%、「子どもたちの基礎的な学力

が低下する」57.8%、「楽しい行事や活動が減る」57.5%、「宿題や家庭学習が増える」56.3%などで、教師たちは子どもの学力の低下や学力の格差、および塾や宿題への依存などの傾向を危惧している様子がうかがえる。

表1-10は、子どもたちの能力の変化を尋ねたものである。先に示した、削除や移行・統合および学校完全週5日制、総合的な学習の時間などが、いったい何をもたらすのかをみてみよう。

表1-9 新学習指導要領の実施によって予想される変化

	(%)			
	とても そう思う	わりと そう思う	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
1. 子どもたちの塾通いに拍車がかかる	25.9	46.9	20.6	4.0
	72.8		24.6	
2. 子どもたちの学力差が大きくなる	33.2	34.8	26.2	4.8
	68.0		31.0	
3. 子どもたちが総合的な学習の時間を楽しみにする	12.1	49.7	26.6	6.1
	61.8		32.7	
4. 子どもたちの基礎的な学力が低下する	23.9	33.9	34.5	6.2
	57.8		40.7	
5. 楽しい行事や活動が減る	15.5	42.0	33.8	6.8
	57.5		40.6	
6. 宿題や家庭学習が増える	13.3	43.0	34.1	5.5
	56.3		39.6	
7. 授業時間が足りなくなる	19.2	33.5	34.0	11.3
	52.7		45.3	
8. 主体的な活動ができ、授業が楽しくなる	6.8	37.5	44.6	6.8
	44.3		51.4	
9. 学校生活が楽しくなる	4.4	34.5	46.0	5.3
	38.9		51.3	
10. 休みが増え、学校での生活が落ち着かなくなる	8.8	27.4	44.7	13.3
	36.2		58.0	
11. 基礎的な学力が定着する	2.2	26.1	47.6	17.9
	28.3		65.5	
12. いじめ、不登校など、これまでの子どもたちの問題がさらに進む	6.2	14.8	54.8	11.9
	21.0		66.7	
13. 学校生活がつまらなくなる	3.5	13.7	54.6	24.9
	17.2		79.5	

今回の改訂でよくなるであろうと思われるもの（向上する力）は、「課題解決力」62.9%、「自主性」60.2%、「企画力・実行力」52.7%、「創造力や工夫する力」54.6%、「自分の考えや意見を発表する力」57.6%、といった項目が5割以上の割合を占めており、教師たちが評価している子どもたちに定着するであろう能力である。

逆に、低下すると思われる能力は、「計算力」69.6%、「漢字の読み書きの力」59.4%、「読書量

や読解力」58.5%、「文章表現力」49.4%など、国語や算数の基礎学力と呼ばれる内容であることがわかる。また、さほど変化することはないと思われる能力は「基礎的な運動能力」53.1%、「社会の一般的な知識や常識」47.3%、「集団としてのモラル（道徳性）」60.6%、「友だちや他人を思いやる気持ち」64.4%などであった。

表1 - 10 新学習指導要領の実施で、予想される子どもの能力の変化

	(%)						
	かなり 低下する	少し 低下する	低下する 小計	変わらない	少し 向上する	かなり 向上する	向上する 小計
1. 計算力	26.2	43.4	69.6	24.7	4.8	0.9	5.7
2. 漢字の読み書きの力	18.9	40.5	59.4	32.1	7.9	0.7	8.6
3. 読書量や読解力	21.9	36.6	58.5	30.7	9.7	1.1	10.8
4. 文章表現力	17.9	31.5	49.4	35.7	13.0	1.8	14.8
5. 基礎的な運動能力	9.4	32.0	41.4	53.1	5.5	0.0	5.5
6. 社会の一般的な知識 や常識	9.0	25.1	34.1	47.3	17.4	1.1	18.5
7. 集団としてのモラル (道徳性)	6.4	17.4	23.8	60.6	15.4	0.2	15.6
8. 友だちや他人を思い やる気持ち	3.1	11.7	14.8	64.4	20.2	0.6	20.8
9. 自分の考えや意見を 発表する力	5.3	8.8	14.1	28.3	51.2	6.4	57.6
10. 創造力や工夫する力	3.3	9.6	12.9	32.5	51.7	2.9	54.6
11. ゲームや学習を計画 実践する力(企画力 ・実行力)	2.8	8.3	11.1	36.3	48.1	4.6	52.7
12. 自ら進んで考えたり 行動したりする力 (自主性)	3.3	5.9	9.2	30.6	56.0	4.2	60.2
13. 自ら課題をとらえ、 解決していく力 (課題解決力)	2.9	6.2	9.1	28.0	57.0	5.9	62.9

第2章

教育施策についての 教師の意見

学校完全週5日制の実施に伴う今回の学習指導要領の改訂。第3の教育改革と呼ばれるほど、多くの教育施策が打ち出された。その背景には、いじめ、不登校、学級崩壊など学校の抱えている問題の解決に向けての模索がある。

地域社会の変容、家庭教育の崩壊、そして児童の変化など、学校を取り巻く環境の変化に、学校はどのように改革のメスを入れればよいのか。特にこれまで、学級を中心として閉ざされていた学校を、どのようにして開かれた学校にしていこうとしているのか。そのあたりの様々な施策に対する、現場の教師の意見をまとめた。教師は改革をどのように受け止め、どのように取り組もうとしているのか。

1. 教育施策に対する教師の意見

今回の改訂では、様々な施策が打ち出されている。その主なもの24項目について、教師の意見を尋ねたものが表2-1である。各項目ごとに賛成、反対の意見を求めている。「わからない」という態度を保留する質問項目も設けているが、ほとんどの項目で1割に満たない。賛成または反対の意思表示をしているところが特徴的であり、今回行われている様々な教育施策に対して、教師間での関心の高さがうかがわれる。

表2-1の結果をまとめてみる。

賛成の割合が高く、「とても賛成」と「やや賛成」を含めると、「複数担任制やクラスの少人数制」から「コミュニティスクールの導入」までの19項目について、半数を超える教師が賛成している。

上位にきている「複数担任制やクラスの少人数制」「授業形態の多様化（TTや習熟度別・少人数などの学習指導）」「地域の人の力を借りた授業」は、授業の形態にかかわるものである。クラスに複数の担任がいたり、クラスを崩して習熟度別学習を行ったり、地域の人を授業に招くなど、

学習形態の変化を求めている。多くの教師が、これまでの指導形態では学習指導が成り立たないことを実感している結果ではないだろうか。これまでの小学校教育を支えていた、いわゆる学級王国の解体につながるともいえる結果である。

現代的な教育課題として文部科学省が進めている教育については、賛成の割合の高い順から、「環境教育の推進」「情報機器やコンピュータを活用した授業」「道徳教育の徹底」「ボランティア活動の推進」「国際理解教育や英語教育の推進」「特色ある学校づくりの推進」となっている。

しかし、それを進めていくべき「総合的な学習の時間の新設」については、「とても賛成」が19.7%と他の項目に比べては数値が高くなく、逆に「とても反対」が10.1%と1割の教師が反対している。各項目とも、それぞれ推進していく価値は認めるものの、実践にあたっては、克服すべき課題が多くあることを示唆している結果である。

「中高一貫教育の実施」「学区の枠の拡大や学校選択の自由化」「コミュニティスクールの導入」についても賛成の割合は高く、21世紀型の新しい学校への期待をうかがわせる結果である。

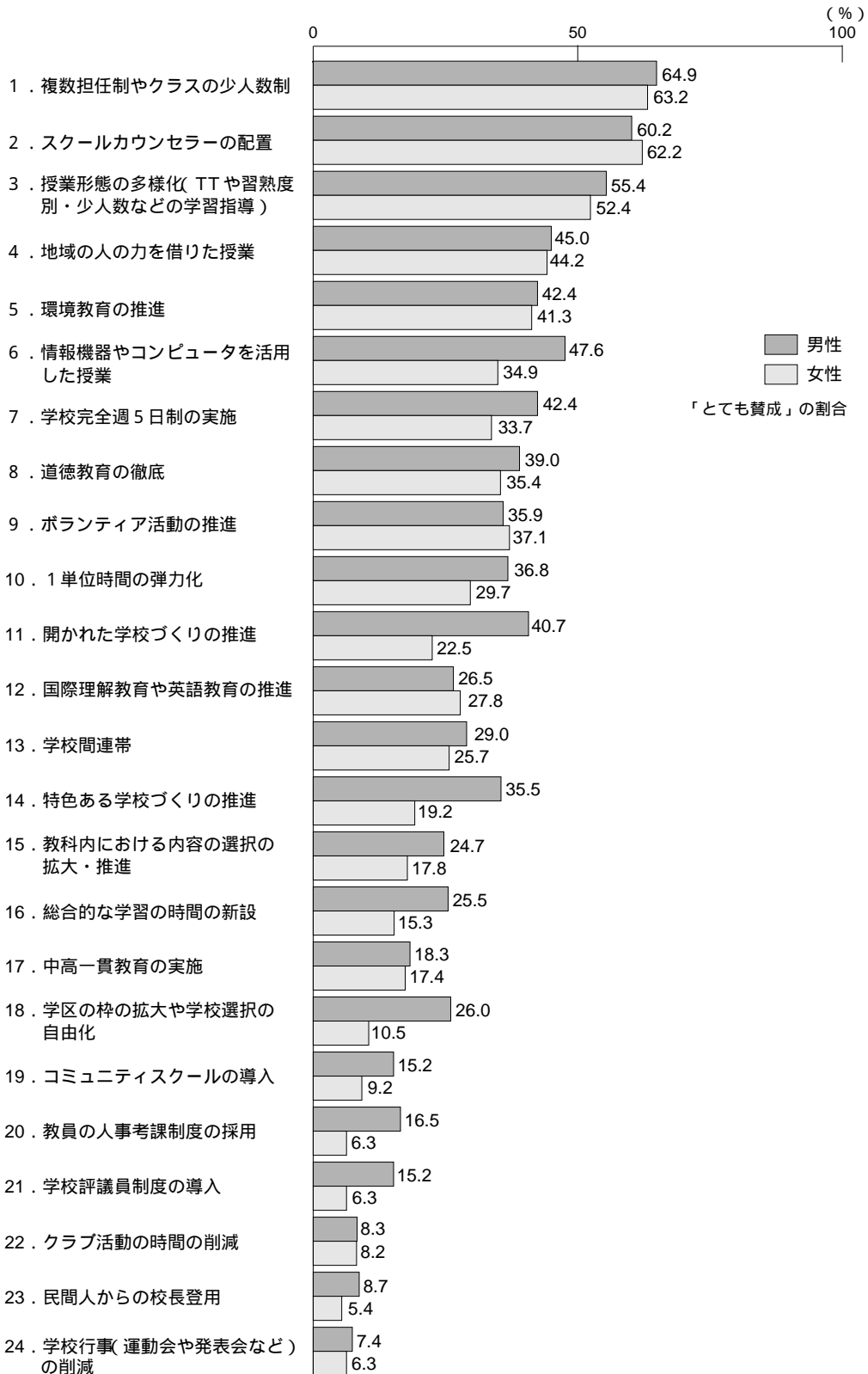
多くの項目が高い評価を示している中で、反対が賛成を上回ったのは、下位5項目である。特に「クラブ活動の時間の削減」や「学校行事（運動会や発表会など）の削減」など、教科時数確保のために削減を余儀なくされている活動については、再考を求める声が聞こえてくる。

図2-1は、これまでみてきた結果を、性別にみたものである。図に示すとおりほとんどの項目で、男性教師の方が女性教師より「とても賛成」とする割合が高い。一番大きな差を示しているのは、「開かれた学校づくりの推進」であり、賛成が男性40.7%に対し、女性22.5%と、その差18.2ポイント。そして「特色ある学校づくりの推進（その差16.3ポイント）」「学区の枠の拡大や学校選択の自由化（その差15.5ポイント）」と続く。新しい学校づくりの中心課題である、学校を開き、

表2 - 1 新しい教育施策に対する教師の評価

	(%)				
	とても賛成	やや賛成	やや反対	とても反対	わからない
1. 複数担任制やクラスの少人数制	63.9	31.0	2.9	1.3	0.9
2. スクールカウンセラーの配置	61.4	32.6	3.1	0.9	2.0
3. 授業形態の多様化(ＴＴや習熟度別・少人数などの学習指導)	53.6	41.1	3.1	1.3	0.9
4. 地域の人の力を借りた授業	44.5	49.8	4.0	0.5	1.1
5. 環境教育の推進	41.8	53.6	2.6	0.2	1.8
6. 情報機器やコンピュータを活用した授業	40.3	50.5	6.4	1.1	1.6
7. 学校完全週5日制の実施	37.4	37.7	14.7	4.0	6.2
8. 道徳教育の徹底	36.9	45.9	9.1	2.7	5.3
9. ボランティア活動の推進	36.6	49.6	7.7	2.6	3.5
10. 1単位時間の弾力化	32.7	56.1	7.7	1.3	2.2
11. 開かれた学校づくりの推進	30.2	55.0	6.8	0.7	7.3
12. 国際理解教育や英語教育の推進	27.2	54.1	11.0	4.4	3.3
13. 学校間連帯	27.1	56.4	6.2	0.9	9.3
14. 特色ある学校づくりの推進	26.1	55.7	11.1	2.0	5.1
15. 教科内における内容の選択の拡大・推進	20.7	50.0	19.4	2.4	7.5
16. 総合的な学習の時間の新設	19.7	39.2	26.3	10.1	4.8
17. 中高一貫教育の実施	17.8	47.4	14.7	4.4	15.8
18. 学区の枠の拡大や学校選択の自由化	17.1	39.7	25.4	11.4	6.4
19. コミュニティスクールの導入	11.7	46.0	7.9	1.3	33.2
20. 教員の人事考課制度の採用	10.6	24.6	19.8	19.6	25.3
21. 学校評議員制度の導入	10.1	39.4	21.3	10.6	18.5
22. クラブ活動の時間の削減	8.2	24.2	46.0	18.5	3.1
23. 民間人からの校長登用	6.8	25.4	29.0	25.4	13.5
24. 学校行事(運動会や発表会など)の削減	6.8	25.0	39.3	26.3	2.6

図2 - 1 新しい教育施策に対する教師の評価 × 性



特色ある学校をつくるということについては、男性教師に積極的な姿勢がみられる。

年代別は、表2-2に示している。各世代間の最大値に——印をつけているが、「とても賛成」とする割合は、20代が一番多く、24項目中、13項目と約半数に——印がついた。20代の経験の少ない教師が、新しい教育に向けて、一番積極的に取り組もうとしている結果である。

次に積極的なのは、50代。6項目に——印がついた。特に、「複数担任制やクラスの少人数制」や「授業形態の多様化（TTや習熟度別・少人数などの学習指導）」など、これまでの学級を中心とした担任主導型指導の改革については賛成が多

く、柔軟に教育改革に取り組もうとする姿勢がみられる。

続いて30代。この世代は、「環境教育の推進」「ボランティア活動の推進」「国際理解教育や英語教育の推進」など、新しい施策に対して積極的に取り組んでいこうとする意欲がみられる。

一方、学校運営で中心的な役割を果たしている40代での——印が1つもない。これまでの経験をもとにした教育理念や、教育方法をどのようにして変革していくか、躊躇している姿が読みとれる。この世代が、問題を意識しながらもより積極的に取り組んでいかないと、この教育改革はなかなか前進しない。

表2-2 新しい教育施策に対する教師の評価 × 性・年代

	性		年代			
	男性	女性	20代	30代	40代	50代
1. 複数担任制やクラスの少人数制	64.9	63.2	65.4	64.0	61.2	<u>68.6</u>
2. スクールカウンセラーの配置	60.2	62.2	<u>67.9</u>	67.1	59.0	<u>54.5</u>
3. 授業形態の多様化（TTや習熟度別・少人数などの学習指導）	55.4	52.4	50.9	55.3	51.1	<u>57.3</u>
4. 地域の人の力を借りた授業	45.0	44.2	<u>58.5</u>	52.2	41.0	33.0
5. 環境教育の推進	42.4	41.3	43.4	<u>45.3</u>	37.9	43.7
6. 情報機器やコンピュータを活用した授業	47.6	34.9	<u>56.6</u>	44.7	38.3	30.7
7. 学校完全週5日制の実施	42.4	33.7	34.0	33.1	37.9	<u>46.1</u>
8. 道徳教育の徹底	39.0	35.4	<u>47.2</u>	41.6	30.0	<u>40.2</u>
9. ボランティア活動の推進	35.9	37.1	<u>35.8</u>	<u>40.4</u>	33.5	37.6
10. 1単位時間の弾力化	36.8	29.7	<u>39.6</u>	<u>33.5</u>	32.2	29.4
11. 開かれた学校づくりの推進	40.7	22.5	<u>37.7</u>	29.8	28.6	31.4
12. 国際理解教育や英語教育の推進	26.5	27.8	<u>30.2</u>	<u>30.4</u>	25.2	25.2
13. 学校間連帯	29.0	25.7	<u>35.8</u>	<u>32.3</u>	22.0	25.7
14. 特色ある学校づくりの推進	35.5	19.2	<u>30.2</u>	24.2	25.1	30.1
15. 教科内における内容の選択の拡大・推進	24.7	17.8	18.9	<u>23.6</u>	20.3	18.8
16. 総合的な学習の時間の新設	25.5	15.3	<u>26.4</u>	16.3	18.1	25.7
17. 中高一貫教育の実施	18.3	17.4	<u>20.8</u>	16.1	17.7	19.6
18. 学区の枠の拡大や学校選択の自由化	26.0	10.5	<u>13.2</u>	<u>22.0</u>	15.0	16.8
19. コミュニティスクールの導入	15.2	9.2	<u>18.9</u>	10.6	11.5	10.9
20. 教員の人事考課制度の採用	16.5	6.3	<u>11.3</u>	12.4	7.0	<u>16.0</u>
21. 学校評議員制度の導入	15.2	6.3	<u>11.3</u>	10.6	8.0	<u>13.9</u>
22. クラブ活動の時間の削減	8.3	8.2	7.5	9.9	5.3	<u>12.7</u>
23. 民間人からの校長登用	8.7	5.4	<u>15.1</u>	7.5	4.8	<u>5.8</u>
24. 学校行事（運動会や発表会など）の削減	7.4	6.3	<u>13.2</u>	8.7	4.4	5.9

「とても賛成」の割合 _____ は年代別の最大値

2. 新学習指導要領のもたらすもの

新しい教育課程の基準となる、新学習指導要領の評価を表2-3に示した。総合的な学習の時間が新たに設置されるなどという実態を背景に、「教材研究の時間が大幅に必要な」と予測する教師は9割を超す。学校完全週5日制に伴い子どもたちの学校での生活時間が延び、さらに教材研究に追われる教師の実態が読みとれる。

「学校の取り組みにより、学校間の格差が生まれる」に対しては、それほどではないが、これまで以上には生まれてくるだろうと考えている割合が8割近くなる。それは、「各学校の工夫により、学校の特色が生まれてくる(「とても」+「わりと」そう思う69.3%)」「保護者や地域の人々の意見や要望が学校教育に反映されるようになる(61.5%)」など、これからの学校の大きな転換を教師自身も肌で感じている結果である。

また、「『選択学習』や『調べ学習』が推進・重視され、子どものやる気や自主性が伸びていく」と、プラスに評価している割合が高くなっている。

これらの結果を性別、年代別にみたのが表2-4と図2-2である。

まず、性差からみると、10ポイントを超す大き

な開きをみせているのが「『選択学習』や『調べ学習』が推進・重視され、子どものやる気や自主性が伸びていく」で、男性教師が積極的な評価をしている。また、そのほか10ポイント近い差を示しているのが、「校長の権限が増し、より管理的な教育が行われるようになる」と「公立の小学校の信頼性がなくなる」である。新学習指導要領に対して、女性教師の方に、批判的で懐疑的な傾向がうかがわれる。

年代的にみると、20代で数値が高いのが「学校の取り組みにより、学校間の格差が生まれる」「各学校の工夫により、学校の特色が生まれてくる」「保護者や地域の人々の意見や要望が学校教育に反映されるようになる」など、開かれた学校にかかわる項目である。また、30代は、「総合的な学習の時間やカリキュラム実践のために、教材研究の時間が大幅に必要な」けれど、「『選択学習』や『調べ学習』が推進・重視され、子どものやる気や自主性が伸びていく」と積極的な評価をしている。

一方、40代は「校長の権限が増し、より管理的な教育が行われるようになる」、50代は「公立の小学校の信頼性がなくなる」「学級崩壊(学級の荒れ)やいじめなどの問題が一層深刻になる」と、今回の改訂について不安視する声が多い。

表2-3 新学習指導要領の評価予測

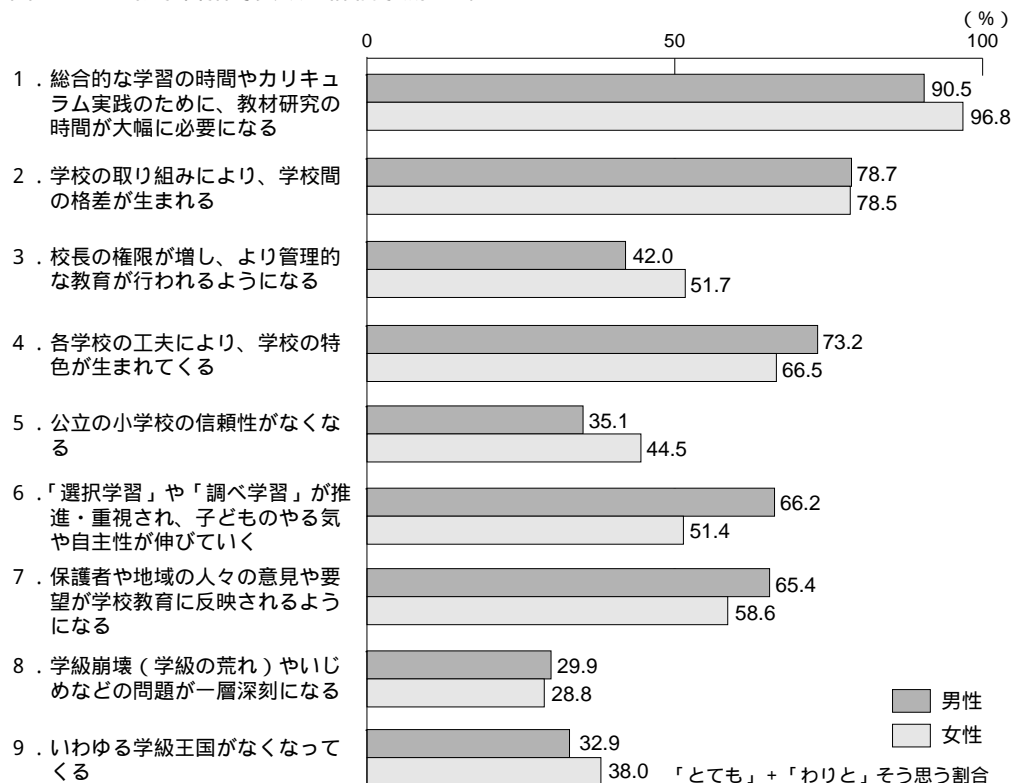
	(%)				
	とても そう思う	わりと そう思う	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない	わからない
1. 総合的な学習の時間やカリキュラム実践のために、教材研究の時間が大幅に必要な	52.2	42.0	4.7	0.0	1.1
2. 学校の取り組みにより、学校間の格差が生まれる	18.6	60.0	17.7	1.8	1.8
3. 校長の権限が増し、より管理的な教育が行われるようになる	13.9	33.8	41.8	5.7	4.9
4. 各学校の工夫により、学校の特色が生まれてくる	10.2	59.1	25.9	2.7	2.0
5. 公立の小学校の信頼性がなくなる	8.8	31.8	44.9	8.4	6.2
6. 「選択学習」や「調べ学習」が推進・重視され、子どものやる気や自主性が伸びていく	7.3	50.4	33.0	3.6	5.7
7. 保護者や地域の人々の意見や要望が学校教育に反映されるようになる	6.8	54.7	32.5	2.0	4.0
8. 学級崩壊(学級の荒れ)やいじめなどの問題が一層深刻になる	6.4	22.9	54.0	6.4	10.3
9. いわゆる学級王国がなくなってくる	1.8	34.0	47.2	8.2	8.8

表 2 - 4 新学習指導要領の評価予測 × 性・年代

	性		年代			
	男性	女性	20代	30代	40代	50代
	(%)					
1. 総合的な学習の時間やカリキュラム実践のために、教材研究の時間が大幅に必要なになる	90.5	96.8	94.4	<u>96.2</u>	93.8	91.2
2. 学校の取り組みにより、学校間の格差が生まれる	78.7	78.5	<u>84.9</u>	79.5	80.5	69.9
3. 校長の権限が増し、より管理的な教育が行われるようになる	42.0	51.7	30.1	41.6	<u>54.1</u>	50.5
4. 各学校の工夫により、学校の特色が生まれてくる	73.2	66.5	<u>77.4</u>	73.3	66.1	65.0
5. 公立の小学校の信頼性がなくなる	35.1	44.5	37.7	37.9	42.3	<u>43.7</u>
6. 「選択学習」や「調べ学習」が推進・重視され、子どものやる気や自主性が伸びていく	66.2	51.4	58.5	<u>61.5</u>	55.1	56.3
7. 保護者や地域の人々の意見や要望が学校教育に反映されるようになる	65.4	58.6	<u>66.0</u>	65.9	57.2	61.2
8. 学級崩壊（学級の荒れ）やいじめなどの問題が一層深刻になる	29.9	28.8	28.3	24.3	31.4	<u>33.3</u>
9. いわゆる学級王国がなくなってくる	32.9	38.0	<u>45.3</u>	37.5	29.1	42.7

「とても」+「わりと」そう思う割合 は年代別の最大値

図 2 - 2 新学習指導要領の評価予測 × 性



3. 改革の実際

冒頭で述べたとおり、本調査は、平成14年度からの学校完全週5日制の実施前の調査である。本格実施を前にして、各学校とも移行期間として、様々な活動を先取りして行っている。その実際を本章の最後で確認しておく(表2-5)。

調査対象は47校、学区域の特徴を示しておく。

学区域の特徴	校数
古くからの住宅地	16校
農山村地域	10校
商業地域	5校
新興住宅地	5校
マンションなどの集合住宅地	4校
その他	7校

上位に位置する項目は、「開かれた学校づくりの推進(95.8%)」()内は「積極的に推進している」+「実施している」割合、「特色ある学校づくりの推進(95.6%)」である。そのために、「総合的な学習の時間(97.9%)」や「地域の人の力を借りた授業(89.2%)」をしている。それも、ほとんどの学校で積極的に推進を計っている。外に開いていくという学校の新しい変化を感じさせる結果である。

また、学校の内側も「情報機器やコンピュータ

表2-5 教育改革への各校の取り組み

	積極的に 推進している	実施 している	来年度から 実施する予定	実施時期も 含めて検討中	まったく 考えていない	とても賛成*
1. 総合的な学習の時間	61.7	36.2	0.0	2.1	0.0	19.7
2. 開かれた学校づくりの推進	53.2	42.6	0.0	4.3	0.0	30.2
3. 特色ある学校づくりの推進	47.8	47.8	0.0	4.3	0.0	26.1
4. 地域の人の力を借りた授業	43.5	45.7	2.2	8.7	0.0	44.5
5. 情報機器やコンピュータを活用した授業	34.0	61.7	2.2	2.1	0.0	40.3
6. 授業形態の多様化(TTや習熟度別・少人数などの学習指導)	32.6	43.5	8.7	10.9	4.4	53.6
7. ボランティア活動の推進	27.7	48.9	4.3	19.1	0.0	36.6
8. 国際理解教育や英語教育の推進	21.3	53.2	4.3	21.3	0.0	27.2
9. 複数担任制やクラスの少人数制	17.4	41.3	6.5	23.9	10.9	63.9
10. 環境教育の推進	15.2	73.9	2.2	6.5	2.2	41.8
11. 道徳教育の徹底	14.9	80.9	2.1	2.1	0.0	36.9
12. 教員の人事考課制度の採用	14.0	20.9	0.0	7.0	58.1	10.6
13. 学校評議員制度の導入	8.5	44.7	17.0	23.4	6.4	10.1
14. 学校間連帯	8.5	42.6	0.0	34.0	14.9	27.1
15. スクールカウンセラーの配置	6.7	13.3	2.2	22.2	55.6	61.4
16. 1単位時間の弾力化	6.4	40.4	14.9	25.5	12.8	32.7
17. コミュニティスクールの導入	2.4	11.9	4.8	26.2	54.8	11.7
18. 民間人からの校長登用	2.4	0.0	2.4	0.0	95.1	6.8
19. 学区の枠の拡大や学校選択の自由化	2.2	24.4	0.0	13.3	60.0	17.1
20. 学校行事(運動会や発表会など)の削減	2.1	25.5	4.3	40.4	27.7	6.8

*表2-1より

を活用した授業(95.7%)」「授業形態の多様化(TTや習熟度別・少人数などの学習指導)(76.1%)」など、積極的に開いていく様子が見えてくる。さらに「ボランティア活動の推進」「国際理解教育や英語教育の推進」「環境教育の推進」「道徳教育の徹底」など、様々な教育課題にも取り組みを進めている。しかし、これらの項目は、実施している学校は多いものの、積極的な推進は少ない。

これらの結果を、前出した教師の意識と重ねてみると、学校の積極的な推進と、教師の「とても賛成」とする意識の間には、かなり大きな差がみられる。特に上位3項目の「開かれた学校づくりの推進」については、各学校とも積極的に推進しているにもかかわらず、教師の意識がなかなか高まってはいかない。新しい変化を感じてはいるものの、なかなか自分のこれまでの実践してきた学習スタイルや意識を変えていくことは難しいようである。

一方、「授業形態の多様化(TTや習熟度別・少人数などの学習指導)」や「複数担任制やクラスの少人数制」など、積極的推進や実施校も多く、教師の賛成意見も多い。

みんな一緒の一律の教育から、違いを前提とした教育へと、新しい教育の流れは確実に進行している。

第3章

教師の教育観と生活

4月から学校完全週5日制の実施と、「ゆとりの中でじっくり学び」「生きる力を育むこと」を目標にした新学習指導要領が実施される。このような変革を前に、教師にとっては「学力の低下への不安」「3割削減の学習内容で基礎基本の定着は図れるのか」「授業時間の確保が行事や特別活動の削減に影響はあるのか」「週5日の詰め込まれた時間で、子どもと向き合うゆとりはあるのか」「子どもの休日の過ごし方や2日間連続する休みは子どもたちにどんな影響を与えるのか」「地域の受け皿はどうなっているのか」など、不安要因や課題がつかまとう。一方、昨今の経済状況から、親たちの共働きや父母とも土曜日に出勤している家庭も多い。親たちからみると、今回の学校完全週5日制や新学習指導要領の実施に伴い、「休日

の子どもたちの居場所はどこに」「学力低下の懸念」「ゆとり教育への冷やかな目」など不安感も強く、学校の指導や教師の資質への関心も高い。また、学校完全週5日制は、実質的な教師の労働時間の削減でもあり、夏休み、冬休みなど長期休業中の教師の勤務時間が問題になるなど、親や社会が学校に向ける視線には厳しいものがある。ここでは、こうした社会的背景をふまえて、教師の生活や職業観、教育観をデータからみていきたい。

1. 教師の日常生活

1) 教師の生活時間

教師の職業観や教育観にふれる前に、教師の日常生活を簡単にみておこう。表3-1に、勤務の

表3-1 勤務のある平日の平均的時間×性

1) 出勤時刻（始業時刻のおよそ何分前）

	(%)					
	5分前	10~15分前	20~30分前	40~50分前	1時間前	それ以上前
全体	10.8	26.1	37.2	15.5	7.3	3.1
男性	5.6	18.5	32.2	25.8	12.0	6.0
女性	14.6	31.7	41.0	7.9	3.8	1.0

2) 退勤時刻

	(%)							
	5時前	5時頃	5時半頃	6時頃	6時半頃	7時頃	7時半頃	8時以降
全体	0.5	4.7	17.5	28.3	21.7	14.2	6.2	6.8
男性	0.9	3.9	10.3	27.9	22.3	16.7	8.2	9.9
女性	0.3	5.4	22.9	28.6	21.3	12.4	4.8	4.4

3) 帰宅後、学校の仕事（教材研究や児童指導）をする時間

	(%)						
	しない	30分くらい	1時間くらい	1時間半くらい	2時間くらい	3時間くらい	それ以上
全体	12.8	16.5	34.6	15.6	16.5	3.1	0.9
男性	18.5	19.7	31.8	9.4	18.0	1.7	0.9
女性	8.6	14.1	36.7	20.1	15.3	4.2	1.0

4) 就寝時刻

	(%)						
	9時前	9時頃	10時頃	11時頃	12時頃	1時頃	それ以降
全体	0.6	2.0	10.1	32.8	40.9	11.7	1.8
男性	0.9	2.1	8.6	33.0	39.1	14.2	2.1
女性	0.3	1.9	11.2	32.7	42.3	9.9	1.6

■は時間帯の最も多い・次いで多い部分

ある平日の平均的な生活時間について、「出勤時刻」「退勤時刻」「帰宅後、学校の仕事をする時間」「就寝時刻」についてまとめて示した。最大値をあげ教師の平日の生活時間をとらえると、始業時刻の20～30分前に出勤し、退勤時刻は6時頃、帰宅後学校の仕事（教材研究や児童指導）を1時間くらいし、12時頃就寝するのが多くの教師に共通した平日の生活時間である。

性別では、男性教師の「出勤時刻」は「20～30分前」が32.2%、「40～50分前」25.8%と、女性教師の「20～30分前」41.0%、「10～15分前」の31.7%に比べると、出勤に30分くらいの差がみられ、男性教師の方が早く出勤している。また、「退勤時刻」も、男性教師は「6時頃」の27.9%、「6時半頃」の22.3%を含めると5割。女性教師は「6時頃」28.6%に「5時半頃」の22.9%を合わせ5割となり、一日をトータルでみると男性教師の方が学校で勤務する時間が長いことがわかる。「帰宅後の仕事時間」では、男性教師が「1時間くらい」31.8%に「30分くらい」19.7%を合わせ5割、一方、女性教師は「1時間くらい」が36.7%と高く、「1時間半くらい」も20.1%を占め、女性教師の方が家庭に仕事を多く持ち帰っていることがわかる。教師は家事・育児と仕事を両立する割合が高い職業と言われる。教師としての仕事

量に性差はないので、女性教師は学校での勤務時間が短い分を家庭に仕事をもち帰っていると推測できる。

2) 教師の仕事を一般企業と比べて

それでは、一般企業の人と比べて教師の特徴をみてみよう。表3-2は、仕事の量や忙しさ、ストレスの多さ、収入、趣味や余暇活用能力、学歴の重さや社会性などの9項目について一般企業と教師のどちらの特質と思うかを尋ねた結果である。表によれば、「家に持ち帰る仕事の多さ」を「絶対教師の方」と答えた割合は52.2%と半数を超え、「どちらかといえば教師」(42.0%)を含めると94.2%に達する。次いで、「仕事に対する熱心さ・情熱」(78.1%)、「ストレスの多さ」(65.4%)、「仕事の忙しさ」(56.5%)では教師が一般企業を大きく上回り、教師の特徴ととらえている。一方、「社会性」「高学歴へのこだわり」「趣味の豊かさや余暇時間の活用のうまさ」「収入の多さ」は企業の方が上回っている。

教師は、学校の仕事が忙しく家に仕事をもち帰ることも多くストレスも多い職業であるが、仕事への熱心さ・情熱も併せ持ち、企業とは異なった魅力的な仕事と考えている。

表3-2 一般企業の人と比べて

	(%)			
	絶対教師の方	どちらかとい えば教師	どちらかとい えば企業の人	絶対企業 の人の方
1. 家に持ち帰る仕事の多さ	52.2	42.0	5.0	0.7
	94.2		5.7	
2. 仕事に対する熱心さ・情熱	14.4	63.7	19.3	2.6
	78.1		21.9	
3. ストレスの多さ	22.5	42.9	28.6	5.9
	65.4		34.5	
4. 仕事の忙しさ	13.2	43.3	35.4	8.0
	56.5		43.4	
5. 家族旅行やスポーツをする時間の多さ	8.0	48.3	35.7	8.0
	56.3		43.7	
6. 収入の多さ	2.1	29.3	49.2	19.4
	31.4		68.6	
7. 趣味の豊かさや余暇時間の活用のうまさ	2.1	22.5	62.2	13.2
	24.6		75.4	
8. 高学歴へのこだわり	1.9	19.7	58.5	19.9
	21.6		78.4	
9. 社会性	0.2	5.5	66.5	27.9
	5.7		94.4	

2. 教師の職業観と学校生活

1) 学級経営と授業中の子どもの様子

それでは、実際の教師の仕事内容や自己評価を数値を通して具体的にみていこう。今回協力してくれた教師たちの学級経営の自己評価を表3-3にまとめた。「担任しているクラスの学級経営はうまくいっているか」と尋ねた結果をみると、「あまり+ぜんぜんうまくいっていない」は3.9%にすぎず、一方、「とてもうまくいっている」割合も16.5%にとどまっている。すなわち、学級経営が「とてもうまくいっている」とも「うまくいっていない」とも思えないが、「わりと+少しうまくいっている」と感じるのが教師たちの共通な思いのようである。

次に、担任しているクラスの子どもたちは、授業中どんな様子なのだろうか。表3-4では、教師がとらえる授業中の子どもたちの特徴を示している。「宿題や提出物など忘れ物が多い子」が「ぜんぜんいない」と答えた割合は5.2%にすぎず、「1~2人くらい」が38.2%、「3人以上いる」と答えた割合は56.6%とほぼ6割にも達する。次いで「授業が始まって教科書を出さない子」も「1~2人くらい」が38.6%、「3人以上いる」が38.7%と、宿題や提出物など忘れ物が多い子や授業が始まって授業の準備ができない子がクラスの多数派を占めている。「授業中、教室の後ろの方で、寝ころんだり座ったりしている子」や「授業中、教室を出たり入ったりしている子」が「1

人以上いる」と答えた教師は約1割、「先生の質問や指示を無視する子」「先生の注意や叱責に反抗する子」「授業中、注意されてもおしゃべりをやめない子」も2~4割、「先生や友だちの悪口を平気で言う子」は6割の教師が「1人以上いる」と答えており、授業は騒然として教室内のモラルは崩れ、教師の言うことを聞かず秩序が保たれない様子がうかがえる。さらに「いじめられている子や不登校の子」が「1人以上いる」と答えた教師は36.1%にも達し、学級経営の自己評価が「わりと+少しうまくいっている」と評価している反面、クラスの子どもたちは指導上困難な課題を負っており苦労している教師の姿がうかがえる。

表3-5で、クラスの子どもの様子と属性との関係を示した。数値は「ぜんぜんいない」割合を示している。「いじめられている子や不登校の子」が「ぜんぜんいない」と答えた割合は女性教師に若干多いが、他の項目では顕著な性差はみられない。年代別にみると、経験年数の少ない20代の教師に「先生の質問や指示を無視する子」「学校にふさわしくない服装や髪型、過度なオシャレをしてくる子」「いじめられている子や不登校の子」「校舎内の壁や教室の机などに落書きをする子」「授業中、注意されてもおしゃべりをやめない子」「先生や友だちの悪口を平気で言う子」「授業が始まって教科書を出さない子」が「ぜんぜんいない」と答えた割合が高く、逆に、50代の教師のクラスにはそうした子どもたちが多く騒然とした授業風景や問題を抱えた子どもが多くみられる。

表3-3 担任しているクラスの学級経営はうまくいっているか × 性・年代

	(%)				
	とてもうまく いっている	わりとうまく いっている	少しうまく いっている	あまりうまく いっていない	ぜんぜんうまく いっていない
全体	16.5	58.0	21.6	3.4	0.5
男性	18.0	54.7	21.7	4.3	1.2
女性	15.6	60.2	21.5	2.7	0.0
20代	19.1	46.8	29.8	4.3	0.0
30代	11.8	59.6	22.1	5.9	0.7
40代	17.5	59.3	21.5	1.1	0.6
50代	24.1	57.4	14.8	3.7	0.0

表3 - 4 学校(クラス)の様子

	(%)				
	ぜんぜんいない	1~2人くらい	3~4人くらい	5~6人くらい	それ以上いる
1. 授業中、マンガや小説を読んでいる子	95.2	4.2	0.2	0.4	0.0
2. 授業中、教室の後ろの方で、寝ころんだり座ったりしている子	91.0	8.4	0.6	0.0	0.0
3. 学校にアメやガムを持ってくる子	90.0	9.2	0.2	0.2	0.4
4. 授業中、教室を出たり入ったりしている子	87.1	10.6	1.7	0.6	0.0
5. 先生の質問や指示を無視する子	81.6	15.2	1.9	0.8	0.6
6. 先生の注意や叱責に反抗する子	74.4	22.5	2.3	0.6	0.2
7. 学校にふさわしくない服装や髪型、過度なオシャレをしてくる子	71.2	23.6	3.8	1.2	0.2
8. いじめられている子や不登校の子	63.8	34.4	1.5	0.0	0.2
9. 先生が言ったことのあげあしを取る子	62.6	33.4	3.5	0.4	0.2
10. 校舎内の壁や教室の机などに落書きをする子	59.7	30.8	7.3	1.7	0.4
11. 授業中、注意されてもおしゃべりをやめない子	59.0	30.4	5.0	3.8	1.7
12. 先生や友だちの悪口を平気で言う子	40.5	43.2	11.6	2.5	2.3
13. 授業が始まって教科書を出さない子	22.6	38.6	23.9	7.7	7.1
14. 宿題や提出物など忘れ物が多い子	5.2	38.2	37.0	12.9	6.7
				56.6	

表3 - 5 学校(クラス)の様子 × 性・年代

	性		年代				(%)
	男性	女性	20代	30代	40代	50代	
1. 授業中、マンガや小説を読んでいる子	95.5	95.0	98.1	94.9	95.5	94.3	
2. 授業中、教室の後ろの方で、寝ころんだり座ったりしている子	92.8	89.6	90.4	89.9	<u>93.2</u>	<u>87.4</u>	
3. 学校にアメやガムを持ってくる子	86.5	< 92.6	<u>88.5</u>	88.6	89.6	<u>94.2</u>	
4. 授業中、教室を出たり入ったりしている子	87.4	87.0	86.5	86.1	<u>90.0</u>	<u>82.8</u>	
5. 先生の質問や指示を無視する子	83.3	80.3	<u>86.5</u>	79.1	83.7	<u>78.2</u>	
6. 先生の注意や叱責に反抗する子	75.1	73.8	73.1	74.1	75.5	74.4	
7. 学校にふさわしくない服装や髪型、過度なオシャレをしてくる子	68.9	72.9	<u>78.8</u>	68.4	72.4	<u>67.8</u>	
8. いじめられている子や不登校の子	59.0	< 67.4	<u>69.2</u>	64.6	63.3	<u>61.6</u>	
9. 先生が言ったことのあげあしを取る子	63.5	61.9	<u>59.6</u>	60.1	64.3	<u>65.5</u>	
10. 校舎内の壁や教室の机などに落書きをする子	59.0	60.3	<u>65.4</u>	62.4	<u>57.0</u>	59.3	
11. 授業中、注意されてもおしゃべりをやめない子	59.5	58.7	<u>67.3</u>	60.8	60.0	<u>49.4</u>	
12. 先生や友だちの悪口を平気で言う子	41.9	39.4	<u>45.1</u>	<u>37.6</u>	40.3	43.7	
13. 授業が始まって教科書を出さない子	24.4	21.2	<u>34.6</u>	<u>21.5</u>	<u>20.5</u>	23.3	
14. 宿題や提出物など忘れ物が多い子	4.1	6.1	<u>11.8</u>	<u>1.3</u>	5.4	8.1	

「ぜんぜんいない」割合 < は5ポイント以上の差 ——— 最大値 - - - - 最小値(5ポイント以上の差)

次に、教師の受け持ちたい学年、受け持ちたくない学年をみてみよう。表3 - 6によれば、一番受け持ちたい学年は「3年生」の23.6%、次いで「5年生」「6年生」の順となる。逆に、一番受け持ちたくない学年は「1年生」の39.7%、「6年生」38.9%と1年生と6年生に受け持ちたくない学年が集中している（表3 - 7）。

表3 - 8で、受け持ちたい学年と受け持ちたくない学年を比較すると、「1年生」24.2ポイント、「6年生」21.5ポイントの差がみられる。6年生になると教師を無視したり反発する子も多く（そ

れはそれで成長発達の証でもあるのだが）、体格も教師と変わらない大きな子もでてくる。それだけに指導がやりにくいとを感じる教師も多い。一方、1年生は学校生活に不慣れで、集団としての「しつけ」や本来家庭でされるべき「しつけ」にも多くの時間がとられ、6年生とは別な指導の難しさがあるからだろう。特に、男性教師、女性教師、年代別で受け持ちたい学年・受け持ちたくない学年に大きな差がみられるのもそうした背景があると考えられる。

表3 - 6 一番受け持ちたい学年 × 性

	(%)					
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
全体	15.5	13.5	<u>23.6</u>	11.4	18.6	17.4
男性	12.2	6.8	22.9	12.7	22.0	23.4
女性	18.0	18.3	24.1	10.4	16.2	12.9

_____は最大値 は5ポイント以上の差

表3 - 7 受け持ちたくない学年 × 性

	(%)					
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
全体	<u>39.7</u>	2.7	3.9	3.4	11.3	38.9
男性	55.2	3.0	2.4	3.0	9.7	26.7
女性	29.0	2.5	5.0	3.7	12.4	47.3

_____は最大値 は20ポイント以上の差

表3 - 8 受け持ちたい学年・受け持ちたくない学年

	(%)					
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
受け持ちたい学年 (A)	15.5	13.5	23.6	11.4	18.6	17.4
受け持ちたくない学年 (B)	39.7	2.7	3.9	3.4	11.3	38.9
(A)と(B)の差	24.2	10.8	19.7	8.0	7.3	21.5

2) 教師の職業意識

学級経営の自己評価はおおむねうまくいっていると考えているものの、クラスには様々な子どもたちを抱え、学習指導や生活指導に苦労している様子がうかがえた。教師たちは、教師という職業に就いたことをどのように考えているのだろうか。表3-9では、教師を辞めようと思ったことがあるかを尋ねてみた。「1度もない」は36.4%、「1度だけある」が10.8%となる。考えてみれば、子どもの指導がうまくいかない、子どもの気持ちかわからない、父母との関係がうまくいかない、無力感、疲労感などから、教師になって1度くらい休みたい・辞めたいと思うことがあっても当然といえよう。そう考えると、教師を辞めたいと思ったことが「1度もない」「1度だけある」を合わせ5割弱を占めていることはかなり高い数値といえる。しかし一方で、「今辞めたいと思っている」は2.5%にすぎないものの、「これまでに何度

もある」の20.0%と「4、5回ある」(7.2%)を合わせると3割の教師が深刻な問題を抱え教師としての自分自身の存在に不安を抱いているのも事実である。性差では、男性教師に「1度もない」と答えた割合が45.5%と高く、女性教師との差が15.8ポイントも開いており、女性教師に辞めたいと思う気持ちが強い。年代別に「1度もない」の数値で見ると、20代57.7% > 30代34.4% > 40代33.2% < 50代36.2%と、20代の経験年数が少ない教師ほど辞めたいと思う気持ちが低い。

ここで視点を変え、教師になってよかったかを尋ねた結果もみておこう。表3-10によれば、「とてもよかった」40.9%、「わりとよかった」の32.7%を合わせると7割、「まあまあよかった」22.4%を含めると96.0%が教師になってよかったと考えている。性別では男性教師が「とてもよかった」と答えた割合が46.6%でほぼ5割と、教師としての自分自身を高く評価し、女性教師との差

表3-9 教師を辞めようと思ったことがあるか × 性

	(%)					
	今辞めたい と思っている	これまでに 何度もある	4、5回ある	2、3回ある	1度だけある	1度もない
全体	2.5	20.0	7.2	23.2	10.8	36.4
男性	0.9	13.4	6.7	21.9	11.6	45.5
女性	3.6	24.8	7.5	24.2	10.1	29.7

は10ポイント以上の差

表3-10 教師になってよかったか × 性

	(%)				
	とても よかった	わりと よかった	まあまあ よかった	あまり よくなかった	まったく よくなかった
全体	40.9	32.7	22.4	3.8	0.2
男性	46.6	30.8	19.0	3.2	0.5
女性	36.7	34.1	24.9	4.3	0.0

表3-11 教師の仕事は楽しいか × 性

	(%)				
	とても 楽しい	わりと 楽しい	まあまあ 楽しい	あまり 楽しくない	ぜんぜん 楽しくない
全体	26.4	34.5	31.5	7.0	0.6
男性	31.3	32.6	27.2	8.0	0.9
女性	22.9	35.9	34.6	6.2	0.3

が顕著である。年代別では、20代が「とてもよかった」と答えた者は53.8%で最も高く、30代、40代、50代では4割前後となる。

次に、表3-11で教師の仕事の楽しさを尋ねてみた。「とても楽しい」26.4%、「わりと楽しい」の34.5%を合わせると6割、「まあまあ楽しい」まで加えると9割を超える教師が、教師の仕事に楽しさを感じている。男性教師と20代の教師に若干楽しさを感じる割合が高い。

このようにみると、教師になって「とても+わりとよかった」73.6%、教師の仕事が「とても+わりと楽しい」60.9%、そして、教師を辞めたいと思ったことが「1度もない」36.4%となる。性別や年代別に多少の数値の差はあるものの、教職にやりがいや魅力、楽しさを感じ子どもの指導に熱心に情熱を傾けている教師像が浮かんでくる。その一方で、クラスは騒然とし、子どもたちのモラルの欠如やいじめや不登校などの問題を抱えて

いることも多く、辞めたいと思っている教師も一定の割合を占めている。

3) 教師の悩みと自信

これまでみてきたように、教師たちは教師という職業に魅力や楽しさを感じつつも、辞めたいと思うことも多い。そこで、表3-12では教師たちの悩みをまとめて示した。「休日や夜も、学校の仕事に追われている」と「とても感じている」26.3%、「わりと感じている」の44.9%を合わせると7割を超える。次いで、「とても+わりと感じている」の数値でみていくと、「子どもたちの学力差が大きく、授業がやりにくい」が63.0%、「年間の授業時間数が足りない」54.4%と、終日仕事に追われる生活、子どもたちの学力差や授業時間の不足による十分な指導ができない不安やあせりを感じる項目が上位を占める。

表3-12 教師としての悩み

	(%)			
	とても 感じている	わりと 感じている	あまり 感じていない	まったく 感じていない
1. 休日や夜も、学校の仕事に追われている	26.3	44.9	24.1	4.6
	71.2			
2. 子どもたちの学力差が大きく、授業がやりにくい	15.4	47.6	31.5	5.6
	63.0			
3. 年間の授業時間数が足りない	15.1	39.3	41.5	4.1
	54.4			
4. 子どもの興味・関心が授業に向いていない	2.6	29.2	54.8	13.4
	31.8			
5. 子どもたちが何を考えているのかわからない	1.5	17.8	67.5	13.2
	19.3			
6. 子どもたちが騒々しくて、授業ができない	1.5	13.9	53.5	31.0
	15.4			
7. クラスとしてのまとまりがない	1.5	11.6	60.7	26.1
	13.1			
8. クラス内にいじめがある	1.0	10.0	61.8	27.2
	11.0			
9. 他のクラスと比べて、テストの平均点が悪い	1.3	8.9	68.0	21.8
	10.2			

表3 - 13は、教師の悩みを属性別に示した。女性教師は、「休日や夜も、学校の仕事に追われている」と忙しさに悩み、20代の教師は「年間の授業時間数が足りない」「子どもたちが騒々しくて、授業ができない」「他のクラスと比べて、テストの平均点が悪い」など学習指導に悩み、50代の教師は「子どもたちが何を考えているのかわからない」と子ども理解の難しさに悩んでいる。性・年代別に悩みの重さは違うが、日夜仕事に追われていると感じる教師は性や世代を超えて共通の悩みでトップを占めている。

それでは、教師はどんなことに自信を持つのだろうか。表3 - 14に、教師としての自信をまとめてみた。「子どもの気持ちや心理を理解する能力」に「とても自信がある」と答えた割合は9.0%、「わりと自信がある」を含めて47.1%、次いで「社会的な常識や知識、一般的な教養」に「とても+わりと自信がある」が36.5%となる。逆に、「あまり+ぜんぜん自信がない」項目では、「子ども一人一人に課題を持たせ、授業を進めていく能力」35.5%、「総合的な学習の時間に対応する準備や知識、実行力」42.3%、「パソコンを利用して授業をする能力」47.4%、「新学習指導要領の内容理解と4月からの実施に伴う対応力」47.9%ではほぼ半数に達し、「英語を書いたり話したり

する能力」では72.0%と、自信の持てない教師の姿が浮かんでくる。特に、新学習指導要領が実施される直前の調査であったにもかかわらず、「総合的な学習の時間に対応する準備や知識、実行力」や「新学習指導要領の内容理解と4月からの実施に伴う対応力」に自信の持てない教師が4～5割と高い数値を示していることが目を引く。

表3 - 15は、教師が自信を持っていることを属性別に示した。男性教師は、「社会的な常識や知識、一般的な教養」「子ども一人一人に課題を持たせ、授業を進めていく能力」「総合的な学習の時間に対応する準備や知識、実行力」「パソコンを利用して授業をする能力」「新学習指導要領の内容理解と4月からの実施に伴う対応力」に高い自信を持っており、女性教師との差が大きく開いている。年代別では、50代の教師は、「子どもの気持ちや心理を理解する能力」「社会的な常識や知識、一般的な教養」「子ども一人一人に課題を持たせ、授業を進めていく能力」「総合的な学習の時間に対応する準備や知識、実行力」「新学習指導要領の内容理解と4月からの実施に伴う対応力」に自信を持ち、20代の教師は「パソコンを利用して授業をする能力」に自信の高さを示している。

表3 - 13 教師としての悩み × 性・年代

	性		年代				(%)
	男性	女性	20代	30代	40代	50代	
1. 休日や夜も、学校の仕事に追われている	63.8	<	66.6	73.7	71.6	67.4	
2. 子どもたちの学力差が大きく、授業がやりにくい	65.4	61.1	53.9	<u>71.7</u>	61.5	54.8	
3. 年間の授業時間数が足りない	54.9	54.1	<u>60.4</u>	55.6	54.4	50.0	
4. 子どもの興味・関心が授業に向いていない	33.3	30.6	37.0	27.6	33.6	30.9	
5. 子どもたちが何を考えているのかわからない	21.3	17.8	9.4	15.0	22.6	<u>22.9</u>	
6. 子どもたちが騒々しくて、授業ができない	14.9	15.8	<u>22.2</u>	15.0	16.8	9.6	
7. クラスとしてのまとまりがない	12.6	13.6	19.2	14.2	11.9	11.4	
8. クラス内にいじめがある	11.7	10.5	17.6	8.3	11.8	10.2	
9. 他のクラスと比べて、テストの平均点が悪い	9.9	10.5	<u>24.5</u>	10.9	8.2	5.7	

<は10ポイント以上の差 「とても」+「わりと」感じている割合
 ——は「最大値 - 最小値」が10ポイント以上の差

4) 教師の生活の変化

大きな教育改革の時を迎えた今、当然教師たちの生活にも変化がみられる。この調査の実施に当たり、先生方へヒアリングした折、『総合的な学習の時間の準備、少人数学級や習熟度別授業、体験学習、土曜日や長期休業中の補習教室など、これまでよりもなお一層の負担増が見込まれる。一方、子どもたちの学習成果には不安や戸惑いがある』という声をたくさん聞いた。そこで表3-16では、現在、学校や教師の生活がどのように変化しているのか探ってみた。以前に比べて、「帰宅後や休日も、持ち帰りの仕事をするが多くなった」と「とてもそう思う」と答えた者は45.0%、

「わりとそう思う」を合わせて77.9%にも達する。次いで「学校で仕事をする時間が以前よりも増えた」(「とても+わりとそう思う」75.5%)、「帰宅する時間が以前よりも遅くなった」(同様に73.3%)、「総合的な学習の時間に対応するための準備に追われるようになった」(同様に82.3%)と、教育改革に伴う仕事量の増加を指摘する声が7~8割を占める。また、「教師の勤務時間が厳しく管理されてきた」「管理職の指示・伝達が多く細かくなった」「体の疲れがたまり健康を害することが多くなった」ことを「とても+わりとそう思う」割合も約6割と、教師の仕事は今まで以上に忙しくなり、疲労感も強く、加えて管理職が

表3-14 教師としての自信

	(%)				
	とても自信がある	わりと自信がある	少し自信がある	あまり自信がない	ぜんぜん自信がない
1. 子どもの気持ちや心理を理解する能力	9.0	38.1	40.1	11.8	0.9
	47.1			12.7	
2. 社会的な常識や知識、一般的な教養	6.4	30.1	43.5	17.8	2.2
	36.5			20.0	
3. 子ども一人一人に課題を持たせ、授業を進めていく能力	4.3	21.1	39.2	32.0	3.5
	25.4			35.5	
4. 総合的な学習の時間に対応する準備や知識、実行力	4.8	17.9	35.0	37.4	4.9
	22.7			42.3	
5. パソコンを利用して授業をする能力	5.9	14.8	31.9	35.3	12.1
	20.7			47.4	
6. 新学習指導要領の内容理解と4月からの実施に伴う対応力	3.1	16.0	33.0	42.7	5.2
	19.1			47.9	
7. 英語を書いたり話したりする能力	2.2	7.5	18.3	45.1	26.9
	9.7			72.0	

表3-15 教師としての自信 × 性・年代

	(%)						
	性		年代				
	男性	女性	20代	30代	40代	50代	
1. 子どもの気持ちや心理を理解する能力	47.6	46.8	48.1	46.5	42.9	<u>57.0</u>	
2. 社会的な常識や知識、一般的な教養	46.3	> 29.3	16.7	30.8	37.4	<u>54.5</u>	
3. 子ども一人一人に課題を持たせ、授業を進めていく能力	33.4	> 19.4	11.1	24.1	24.4	<u>37.4</u>	
4. 総合的な学習の時間に対応する準備や知識、実行力	32.9	> 15.3	9.3	20.1	23.7	<u>32.7</u>	
5. パソコンを利用して授業をする能力	34.7	> 10.5	<u>29.7</u>	25.0	17.6	16.9	
6. 新学習指導要領の内容理解と4月からの実施に伴う対応力	31.6	> 9.9	7.6	15.7	19.8	<u>30.0</u>	
7. 英語を書いたり話したりする能力	11.3	8.6	7.4	10.0	10.2	9.9	

「とても」+「わりと」自信がある割合
 > は10ポイント以上の差 — は「最大値 - 最小値」が10ポイント以上の差

ら教師の生活全般にわたって細かく管理されているとの意識も強まっている。

表3-17は、属性別に示した。性別では、「帰宅後や休日も、持ち帰りの仕事をする事が多くなった」「帰宅する時間が以前よりも遅くなった」「総合的な学習の時間に対応するための準備に追われるようになった」「教師の勤務時間が厳しく管理されてきた」「体の疲れがたまり健康を害することが多くなった」ことを「とてもそう思う」と感じる割合は女性教師の方が高い。年代別では、40代、50代の教師に「学校で仕事をする時間が以

前よりも増えた」「帰宅する時間が以前よりも遅くなった」「総合的な学習の時間に対応するための準備に追われるようになった」「体の疲れがたまり健康を害することが多くなった」「教師の勤務時間が厳しく管理されてきた」「管理職の指示・伝達が多く細かくなった」「管理職の締めつけが厳しく、職場に自由で和やかな雰囲気がなくなった」等、仕事量の多さによる疲労感と教育活動に自由裁量の幅が狭まり全体に和やかな職場とは言い難いとの思いが強いことがうかがえる。

表3-16 学校や教師の生活の変化

	(%)			
	とても そう思う	わりと そう思う	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
1. 帰宅後や休日も、持ち帰りの仕事をする ことが多くなった	45.0	32.9	19.5	2.6
2. 学校で仕事をする時間が以前よりも増えた	43.3	32.2	21.2	3.3
3. 帰宅する時間が以前よりも遅くなった	42.2	31.1	22.7	4.1
4. 総合的な学習の時間に対応するための 準備に追われるようになった	38.2	44.1	15.6	2.0
5. 教師の勤務時間が厳しく管理されてきた	26.0	30.1	34.7	9.3
6. 体の疲れがたまり健康を害することが 多くなった	23.3	40.1	29.7	6.9
7. 管理職の指示・伝達が多く細かくなった	21.5	33.6	37.1	7.7
8. 管理職の締めつけが厳しく、職場に自由 で和やかな雰囲気がなくなった	16.0	21.3	47.4	15.3
9. 校内や校外の見回り、児童指導などに 時間をとられることが多くなった	13.0	31.5	44.9	10.6
10. 職員会議で自分の意見を発表するのを 控えるようになってきた	9.8	23.0	51.2	16.0
11. 教師を辞めたいと思うことが多くなってきた	8.9	23.3	41.3	26.4

表3-17 学校や教師の生活の変化 × 性・年代

	性		年代			
	男性	女性	20代	30代	40代	50代
1. 帰宅後や休日も、持ち帰りの仕事をする ことが多くなった	36.1	< 51.4	<u>37.3</u>	<u>47.8</u>	46.3	42.6
2. 学校で仕事をする時間が以前よりも増えた	40.5	45.3	<u>27.5</u>	37.5	47.6	<u>51.5</u>
3. 帰宅する時間が以前よりも遅くなった	36.1	< 46.5	<u>33.3</u>	40.4	<u>44.9</u>	44.0
4. 総合的な学習の時間に対応するための 準備に追われるようになった	30.5	< 43.7	<u>22.0</u>	32.7	43.1	<u>44.4</u>
5. 教師の勤務時間が厳しく管理されてきた	18.8	< 31.1	<u>18.0</u>	30.0	23.3	<u>30.6</u>
6. 体の疲れがたまり健康を害することが 多くなった	17.0	< 27.8	<u>8.0</u>	25.8	23.9	<u>26.8</u>
7. 管理職の指示・伝達が多く細かくなった	18.1	24.0	17.6	21.1	25.1	16.8
8. 管理職の締めつけが厳しく、職場に自由 で和やかな雰囲気がなくなった	14.1	17.4	13.7	16.8	17.2	13.9
9. 校内や校外の見回り、児童指導などに 時間をとられることが多くなった	7.6	16.9	16.3	11.3	13.2	14.3
10. 職員会議で自分の意見を発表するのを 控えるようになってきた	9.4	10.1	10.0	8.8	8.4	15.2
11. 教師を辞めたいと思うことが多くなってきた	4.0	12.4	8.0	7.5	8.0	14.3

「とてもそう思う」割合

< は10ポイント以上の差 ——— は最大値 - - - - は最小値 (10ポイント以上の差)

5) 教師を辞めたくるとき

教育改革に伴う変革は、教師たちに忙しさ、不安や戸惑いなど、生活や意識に変化をもたらしている。定年を4、5年残して、この3月教師を辞めていった人も多いと聞く。そこで、教師を辞めたいと思うのはどんなときなのか、変革を前にした生活の変化との関連からみておこう。

筆者らは1999年(『モノグラフ・小学生ナウ』vol.19-2)にも教師調査を実施し、「教師を辞めたいと思ったことがあるか」と尋ねている。そこで、そのときの調査データと比較してみることにした。わずか3年前のデータであるが、「教師を辞めたい」と考える割合が増加していることがわかる。この背景を確かめてみよう。

	2002年	1999年	(%)
今辞めたいと思っている	2.5	1.6	} 23.8
何度もある	20.0	16.7	
4、5回ある	7.2	5.5	
2、3回ある	23.2	19.2	
1度だけある	10.8	16.5	
1度もない	36.4	40.5	

新学習指導要領の実施に伴う学習内容の3割削減や総合的な学習の時間の実施、学校完全週5日

制など、4月からの教育の変革を前に戸惑い悩み、自信が持てない様子の教師たち。さらに、新学習指導要領実施の準備に追われ、仕事はますます忙しく、疲労感や健康を害することも多い教師たち。一方、管理職の指示・伝達は細かく勤務時間も厳しく管理され、職場での人間関係は以前のように和やかな雰囲気ではなくなったと感じる教師も多い。こうした教師の生活の変化と教師を辞めたいと思うかとのクロス集計から、数値を追ってみることとする。

表3-18は、教師の悩みと教師を辞めたいと思うこととの関係である。「今辞めたいと思っている+これまでに何度もある」教師に、「休日や夜も、学校の仕事に追われている」「子どもの興味・関心が授業に向いていない」「子どもたちが何を考えているのかわからない」「クラスとしてのまとまりがない」「クラス内にいじめがある」「他のクラスと比べて、テストの平均点が悪い」など、忙しさ、子ども理解、授業、学級経営で悩んでいる様子が見えがえる。特に、「休日や夜も、学校の仕事に追われている」「子どもたちが何を考えているのかわからない」「クラスとしてのまとまりがない」で「1度もない」教師との差が大きく開いていることがわかる。

表3-18 教師としての悩み × 教師を辞めたいと思うこと

	今辞めたい+ 何度もある (A)	4、5回+ 2、3回ある	1度だけ ある	1度も ない (B)	(A) - (B) 差
1. 休日や夜も、学校の仕事に追われている	<u>82.2</u>	72.0	76.8	62.6	19.6
2. 子どもたちの学力差が大きく、授業がやりにくい	65.2	65.8	<u>73.2</u>	55.5	9.7
3. 年間の授業時間数が足りない	51.3	<u>59.6</u>	50.0	51.8	-0.5
4. 子どもの興味・関心が授業に向いていない	<u>38.1</u>	37.3	19.7	25.8	12.3
5. 子どもたちが何を考えているのかわからない	25.6	<u>26.7</u>	14.3	9.4	16.2
6. 子どもたちが騒々しくて、授業ができない	16.1	<u>19.3</u>	14.3	12.7	3.4
7. クラスとしてのまとまりがない	<u>19.5</u>	14.7	11.3	9.3	10.2
8. クラス内にいじめがある	<u>16.7</u>	10.2	13.2	8.2	8.5
9. 他のクラスと比べて、テストの平均点が悪い	<u>15.9</u>	11.5	3.8	7.5	8.4

「とても」+「わりと」感じている割合
——は最大値

次に、表3 - 19で、教師としての自信についてみてみよう。当然と言えば当然であるが、辞めたいと思ったことが「1度もない」教師は、自己の能力を自信を持って高く評価している。逆に、「今辞めたいと思っている+これまでに何度もある」教師は、「子どもの気持ちや心理を理解する能力」「子ども一人一人に課題を持たせ、授業を進めていく能力」「パソコンを利用して授業をする能力」「新学習指導要領の内容理解と4月からの実施に伴う対応力」に自信のなさがうかがえる。

そして、学級経営との関連をみたのが表3 - 20である。辞めたいと思ったことが「1度もない」教師に、学級経営がうまくいっている傾向がみえる。

表3 - 21は、学校や教師の生活の変化との関連を示した。「今辞めたいと思っている+これまでに何度もある」と答えた教師は、「帰宅後や休日も、持ち帰りの仕事をするが多くなった」「学校で仕事をする時間が以前よりも増えた」「帰宅する時間が以前よりも遅くなった」「総合的な

表3 - 19 教師としての自信 × 教師を辞めたいと思うこと

	今辞めたい+ 何度もある (A)	4、5回+ 2、3回ある	1度だけ ある	1度も ない (B)	(A) - (B) 差
1. 子どもの気持ちや心理を理解する能力	35.9	40.9	49.1	<u>58.1</u>	- 22.2
2. 社会的な常識や知識、一般的な教養	31.6	34.6	33.4	<u>40.6</u>	- 9.0
3. 子ども一人一人に課題を持たせ、授業を進めていく能力	21.6	18.9	21.4	<u>33.8</u>	- 12.2
4. 総合的な学習の時間に対応する準備や知識、実行力	17.0	21.4	24.6	<u>26.5</u>	- 9.5
5. パソコンを利用して授業をする能力	14.4	20.1	12.3	<u>26.9</u>	- 12.5
6. 新学習指導要領の内容理解と4月からの実施に伴う対応力	11.2	18.9	17.5	<u>24.4</u>	- 13.2
7. 英語を書いたり話したりする能力	<u>14.4</u>	10.7	7.0	7.3	7.1

(%)

「とても」+「わりと」自信がある割合 は最大値

表3 - 20 担任しているクラスの学級経営はうまくいっているか × 教師を辞めたいと思うこと

	とてもうまく いっている	わりとうまく いっている	少しうまく いっている	あまりうまく いない	ぜんぜんうまく いない
今辞めたい+何度もある	12.9	56.4	24.8	5.9	0.0
	69.3				
4、5回+2、3回ある	11.4	54.5	30.1	3.3	0.8
	65.9				
1度だけある	18.6	69.8	11.6	0.0	0.0
	88.4				
1度もない	23.3	57.5	15.8	2.7	0.7
	80.8				

(%)

学習の時間に対応するための準備に追われるようになった」「体の疲れがたまり健康を害することが多くなった」「管理職の指示・伝達が多く細かくなった」「管理職の締めつけが厳しく、職場に自由で和やかな雰囲気がなくなった」「校内や校外の見回り、児童指導などに時間をとられることが多くなった」「職員会議で自分の意見を発表するのを控えるようになってきた」と感じる割合が高い。

辞めたいと思う教師ほど、教育改革に戸惑いと

消極的な姿勢を示し、仕事が増えることでの負担感や疲労感が重く生活にのしかかり、教育への熱意や意欲を失っているように感じられる。そのため、子どもの気持ちや心理を理解する能力や一人一人に課題を持たせ授業を進めていく能力にも自信が持てず、変革する教育の現状も適切にとらえられない教師の姿がうかがえ、21世紀の教育改革への戸惑いが教師を辞めたいと思う気持ちに一層強く影響を与えていることがわかる。

表3 - 21 学校や教師の生活の変化 × 教師を辞めたいと思うこと

	今辞めたい+ 何度もある (A)	4、5回+ 2、3回ある	1度だけ ある	1度も ない (B)	(A) - (B) 差
1. 帰宅後や休日、持ち帰りの仕事をすることが多くなった	<u>56.3</u>	45.3	53.6	36.8	19.5
2. 学校で仕事をする時間が以前よりも増えた	<u>54.6</u>	46.2	44.6	34.7	19.9
3. 帰宅する時間が以前よりも遅くなった	<u>55.5</u>	45.3	44.6	31.7	23.8
4. 総合的な学習の時間に対応するための準備に追われるようになった	<u>51.8</u>	34.6	47.3	31.6	20.2
5. 教師の勤務時間が厳しく管理されてきた	<u>33.1</u>	27.0	21.4	24.2	8.9
6. 体の疲れがたまり健康を害することが多くなった	<u>43.6</u>	20.3	25.0	13.4	30.2
7. 管理職の指示・伝達が多く細かくなった	<u>31.9</u>	20.8	23.2	15.8	16.1
8. 管理職の締めつけが厳しく、職場に自由で和やかな雰囲気がなくなった	<u>22.7</u>	17.0	17.9	11.6	11.1
9. 校内や校外の見回り、児童指導などに時間をとられることが多くなった	<u>22.2</u>	10.1	19.6	8.1	14.1
10. 職員会議で自分の意見を発表するのを控えるようになってきた	<u>20.5</u>	7.6	12.5	5.3	15.2

「とてもそう思う」割合 ——— は最大値

3. 変革を求める教師たち

それでは、変革を求める教師たちは、学級経営や教育への熱意、楽しさ、新学習指導要領が実施される直前の生活の変化をどのようにとらえているのか。

新しい教育施策に関する教師の評価（表2-1）の21項目に焦点をあて、「とても賛成」1点、「やや賛成」2点、「やや反対」3点、「とても反対」4点として点数化し、加算した。

- ・複数担任制やクラスの少人数制
- ・スクールカウンセラーの配置
- ・授業形態の多様化（TTや習熟度別・少人数などの学習指導）
- ・地域の人の力を借りた授業
- ・環境教育の推進
- ・情報機器やコンピュータを活用した授業
- ・学校完全週5日制の実施
- ・コミュニティスクールの導入
- ・ボランティア活動の推進
- ・1単位時間の弾力化
- ・開かれた学校づくりの推進
- ・国際理解教育や英語教育の推進
- ・学校間連帯
- ・特色ある学校づくりの推進

- ・教科内における内容の選択の拡大・推進
- ・総合的な学習の時間の新設
- ・学区の枠の拡大や学校選択の自由化
- ・中高一貫教育の実施
- ・教員の人事考課制度の採用
- ・学校評議員制度の導入
- ・民間人からの校長登用

15～31点	25.7%積極群
32～44点	50.3%	
45～73点	24.0%消極群

そして素点が15点から73点まで分布するので、15点～31点の25.7%を新しい教育施策に積極的に取り組む教師「積極群」とし、45点～73点の24.0%を「消極群」として、3層に分類し分析を行った。

図3-1の「担任しているクラスの学級経営はうまくいっているか」では、「積極群」が「とてもうまくいっている」割合は24.5%、「消極群」の12.9%との差は11.6ポイントと大きく開いている。

次いで、図3-2では、「教師を辞めようと思ったことがあるか」との関連を示した。「積極群」は辞めたいと思ったことが「1度もない」39.8%と4割に達するが、「消極群」は26.0%にすぎず、逆に、「今辞めたいと思っている」3.3%、「これまでに何度もある」28.5%、

図3-1 担任しているクラスの学級経営はうまくいっているか × 教育改革への姿勢

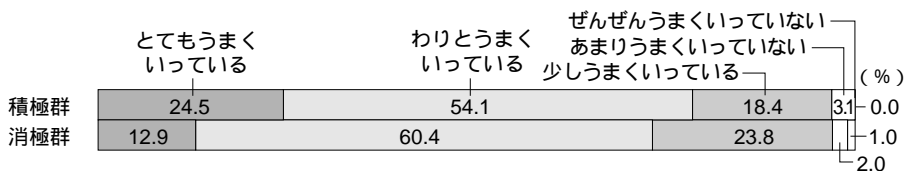


図3-2 教師を辞めようと思ったこと × 教育改革への姿勢

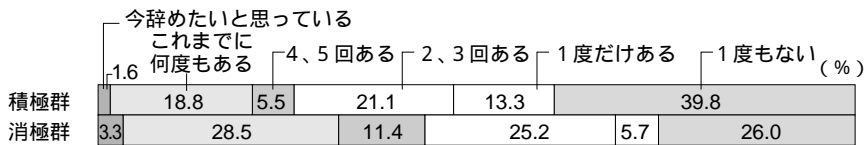
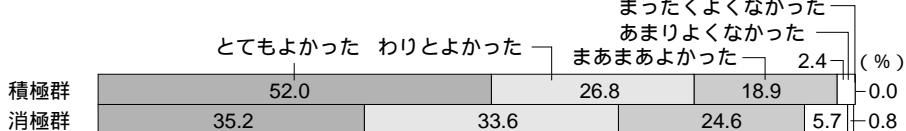


図3-3 教師になってよかったか × 教育改革への姿勢



もない」数値を上回り、「消極群」の3割の教師が辞めたいと強く感じていることがわかる。

図3-3、4は、「教師になってよかったか」「教師の仕事は楽しいか」とのクロス集計の結果である。「積極群」は、教師になって「とてもよかった」と答えた割合は52.0%、教師の仕事「とても楽しい」と答えた割合は38.3%で、「消極群」との差が顕著である。

教育改革に積極的な教師ほど学級経営がうまくいき、教師の仕事が楽しく、教師になってよかったと教師という職業の自己を肯定的にとらえている。

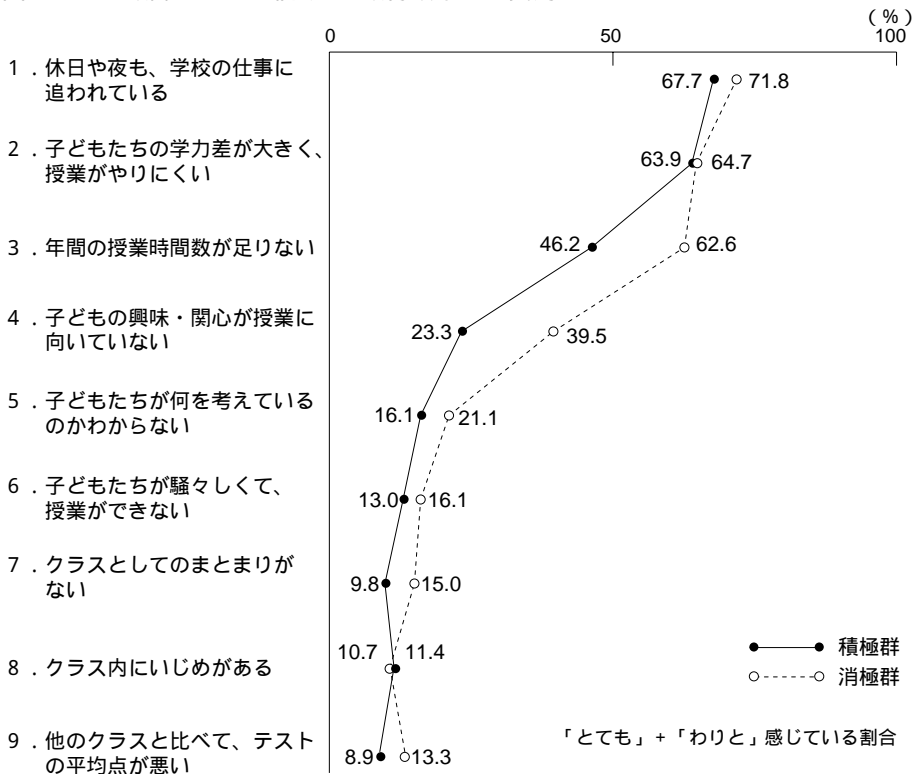
それでは、教師の悩みや自信との関係はどうだろうか。図3-5の教師の悩みとの関連からみて

いこう。「休日や夜も、学校の仕事に追われている」「子どもたちの学力差が大きく、授業がやりにくい」では両群で大きな差はみられない。両群で差が顕著な項目は、「年間の授業時間数が足りない」(積極群46.2% < 消極群62.6%)、「子どもの興味・関心が授業に向いていない」(積極群23.3% < 消極群39.5%)で、どちらも16ポイントの差がみられる。教育改革に消極的な教師ほど授業時間数の不足や子どもの興味・関心が授業に向いていないと感じている。一方、教育改革に積極的な教師が授業時間数の不足や子どもたちの興味・関心が授業に向いていないとは感じていない。教育改革に消極的な教師は、従来の授業のスタイルから意識を変えようとせず、積極的な教師は、たとえ

図3-4 教師の仕事は楽しいか × 教育改革への姿勢

	とても楽しい	わりと楽しい	まあまあ楽しい	ぜんぜん楽しくない あまり楽しくない	(%)
積極群	38.3	28.9	28.1	4.7	0.0
消極群	20.3	35.8	35.0	8.9	0.0

図3-5 教師としての悩み × 教育改革への姿勢

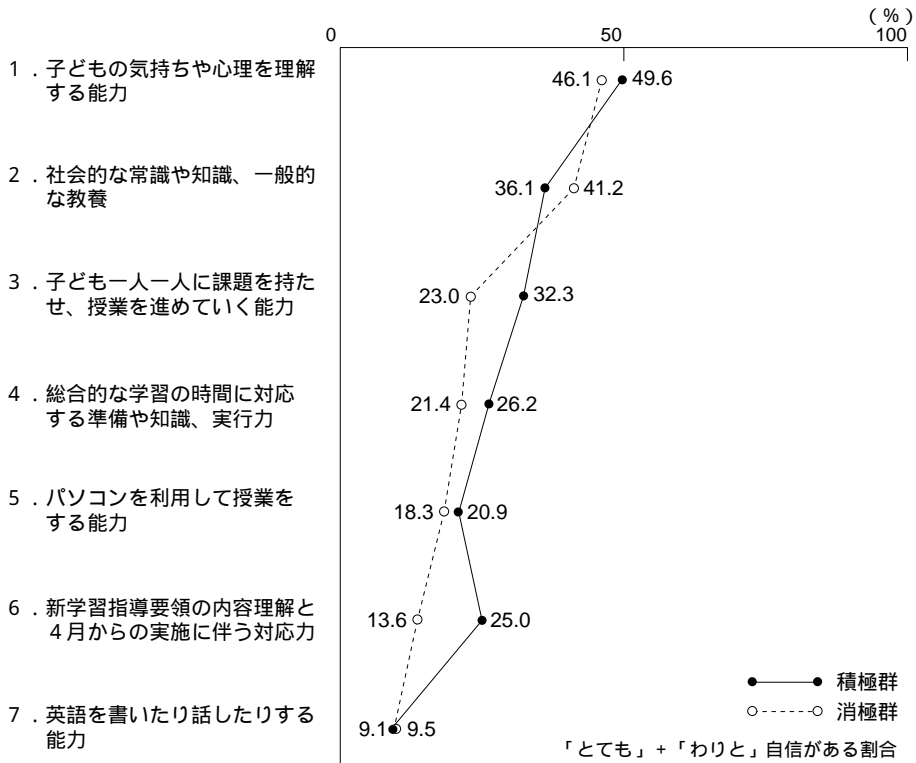


ば地域の人の力を借りたりコンピュータを利用したりと、子どもたちに興味・関心を引きつけるような授業や指導内容の工夫をし、新しい教育を模索している結果であろうか。

図3-6は、教師としての自信との関連である。「子ども一人一人に課題を持たせ、授業を進めていく能力」や「新学習指導要領の内容理解と4月からの実施に伴う対応力」で「積極群」にやや自信があるが、その他の項目では両群に大きな差はみられない。

それでは、両群で教師としての生活や意識にどのような変化をもたらしたのだろうか。表3-22によれば、「消極群」には「学校で仕事をする時間が以前よりも増えた」「帰宅する時間が以前よりも遅くなった」「総合的な学習の時間に対応するための準備に追われるようになった」「教師の勤務時間が厳しく管理されてきた」「体の疲れがたまり健康を害することが多くなった」「管理職の指示・伝達が多く細かくなった」「管理職の締めつけが厳しく、職場に自由で和やかな雰囲気が

図3-6 教師としての自信×教育改革への姿勢



なくなった」「職員会議で自分の意見を発表するのを控えるようになってきた」「教師を辞めたいと思うことが多くなってきた」と教師に対するマイナスのイメージが強く、「積極群」との差が顕著にみられる。

教育が大きく変革しようとする21世紀、学校や教育委員会など行政単位で変革しなければならない改革も多いと思うが、教育の最前線にいる教師の意識を大きく変革することが求められる。教師と一般の企業の最も大きな差異は、向き合う相手

が子どもたちであること、子どもたちの笑顔が教師に仕事への情熱や意欲をもたらし、疲れも癒してくれる点であろう。様々な論議のもとに、4月から新学習指導要領の実施と学校完全週5日制が実施され新しい教育改革へのスタートが切られた。教育改革への積極的な姿勢は教師の教育観や職業観を変化させていくだろうが、子どもに意欲を持たせることができ、子どもから信頼される教師になるにはどのような教育改革が効果的なのか時間をかけて検証していく必要があると感じた。

表3 - 22 学校や教師の生活の変化×教育改革への姿勢

	積極群		消極群	差
1. 帰宅後や休日も、持ち帰りの仕事をするものが多くなった	48.1		49.2	1.1
2. 学校で仕事をする時間が以前よりも増えた	36.8	< <	50.8	14.0
3. 帰宅する時間が以前よりも遅くなった	38.6	<	48.4	9.8
4. 総合的な学習の時間に対応するための準備に追われるようになった	34.6	<	41.9	7.3
5. 教師の勤務時間が厳しく管理されてきた	22.7	< <	32.8	10.1
6. 体の疲れがたまり健康を害することが多くなった	20.0	< <	33.6	13.6
7. 管理職の指示・伝達が多く細かくなった	20.3	<	30.2	9.9
8. 管理職の締めつけが厳しく、職場に自由で和やかな雰囲気がなくなった	12.8	< <	23.0	10.2
9. 校内や校外の見回り、児童指導などに時間をとられることが多くなった	12.1		16.9	4.8
10. 職員会議で自分の意見を発表するのを控えるようになってきた	4.5	<	13.6	9.1
11. 教師を辞めたいと思うことが多くなってきた	6.1	<	13.6	7.5

「とてもそう思う」割合
 <は5ポイント、<<は10ポイント以上の差

まとめに代えて

これまでふれてきたように、教育改革についての教師の意見はおおむね好意的という印象を受ける。そうした教師の反応を大きくつかむと、「教育改革そのものに賛成だが、教材についての改革は問題が多いと思う」となる。

教育改革についての好意的な評価

あらためて、図1に目をとめてほしい。教育改革についての賛否をまとめると以下ようになる。

- 1) 賛成が9割以上 無条件で賛成
- ①環境教育の推進 95.4%
 - ②複数担任制やクラスの少人数制 94.9%
 - ③授業形態の多様化(TTなど) 94.7%
 - ④地域の人の力を借りた授業 94.3%
 - ⑤スクールカウンセラーの配置 94.0%
 - ⑥情報機器やコンピュータを活用した授業 90.8%
- 2) 賛成が7～9割 積極的に賛成
- ⑦1単位時間の弾力化 88.8%
 - ⑧ボランティア活動の推進 86.2%
 - ⑨開かれた学校づくりの推進 85.2%
 - ⑩学校間連帯 83.5%
 - ⑪道徳教育の徹底 82.8%
 - ⑫特色ある学校づくりの推進 81.8%
 - ⑬国際理解教育や英語教育の推進 81.3%
 - ⑭学校完全週5日制の実施 75.1%
 - ⑮教科内における内容の選択の拡大・推進 70.7%

3) 賛成が5～6割 どちらかといえば、賛成

- ⑯中高一貫教育の実施 65.2%
- ⑰総合的な学習の時間の新設 58.9%
- ⑱コミュニティスクールの導入 57.7%
- ⑲学区の枠の拡大や学校選択の自由化 56.8%

4) 賛成が5割以下 改革に反対

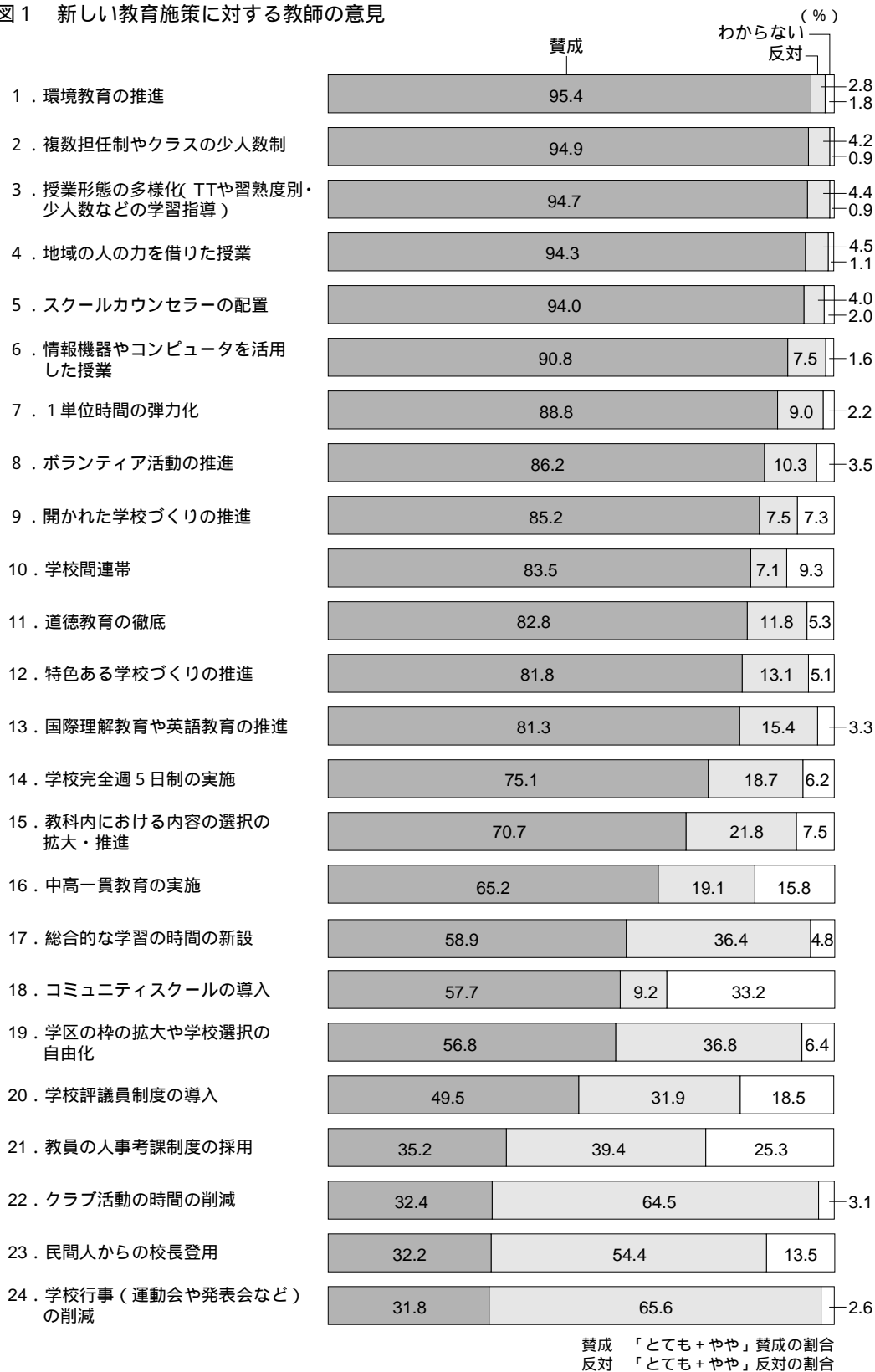
- ⑳学校評議員制度の導入 49.5%
- ㉑教員の人事考課制度の採用 35.2%
- ㉒クラブ活動の時間の削減 32.4%
- ㉓民間人からの校長登用 32.2%
- ㉔学校行事(運動会や発表会など)の削減 31.8%

(「とても+やや」賛成の割合)

学校改革についての評価を細かく分析してみると、全体として賛成のようにみえるが、賛成率がきわめて高いのは「複数担任制やクラスの少人数制」や「スクールカウンセラーの配置」のような教師をサポートする施策で、「学校完全週5日制の実施」への賛成は75.1%に達するものの、「総合的な学習の時間の新設」への同意は58.9%、「学区の枠の拡大や学校選択の自由化」は56.8%と、半数を上回る程度である。

「総合的な学習の時間の新設」はどの教師にも密接に影響する改革であろうが、賛成58.9%に対し、反対は36.4%で、総合的な学習の導入に懐疑的な教師が少なくないことがわかる。

図1 新しい教育施策に対する教師の意見



学習指導要領の改訂には懐疑的

こうした総合的な学習への懐疑的な態度は、学習指導要領の改訂に賛成できない気持ちの現れである。

「学習内容の3割削減」についての教師の反応は、子どもにとって「よい」が37.8%で、「よくない」が53.6%と、批判的な評価が15.8ポイントほど多い。

学習指導要領の改訂によって、どういふ変化が予想されるのか。教師たちは図2に示したような見通しを抱いている。

1) 6割以上が「そう思う」 そうなるように思う

①塾通いに拍車がかかる	72.8%
②学力差が大きくなる	68.0%
③総合的な学習の時間を楽しみにする	61.8%

2) 4～6割が「そう思う」 そうなる可能性がある

④基礎的な学力が低下する	57.8%
⑤楽しい行事や活動が減る	57.5%
⑥宿題や家庭学習が増える	56.3%
⑦授業時間が足りなくなる	52.7%
⑧主体的な活動ができ、授業が楽しくなる	44.3%

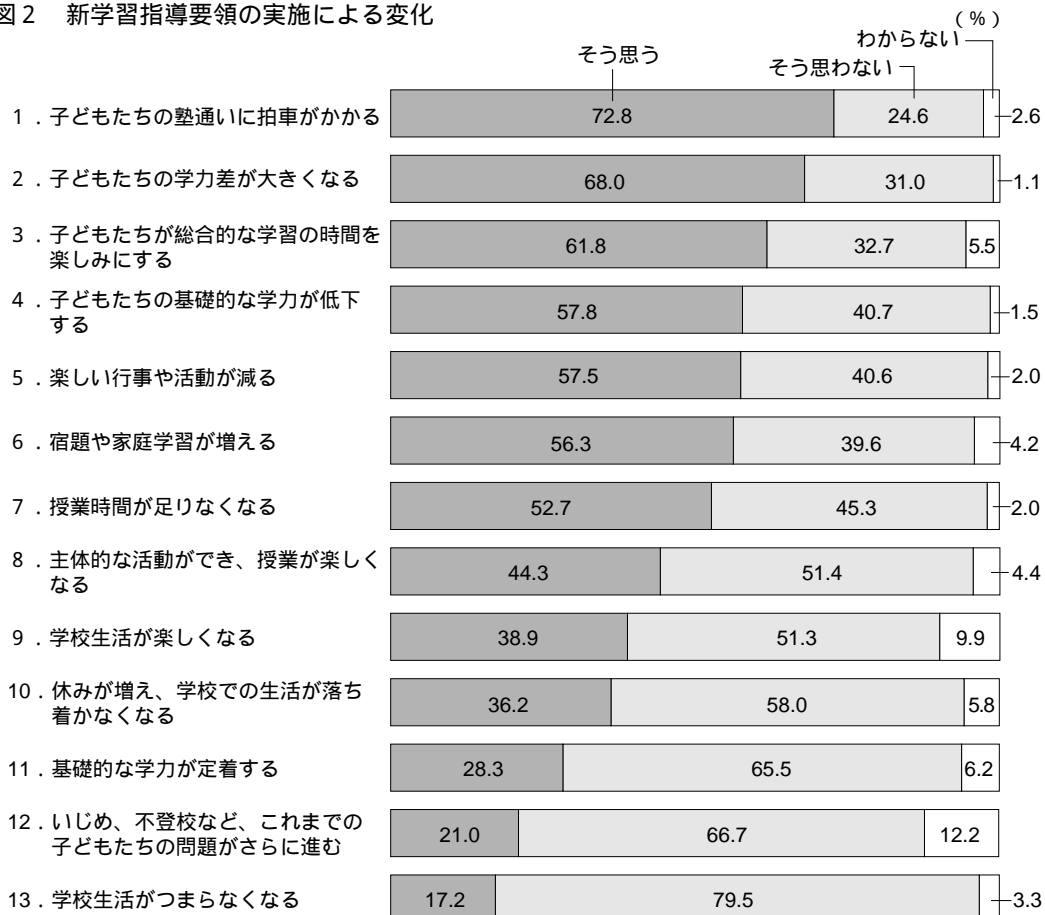
3) 「そう思う」が4割以下 そうなることはない

⑨学校生活が楽しくなる	38.9%
⑩学校での生活が落ち着かなくなる	36.2%
⑪基礎学力が定着する	28.3%
⑫いじめや不登校の問題が増加する	21.0%
⑬学校生活がつまらなくなる	17.2%

(「とても+わりと」そう思う割合)

現在の改革が進むと、学校完全週5日制の影響で学校行事などの楽しい時間が減るだけでなく、学校で扱う教材が減るので、学力面の不安から、塾通いが増え、学力差も広がるというのが、教師たちの感じ方である。

図2 新学習指導要領の実施による変化



「とても+わりと」そう思う割合
「あまり+ぜんぜん」そう思わない割合

問題解決力の向上と基礎学力の低下

「学習内容の3割削減」に対する、教師の評価は、

とてもよい	4.0%	} 37.8%
どちらかといえばよい	33.8%	
どちらかといえばよくない	40.2%	} 53.6%
とてもよくない	13.4%	
よくわからない	8.6%	

のように、教材削減に反対する気持ちが強い。

実際に、「新学習指導要領の導入で、子どもの力がどう変化すると思うか」について、図3のような見通しを抱いている。

この結果は、3つに類型化できる。

1)「低下する」と思う

①計算力	69.6%
②漢字の読み書きの力	59.4%
③読書量や読解力	58.5%
④文書表現力	49.4%

2)「変わらない」と思う

⑤基礎的な運動能力	53.1%
⑥社会一般の知識	47.3%
⑦集団としてのモラル	60.6%
⑧他人への思いやり	64.4%

3)「向上する」と思う

⑨自分の考えを発表する力	57.6%
⑩創造力	54.6%
⑪企画力や実行力	52.7%
⑫自主性	60.2%
⑬課題解決力	62.9%

教師たちの見方は、教育課程が変わると、子どもたちの課題解決力や実行力は向上すると思う。しかし、計算力や読み書きの力は低下する心配があるという。問題解決の力はつくが、基礎的な学力は低下するという見方である。

もう少し、こうした見方を補足するなら、教科で不安なのは、まず「算数」(一番不安な教科51.7%)、次いで「国語」(25.8%)である(表1-5)。

教材面の改訂で、反対なのは、5、6年での朗読の削除(「反対」の割合87.4%)、視写、聴写指導の削除(81.6%)、小教第2位以下の指導削除(70.9%)である(表1-6)。

教師の声をどう生かすのか

これまでふれてきたように、教育改革に対する教師たちの意見は「教育改革には賛成だし、学習指導要領の改訂などを契機として、子どもたちの

自主性や課題解決力などは伸びると思う。しかし、算数や国語などの基礎学力の低下が心配だ」となる。

教育改革に対する教師たちの見方はきわめて適切のように思った。それだけに、教師の意見を教育改革に生かしてほしいと思った。

問題解決型学習のための条件整備を

総合的な学習の時間は問題解決型学習のスタイルをとる。これまでの伝達型の学習ならば1人の教師が黒板を背にして、教科書を使って授業すればよかった。しかし、問題解決型の学習では、それぞれの子どもが自主的に学習を進める形をとる。そうすると、(1)これまでの教室だけでなく、多様な施設(小さな部屋や作業室など)が必要になる。それと同時に(2)主体的な学習を進めるのに、教科書やノートなどの他に、たくさんの資料やパソコン、コピー機など、多くの費用が必要になる。さらに、(3)少人数の学習が増えるから、教師も1人でなく複数の教師や相談にのる指導者がいてほしい。

このように、問題解決型の学習を進めるためには、施設や費用、人などが必要になる。実をいうと、問題解決型はコストのかかる教育プログラムなのだが、現状はそうした予算や人件費面での配慮がなされていない印象を受ける。総合的な学習を進めるのなら、そのための条件整備が望まれよう。

基礎学力向上への取り組みを

問題解決型学習と系統的な学習とは教育史的にみても2つの大きな流れで、対立しながら、互いに影響を与えてきた。しかし、大正自由教育や第二次大戦後のコアカリキュラムなどの教訓を踏まえると、問題解決型の学習を進めるためにも、基礎学力が必要なことがわかる。換言するなら、基礎学力がつかないと、問題解決型の学習は空回りし、這いまわる経験主義になってしまう。そう考えると、算数や国語の学力低下が心配という教師たちの懸念はきわめて妥当のように思われる。総合的な学習を進めるためにも、学校全体として、国語や算数の基礎的な学力の充実に心がけてほしいと思った。

教師の意欲を育てる環境作りを

このところ、意欲的な教師が減ってきたような印象を受ける。規制緩和が世の中の主流となっているのに、教育界では規制が厳しくなり、教師の意欲をそく動きが目につく。総合的な学習を定着させるには、学級での主体的な個人的な取り組みが必要であろう。それだけに学校内にのびのびと

した雰囲気が大気になる。教育委員会も学校長も、それぞれの教師に責任を持たせ、教師が動きやすい環境作りに努めてほしいと思った。

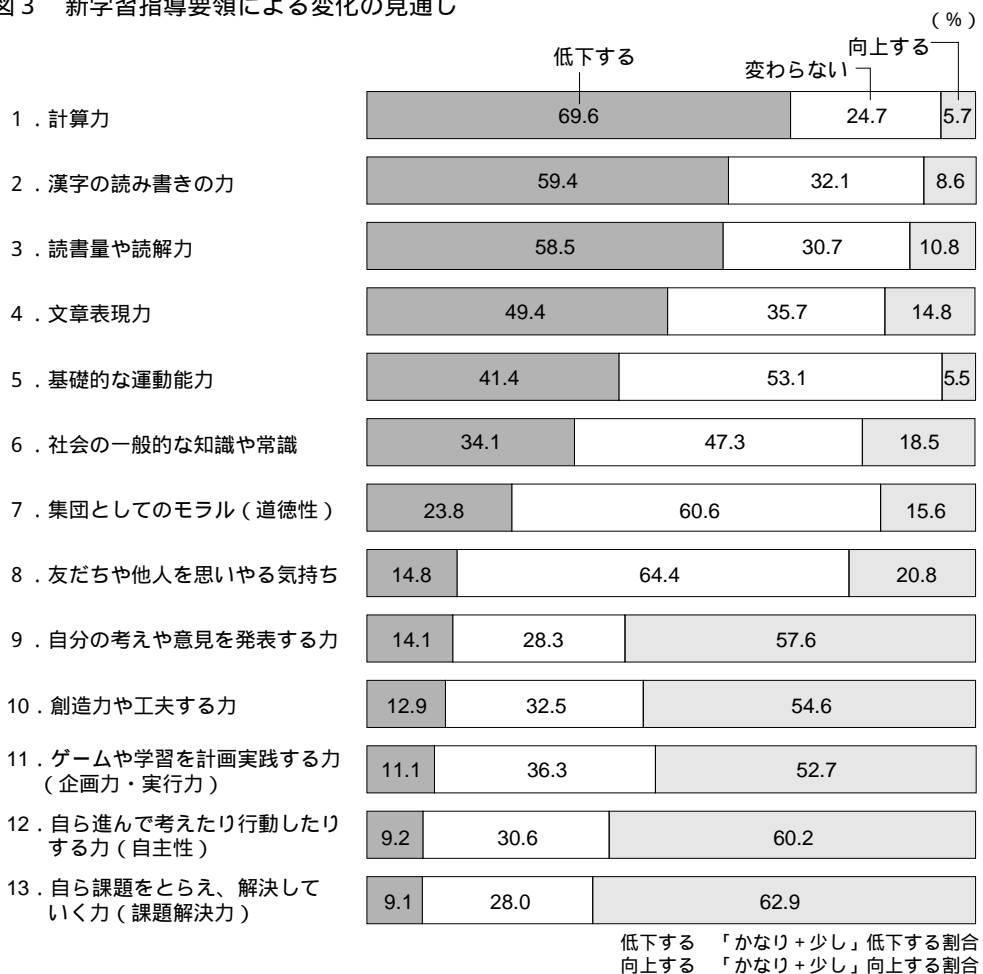
社会的な視野を持って

最後に蛇足になるが、教師たちは、休日も仕事に追われ(表3-12)、教師を「今辞めたいと思っている+これまでに何度もある」が22.5%に達する(表3-9)。教職は一般企業と比べ、仕事が厳しく、ストレスが多く、収入も企業より少な

い(表3-2)と答えている。

現在の教職が苦勞が多いのはわかるが、倒産やリストラの風が吹く一般企業よりも教職の方が大変とはいえないのではないかと。正直に言って、教職への取り組みに多少の甘えを感じた。総合的な学習を進めるためには、親や地域の人との連携が必要になるから、社会的な視野を持って職業人としてさらに成長してほしいと思った。

図3 新学習指導要領による変化の見通し



アンケートのお願い

先生方におかれましては、新年度よりの新学習指導要領の実施に向け、ご多忙な日々をお送りのことと存じます。

このアンケートは新学習指導要領実施を前に、そうした先生方の日頃のご苦労や悩み、さらに学習指導要領改訂への率直なご意見を知りたいと思い、作成したものです。どうかご自由にお考えやお気持ちをお書きください。ここで得られたデータは、今後の小学校教育のあり方を考える上で、貴重な資料になると思います。

分析結果は、調査レポート『モノグラフ・小学生ナウ』vol.22-2（ベネッセ教育研究所／秋刊予定）に掲載いたします。集計結果は統計的に処理し、貴校名も伏せますので、先生方にご迷惑をおかけすることは決してございません。ご多用中、たいへん恐縮ですが、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。

ご回答いただきましたアンケートは、同封の返信用封筒で、無記名にて、**切手を貼らずに、3月31日（日）までに、各自ご投函ください。**なお、ご協力いただきました方には、些少ながら図書券と、ご希望の方に調査レポートを送らせていただきますので、別紙にご住所・お名前・勤務先をご記入の上、同封の封筒に合わせてお入れください。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

2002年2月

東京成徳短期大学教授
深谷 昌志

1 あなたご自身のことをお聞きします。

- 1) 性別…………… (1. 男性 2. 女性)
- 2) 年齢
20代 30代 40代 50代 それ以上
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- 3) 学級担任
1年 2年 3年 4年 5年 6年 専科 その他
1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 — 8
- 4) 専門教科
国語 社会 算数 理科 音楽 図工 体育 家庭 生活科 その他
1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 — 8 — 9 — 10

1. 新学習指導要領の内容や実施についてお聞きします。

2 新学習指導要領で削除されたり、移行・統合・軽減される内容について、あなたのお考えをお聞かせください。

- | | とても
賛成 | どちらかと
いえば賛成 | どちらかと
いえば反対 | とても
反対 | 詳しい内容が
よくわからない |
|--|-----------|----------------|----------------|-----------|-------------------|
| 1. 「視写、聴写」の指導が全学年で削除されること（国語）…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 5、6年生の「朗読」が削除されること（国語）…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 漢字を2学年にわたって指導すること（国語）…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. 領域の変更により、3年生～6年生の表現と理解の関連指導が削除されること（国語）…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. 文学作品の詳細な読解を改めること（国語）…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. 3年生の「地域の人々の諸活動」が削除されること（社会）…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. 5年生の「人口分布や資源の分布、自然災害」が中学校へ移行統合されること（社会）…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8. 4年生の「地域における現在の開発」を6年生に移行し、「国民の日常生活にみられる政治の動き」に統合すること（社会）…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

- | | とても
賛成 | どちらかと
いえば賛成 | どちらかと
いえば反対 | とても
反対 | 詳しい内容が
よくわからない |
|--|-----------|----------------|----------------|-----------|-------------------|
| 9. 5年生の「食料生産に従事している人々の工夫や努力」については、稲作のほか野菜、果物、畜産物、水産物の中から1つ選択すること（社会） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 10. 6年生の「我が国とつながりの深い国」は、数か国を取り上げることから1か国を児童に選択させること（社会） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 11. 5年生の「台形と多角形の面積」が削除されること（算数） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 12. 小数第2位以下の小数の計算を扱わないこと（円周率3.14など）（算数） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 13. 6年生の「メートル法の仕組み」が削除されること（算数） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 14. 5年生の「文字を用いた式」が中学校へ移行統合されること（算数） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 15. 四則計算でけた数の大きな計算を扱わないこと（算数） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 16. 5年生の「合同」、6年生の「対称」「拡大」が中学校へ移行統合されること（算数） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 17. 6年生の「場合の数」が中学校へ移行統合されること（算数） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 18. 5年生の「男女の体の特徴」が削除されること（理科） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 19. 4年生の「空気中の水蒸気の変化」が中学校へ移行統合されること（理科） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 20. 5年生の「水溶液の蒸発による物質の分離」が中学校へ移行統合されること（理科） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 21. 6年生の「植物の水や養分の通り道」が中学校へ移行統合されること（理科） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 22. 6年生の「中和や金属の燃焼」が中学校へ移行統合されること（理科） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 23. 6年生の「北天や南天、全天の星の動き」が中学校へ移行統合されること（理科） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 24. 5、6年生で課題選択学習を導入すること（例・火山か地震、振り子が衝突、卵生か胎生）（理科） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 25. 5、6年生のへ長調と二短調の視唱や視奏を削除すること（音楽） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

- | | とても
賛成 | どちらかと
いえば賛成 | どちらかと
いえば反対 | とても
反対 | 詳しい内容が
よくわからない |
|---|-----------|----------------|----------------|-----------|-------------------|
| 26. 1、2年生の二部合唱を削除すること（音楽） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 27. 3年生から「保健の学習」を扱うようになること（体育） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 28. 心と体を一体としてとらえる「体ほぐしの運動」が新たに加わること（体育） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 29. 金銭の記録の仕方が削除されること（家庭） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 30. ほころび直しが削除されること（家庭） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

3 新学習指導要領の実施に伴って、次のようなことはどうなると思われますか。

- | | とても
そう思う | わりと
そう思う | あまり
そう思わない | ぜんぜん
そう思わない | わからない |
|-----------------------------------|-------------|-------------|---------------|----------------|-------|
| 1. 子どもたちの基礎的な学力が低下する | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 学校生活がつまらなくなる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 授業時間が足りなくなる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. 子どもたちの熱心に拍車がかかる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. 子どもたちの学力差が大きくなる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. 主体的な活動ができ、授業が楽しくなる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. 学校生活が楽しくなる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8. 基礎的な学力が定着する | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9. 子どもたちが総合的な学習の時間を楽しみにする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 10. 休みが増え、学校での生活が落ち着かなくなる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 11. 楽しい行事や活動が減る | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 12. いじめ、不登校など、これまでの子どもたちの問題がさらに進む | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 13. 宿題や家庭学習が増える | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

- 4) あなたは新学習指導要領の実施に伴い、これから先、子どもたちの次のような『力』は、どのように変化すると思いますか。

	かなり 低下する	少し 低下する	変わらない	少し 向上する	かなり 向上する
1. 計算力……………	1	2	3	4	5
2. 読書量や読解力……………	1	2	3	4	5
3. 漢字の読み書きの力……………	1	2	3	4	5
4. 文章表現力……………	1	2	3	4	5
5. 自分の考えや意見を発表する力……………	1	2	3	4	5
6. 基礎的な運動能力……………	1	2	3	4	5
7. 社会の一般的な知識や常識……………	1	2	3	4	5
8. 創造力や工夫する力……………	1	2	3	4	5
9. 友だちや他人を思いやる気持ち……………	1	2	3	4	5
10. 集団としてのモラル（道徳性）……………	1	2	3	4	5
11. ゲームや学習を計画実践する力 （企画力・実行力）……………	1	2	3	4	5
12. 自ら進んで考えたり行動したりする力 （自主性）……………	1	2	3	4	5
13. 自ら課題をとらえ、解決していく力 （課題解決力）……………	1	2	3	4	5

- 5) あなたは、新学習指導要領の実施に伴い、次のようなことをどのようにお考えですか。

1) 保護者は、新学習指導要領の内容や総合的な学習の時間の内容について、どのくらい知っていると思いますか。

	とてもよく 知っている	わりと 知っている	少しだけ 知っている	あまり 知らない	せんぜん 知らない	よく わからない
1	2	3	4	5	6	

2) では、保護者は今回の改訂や総合的な学習の時間の導入に対して、賛成していると思われ
ますか。

	とても 賛成	わりと 賛成	どちらとも いえない	わりと 反対	とても 反対	よく わからない
1	2	3	4	5	6	

3) あなたは、新学習指導要領の内容について、どのくらい知っていますか。

	とてもよく 知っている	わりと 知っている	少し 知っている	あまりよく 知らない	知らない
1	2	3	4	5	

- 4) あなたが、今回の改訂で一番不安に思っている教科は何ですか。3 割削減や学力低下などを視野に入れてお考えください。

国語	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	家庭	生活科	1つも ない	よく わからない
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

- 5) 今回の改訂で、目標や内容の厳選、時間数などから考えて一番よく改訂されていると思う教科は何ですか。

国語	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	家庭	生活科	1つも ない	よく わからない
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

- 6) 今回の改訂で、学習の内容がおよそ3割削減されることは、子どもたちにとってよいこと
だと思われませんか。

とても よい	どちらかと いえば よい	どちらかと いえば よくない	とても よくない	よく わからない
1	2	3	4	5

II. 教育政策やあなたの教育観についてお聞きします。

- 6) あなたは、次のようなことをどのように考えていますか。

	とても 賛成	やや 賛成	やや 反対	とても 反対	わから ない
1. 学校評議員制度の導入……………	1	2	3	4	5
2. 1 単位時間の弾力化……………	1	2	3	4	5
3. 学校間連帯……………	1	2	3	4	5
4. 複数担任制やクラスの少人数制……………	1	2	3	4	5
5. 学区の枠の拡大や学校選択の自由化……………	1	2	3	4	5
6. スクールカウンセラーの配属……………	1	2	3	4	5
7. 教科内における内容の選択の拡大・推進……………	1	2	3	4	5
8. 授業形態の多様化（TTや習熟度別・ 少人数などの学習指導）……………	1	2	3	4	5
9. 情報機器やコンピュータを活用した授業……………	1	2	3	4	5
10. 総合的な学習の時間の新設……………	1	2	3	4	5
11. 学校行事（運動会や発表会など）の削減……………	1	2	3	4	5
12. 特色ある学校づくりの推進……………	1	2	3	4	5
13. 教員の人事考課制度の採用……………	1	2	3	4	5

	とても 賛成	やや 賛成	やや 反対	とても 反対	わからない
14. 民間人からの校長登用……………	1	2	3	4	5
15. クラブ活動の時間の削減……………	1	2	3	4	5
16. 地域の人の力を借りた授業……………	1	2	3	4	5
17. ボランティア活動の推進……………	1	2	3	4	5
18. 国際理解教育や英語教育の推進……………	1	2	3	4	5
19. 環境教育の推進……………	1	2	3	4	5
20. 道徳教育の徹底……………	1	2	3	4	5
21. 中高一貫教育の実施……………	1	2	3	4	5
22. 学校完全週5日制の実施……………	1	2	3	4	5
23. 評価基準の説明……………	1	2	3	4	5
24. コミュニティスクールの導入……………	1	2	3	4	5
25. 開かれた学校づくりの推進……………	1	2	3	4	5

7 新学習指導要領の実施に伴い、今後、学校や子どもたちはどのように変化していくと思われますか。

	とても そう思う	わりと そう思う	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない	わからない
1. 保護者や地域の人々の意見や要望が 学校教育に反映されるようになる……………	1	2	3	4	5
2. 校長の権限が増し、より管理的な教育 が行われるようになる……………	1	2	3	4	5
3. 学級崩壊（学級の荒れ）やいじめなどの 問題が一層深刻になる……………	1	2	3	4	5
4. 公立の小学校の信頼性がなくなる……………	1	2	3	4	5
5. 各学校の工夫により、学校の特色が 生まれてくる……………	1	2	3	4	5
6. 学校の取り組みにより、学校間の格差が 生まれる……………	1	2	3	4	5
7. いわゆる学級王国がなくなってくる……………	1	2	3	4	5
8. 総合的な学習の時間やカリキュラム実践 のために、教材研究の時間が大幅に必要に なる……………	1	2	3	4	5
9. 「選択学習」や「調べ学習」が推進・ 重視され、子どものやる気や自主性が 伸びていく……………	1	2	3	4	5

Ⅲ. 子どもの様子や教師としての指導力についてお聞きします。

8 あなたが授業を受け持っているクラスでは、次のような子どもをどのくらい見かけますか。

	ぜんぜん いない	1～2人 くらい	3～4人 くらい	5～6人 くらい	それ以上 いる
1. 授業が始まってでも教科書を出さない子……………	1	2	3	4	5
2. 授業中、教室を出たり入ったりしている子……………	1	2	3	4	5
3. 授業中、注意されてもおしゃべりをやめない子……………	1	2	3	4	5
4. 授業中、教室の後ろの方で、寝ころんだり 座ったりしている子……………	1	2	3	4	5
5. 授業中、マンガや小説を読んでいる子……………	1	2	3	4	5
6. 宿題や提出物など忘れ物が多い子……………	1	2	3	4	5
7. 学校にアメやガムを持ってくる子……………	1	2	3	4	5
8. 先生の質問や指示を無視する子……………	1	2	3	4	5
9. 先生が言ったことのあげあしを取る子……………	1	2	3	4	5
10. 先生の注意や叱責に反抗する子……………	1	2	3	4	5
11. 先生や友だちの悪口を平気で言う子……………	1	2	3	4	5
12. 学校にふさわしくない服装や髪型、過度な オシャレをしている子……………	1	2	3	4	5
13. 校舎内の壁や教室の机などに落書きをする子……………	1	2	3	4	5
14. いじめられている子や不登校の子……………	1	2	3	4	5

9 この数年の間に、あなたの学校やご自身の生活はどのように変化してきたと思われますか。

	とても そう思う	わりと そう思う	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
1. 学校で仕事をする時間が以前よりも増えた……………	1	2	3	4
2. 総合的な学習の時間に対するための準備に 追われるようになった……………	1	2	3	4
3. 帰宅する時間が以前よりも遅くなった……………	1	2	3	4
4. 帰宅後や休日も、持ち帰りの仕事をするのが 多くなった……………	1	2	3	4
5. 管理職の締めつけが厳しく、職場に自由で 和やかな雰囲気なくなった……………	1	2	3	4
6. 管理職の指示・伝達が多く細くなった……………	1	2	3	4

7. 職員会議で自分の意見を発表するのを控えるようになってきた…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
8. 教師を辞めたいと思うことが多くなってきた…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
9. 校内や校外の見回り、児童指導などに時間をとられることが多くなった…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
10. 教師の勤務時間が厳しく管理されてきた…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
11. 体の疲れがたまり健康を害することが多くなった…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4

10 あなたは、次のようなことに自信がありますか。

1. パソコンを利用して授業をする能力…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5
2. 総合的な学習の時間に対応する準備や知識、実行力…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5
3. 英語を書いたり話したりする能力…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5
4. 新学習指導要領の内容理解と4月からの実施に伴う対応力…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5
5. 子ども一人一人に課題を持たせ、授業を進めていく能力…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5
6. 社会的な常識や知識、一般的な教養…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5
7. 子どもの気持ちや心理を理解する能力…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5

11 あなたの学級経営や教師としてのご自身についてお聞きします。

- 1) あなたが担任しているクラスは、全体的にみて、学級経営がうまくいっていますか。(担任していない人は、次に進んでください。)

とてもうまく
いっている 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5

わりとうまく
いっている

少しうまく
いっている

あまりうまく
いっていない

ぜんぜんうまく
いっていない

- 2) あなたは、教師になってよかったと思いますか。

とても
よかった 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5

わりと
よかった

まあまあ
よかった

あまり
よくなかった

まったく
よくなかった

- 3) あなたは、教師を辞めようと思ったことが何回くらいありますか。

今辞めたいと
思っている 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5 ——— 6

これまでに
何度もある

4、5回
ある

2、3回
ある

1度だけ
ある

1度も
ない

- 4) あなたは、現在教師の仕事をやっている楽しいですか。

とても
楽しい 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5

わりと
楽しい

まあまあ
楽しい

あまり
楽しくない

ぜんぜん
楽しくない

- 5) 今年の4月からの学年希望を尋ねられたら、何年生を希望しますか。第一希望をお答えください。

1年生 2年生 3年生 4年生 5年生 6年生
1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5 ——— 6

- 6) では、どうしても受け持ちたくない学年は何年生ですか。1つだけ教えてください。

1年生 2年生 3年生 4年生 5年生 6年生
1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5 ——— 6

12 あなたは、次のようなことをどのくらい感じていますか。

1. 年間の授業時間数が足りない…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
2. 子どもたちが騒々しくて、授業ができない…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
3. 子どもの興味・関心が授業に向いていない…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
4. 子どもたちの学力差が大きく、授業がやりにくい…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
5. 休日や夜も、学校の仕事に追われている…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
6. 子どもたちが何を考えているのかわからない…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
7. 他のクラスと比べて、テストの平均点が悪い…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
8. クラス内にいじめがある…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
9. クラスとしてのまとまりがない…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4

IV. あなたご自身のふだんの生活についてお聞きします。

13 あなたご自身のふだんの生活について、勤務のある平日の平均的な時間をお考えください。

1) 学校には、勤務開始時刻のおよそ何分前に着きますか。

5分前 10～15分前 20～30分前 40～50分前 1時間前 それ以上前
1-----2-----3-----4-----5-----6

2) 平日（月～金）の通勤時刻は、およそ何時くらいですか。

5時前 5時頃 5時半頃 6時頃 6時半頃 7時頃 7時半頃 8時以降
1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8

3) 平日、家に帰ってから、およそどのくらい学校の仕事（教材研究や児童指導）をしていますか。

しない 30分くらい 1時間 1時間半 2時間 3時間 それ以上
1-----2-----3-----4-----5-----6-----7

4) 就寝時刻は、およそ何時くらいですか。

9時前 9時頃 10時頃 11時頃 12時頃 1時頃 それ以降
1-----2-----3-----4-----5-----6-----7

14 あなたは、教師と一般的な企業に勤めている人と比べて、次のようなことをどう思われますか。

	絶対 教師の方	どちらかと いえば教師	どちらかといえば 企業の人	絶対 企業の方
1. 仕事の忙しさ……………	1	2	3	4
2. 家に持ち帰る仕事の多さ……………	1	2	3	4
3. ストレスの多さ……………	1	2	3	4
4. 収入の多さ……………	1	2	3	4
5. 家族旅行やスポーツをする時間の多さ……………	1	2	3	4
6. 仕事に対する熱心さ・情熱……………	1	2	3	4
7. 高学歴へのこだわり……………	1	2	3	4
8. 趣味の豊かさや余暇時間の活用のうまさ……………	1	2	3	4
9. 社会性……………	1	2	3	4

15 1) 新学習指導要領の実施を直前に控え、悩みや不安がありましたら、お書きください。

2) 教育政策や教育行政について、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

～以上で終わりです。長い間、どうもありがとうございました。～

【学校調査】

1 あなたの勤務している学校や学区についてお聞きします。

- 1) 学校の所在地…… () 都・道・府・県
() 市・区・町・村立
() 小学校
- 2) 学校のクラス数……6学年合わせて () クラス
- 3) 児童数…… () 人
- 4) 教員数……管理職、教諭、講師を合わせて () 人
- 5) 学区の特徴（最もあてはまるものに1つ○をつけてください）
 1. 古くからの住宅地
 2. 新興住宅地
 3. マンションなどの集合住宅地
 4. 商業地域
 5. 工業地域
 6. 農山村地域
 7. 漁業・港町
 8. その他（具体的に)

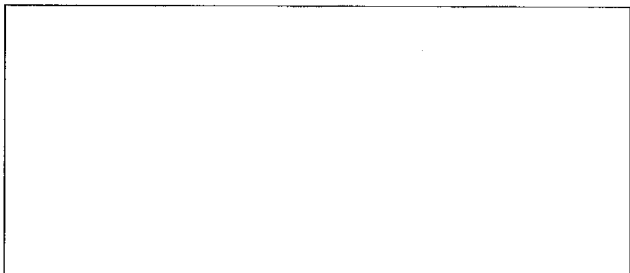
2 あなたの学校または学区では、次のようなことはどのくらい進められていますか。

- | | 積極的に
推進している | 実施
している | 来年度から
実施する予定 | 実施時期
も含めて
検討中 | まったく
考えていない |
|--------------------|----------------|------------|-----------------|---------------------|----------------|
| 1. 学校評議員制度の導入…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 1単位時間の弾力化…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 学校間連携…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

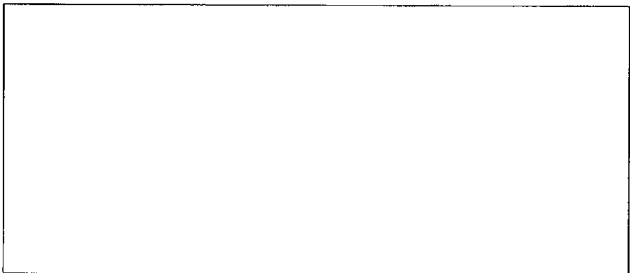
- | | 積極的に
推進している | 実施
している | 来年度から
実施する予定 | 実施時期
も含めて
検討中 | まったく
考えていない |
|--|----------------|------------|-----------------|---------------------|----------------|
| 4. 複数担任制やクラスの少人数制…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. 学区の枠の拡大や学校選択の自由化… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. スクールカウンセラーの配置…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. 教科内における内容の選択の
拡大・推進…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8. 授業形態の多様化（TTや習熟度別・
少人数などの学習指導）…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9. 情報機器やコンピュータを活用した
授業…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 10. 総合的な学習の時間…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 11. 学校行事（運動会や発表会など）の
削減…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 12. 特色ある学校づくりの推進…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 13. 教員の人事考課制度の採用…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 14. 民間人からの校長登用…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 15. 地域の人の力を借りた授業…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 16. 体験学習の重視及び宿泊学習の推進… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 17. ボランティア活動の推進…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 18. 国際理解教育や英語教育の推進…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 19. 環境教育の推進…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 20. 道徳教育の徹底…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 21. 子どもの学力や教師評価を保護者や
地域住民に評価させる外部評価制… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 22. 評価基準の説明…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 23. コミュニティスクールの導入…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 24. 開かれた学校づくりの推進…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

- 3 あなたの学校では、次のようなことについてどのように取り組んでいますか。
なるべく具体的にお書きください。

1) 特色ある学校づくりのために



2) 地域との連携を図った教育について



～どうもありがとうございました。～

資料2 基礎集計表

単位：サンプル数、性別、年齢以外はパーセント

質問項目		全体	性別		年代別						
			男性	女性	20代	30代	40代	50代	それ以上		
サンプル数		551	233	318	54	161	229	103	4		
1	性別	1. 男性	233		23	76	91	40	3		
		2. 女性	318		31	85	138	63	1		
	年齢	1. 20代	54	23	31						
		2. 30代	161	76	85						
		3. 40代	229	91	138						
		4. 50代	103	40	63						
		5. それ以上	4	3	1						
	学級担任	1. 1年	10.2	5.2	13.9	16.7	10.6	8.8	9.9	0.0	
		2. 2年	9.9	5.2	13.2	13.0	6.8	12.7	6.9	0.0	
		3. 3年	10.6	8.2	12.3	9.3	15.5	10.1	5.0	0.0	
		4. 4年	9.1	8.2	9.8	16.7	11.2	6.6	7.9	0.0	
		5. 5年	12.6	12.1	12.9	9.3	16.1	13.6	6.9	0.0	
		6. 6年	15.7	20.8	12.0	13.0	20.5	17.5	5.9	0.0	
		7. 専科	5.8	6.1	5.7	5.6	6.8	4.4	7.9	0.0	
		8. その他	26.1	34.2	20.2	16.7	12.4	26.3	49.5	100.0	
専門教科	1. 国語	18.5	11.1	24.2	15.7	17.9	21.7	14.9	0.0		
	2. 社会	17.5	27.3	10.0	11.8	19.3	18.2	14.9	50.0		
	3. 算数	10.9	10.6	11.0	17.6	11.0	9.4	10.6	0.0		
	4. 理科	8.5	11.6	6.0	9.8	6.9	7.4	12.8	0.0		
	5. 音楽	5.6	2.3	8.2	5.9	9.0	4.4	3.2	0.0		
	6. 図工	3.2	2.8	3.6	2.0	4.1	3.0	3.2	0.0		
	7. 体育	11.9	18.1	7.1	17.6	13.8	11.3	7.4	0.0		
	8. 家庭	2.6	0.0	4.6	2.0	1.4	1.5	7.4	0.0		
	9. 生活科	1.6	0.5	2.5	2.0	0.7	2.5	1.1	0.0		
	10. その他	19.7	15.7	22.8	15.7	15.9	20.7	24.5	50.0		
2	新学習指導要領で削除・移行・統合・軽減される内容についての賛否	「視写、聴写」の指導の全学年での削除	1. とても賛成	1.1	2.2	0.3	0.0	0.0	0.4	5.0	0.0
			2. どちらかといえば賛成	9.7	12.1	8.0	11.3	10.1	9.2	8.9	25.0
			3. どちらかといえば反対	53.7	52.4	54.6	66.0	59.5	50.0	45.5	75.0
			4. とても反対	27.9	22.1	32.3	7.5	22.8	32.9	36.6	0.0
			5. 詳しい内容がよくわからない	7.5	11.3	4.8	15.1	7.6	7.5	4.0	0.0
	「朗読」の削除	1. とても賛成	0.7	0.9	0.6	0.0	0.0	0.4	3.0	0.0	
		2. どちらかといえば賛成	7.7	9.9	6.0	11.1	8.1	6.6	8.0	0.0	
		3. どちらかといえば反対	48.1	42.7	52.1	57.4	48.8	51.5	34.0	50.0	
		4. とても反対	39.3	40.5	38.4	18.5	38.8	38.4	53.0	50.0	
		5. 詳しい内容がよくわからない	4.2	6.0	2.9	13.0	4.4	3.1	2.0	0.0	
	漢字の2学年にわたる指導	1. とても賛成	9.3	12.0	7.2	11.1	11.8	6.1	10.7	25.0	
		2. どちらかといえば賛成	45.0	45.9	44.3	61.1	40.4	42.4	49.5	50.0	
		3. どちらかといえば反対	23.0	21.5	24.2	7.4	28.0	26.2	17.5	0.0	
		4. とても反対	14.7	14.2	15.1	13.0	12.4	16.2	15.5	25.0	
		5. 詳しい内容がよくわからない	8.0	6.4	9.1	7.4	7.5	9.2	6.8	0.0	
	3～6年生の表現と理解の関連指導の削除	1. とても賛成	1.5	2.2	1.0	1.9	2.5	0.0	2.9	0.0	
		2. どちらかといえば賛成	16.1	18.3	14.5	13.2	15.6	18.0	14.7	0.0	
		3. どちらかといえば反対	46.2	51.3	42.4	35.8	50.6	47.7	40.2	75.0	
		4. とても反対	13.3	8.3	17.0	5.7	8.1	12.6	27.5	0.0	
		5. 詳しい内容がよくわからない	22.9	20.0	25.1	43.4	23.1	21.6	14.7	25.0	
文学作品の詳しい読解を改めること	1. とても賛成	9.0	14.0	5.4	9.6	9.5	6.1	14.7	0.0		
	2. どちらかといえば賛成	46.4	41.2	50.2	44.2	43.0	51.1	43.1	25.0		
	3. どちらかといえば反対	24.0	25.4	23.0	25.0	25.9	22.7	21.6	75.0		
	4. とても反対	11.9	11.4	12.3	9.6	8.9	13.5	14.7	0.0		
	5. 詳しい内容がよくわからない	8.6	7.9	9.1	11.5	12.7	6.6	5.9	0.0		

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性 別		年 代 別					
			男性	女性	20代	30代	40代	50代	それ以上	
2	活動の領域の人の人々の諸の削除	1. とても賛成	2.0	3.5	1.0	1.9	1.3	1.3	5.1	0.0
		2. どちらかといえば賛成	20.8	18.3	22.7	18.9	24.5	20.5	17.2	0.0
		3. どちらかといえば反対	45.6	47.4	44.3	39.6	45.3	48.2	43.4	50.0
		4. とても反対	16.5	17.4	15.9	20.8	11.9	14.3	25.3	50.0
		5. 詳しい内容がよくわからない	15.0	13.5	16.2	18.9	17.0	15.6	9.1	0.0
	統合を布分5中学校や自然資源の「人口」へ移行	1. とても賛成	9.9	12.2	8.3	7.5	11.3	6.6	16.8	0.0
		2. どちらかといえば賛成	51.7	52.6	51.1	49.1	48.1	57.3	45.5	75.0
		3. どちらかといえば反対	20.6	18.7	21.9	26.4	20.6	19.8	19.8	0.0
		4. とても反対	5.3	6.1	4.8	1.9	2.5	5.7	9.9	25.0
		5. 詳しい内容がよくわからない	12.5	10.4	14.0	15.1	17.5	10.6	7.9	0.0
	に開4中学校を6年生の「地域」へ移行統合	1. とても賛成	8.4	9.9	7.3	7.4	8.1	6.6	13.7	0.0
		2. どちらかといえば賛成	54.5	54.5	54.4	55.6	54.0	56.6	48.0	100.0
		3. どちらかといえば反対	20.6	19.3	21.5	20.4	19.9	21.5	20.6	0.0
		4. とても反対	5.1	6.9	3.8	1.9	3.1	6.6	6.9	0.0
		5. 詳しい内容がよくわからない	11.5	9.4	13.0	14.8	14.9	8.8	10.8	0.0
	1か力5つ4は産の「食」の中工夫や努から	1. とても賛成	10.0	13.3	7.6	13.0	7.5	8.3	15.7	25.0
		2. どちらかといえば賛成	52.1	52.4	51.9	51.9	56.5	49.1	52.0	50.0
		3. どちらかといえば反対	23.5	21.0	25.3	18.5	21.1	28.1	19.6	25.0
		4. とても反対	7.5	8.2	7.0	7.4	6.2	7.9	8.8	0.0
		5. 詳しい内容がよくわからない	6.9	5.2	8.2	9.3	8.7	6.6	3.9	0.0
国上深6国をげい国つなで取りの「我が国」は1選択	1. とても賛成	11.9	15.5	9.2	13.0	15.0	8.8	13.7	0.0	
	2. どちらかといえば賛成	46.0	44.4	47.2	46.3	48.8	45.2	42.2	75.0	
	3. どちらかといえば反対	25.9	22.4	28.5	22.2	22.5	29.4	26.5	0.0	
	4. とても反対	11.7	13.4	10.4	11.1	7.5	12.7	15.7	25.0	
	5. 詳しい内容がよくわからない	4.6	4.3	4.7	7.4	6.3	3.9	2.0	0.0	
面形5と多生の「角形」の削除	1. とても賛成	4.4	4.3	4.5	5.7	4.4	3.5	5.9	0.0	
	2. どちらかといえば賛成	26.2	28.8	24.3	28.3	28.8	24.7	24.5	25.0	
	3. どちらかといえば反対	41.9	40.3	43.1	41.5	38.1	45.4	39.2	75.0	
	4. とても反対	24.5	23.6	25.2	17.0	25.0	24.2	29.4	0.0	
	5. 詳しい内容がよくわからない	2.9	3.0	2.9	7.5	3.8	2.2	1.0	0.0	
算下小第2位以の「小数」を扱わない計	1. とても賛成	5.8	4.3	7.0	5.6	7.5	3.5	8.8	0.0	
	2. どちらかといえば賛成	22.2	24.5	20.6	27.8	19.9	24.1	16.7	75.0	
	3. どちらかといえば反対	33.7	33.5	33.9	33.3	37.3	32.9	31.4	0.0	
	4. とても反対	37.2	36.9	37.3	31.5	34.2	39.0	41.2	25.0	
	5. 詳しい内容がよくわからない	1.1	0.9	1.3	1.9	1.2	0.4	2.0	0.0	
組16トル生の「メ」の削除	1. とても賛成	5.3	4.3	6.1	3.8	5.0	4.8	7.8	0.0	
	2. どちらかといえば賛成	24.5	26.2	23.3	22.6	22.5	26.9	23.5	25.0	
	3. どちらかといえば反対	38.8	41.2	37.1	39.6	40.6	37.9	37.3	50.0	
	4. とても反対	24.0	23.6	24.3	20.8	23.1	24.2	26.5	25.0	
	5. 詳しい内容がよくわからない	7.3	4.7	9.3	13.2	8.8	6.2	4.9	0.0	
行統合を中5学用いた「文」へ移行	1. とても賛成	12.6	11.6	13.3	9.4	15.0	7.9	21.6	0.0	
	2. どちらかといえば賛成	50.1	50.0	50.2	43.4	41.3	58.3	48.0	75.0	
	3. どちらかといえば反対	23.9	25.4	22.9	39.6	26.9	21.5	16.7	25.0	
	4. とても反対	10.4	10.3	10.5	1.9	13.1	9.6	12.7	0.0	
	5. 詳しい内容がよくわからない	2.9	2.6	3.2	5.7	3.8	2.6	1.0	0.0	
い計4則計算で「算」を扱わな	1. とても賛成	7.7	8.2	7.3	9.4	8.8	3.9	13.9	0.0	
	2. どちらかといえば賛成	35.0	32.0	37.1	26.4	25.6	41.2	39.6	50.0	
	3. どちらかといえば反対	35.5	35.9	35.2	45.3	42.5	33.3	23.8	50.0	
	4. とても反対	19.6	21.6	18.1	17.0	19.4	19.7	21.8	0.0	
	5. 詳しい内容がよくわからない	2.2	2.2	2.2	1.9	3.8	1.8	1.0	0.0	

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性 別		年 代 別					
			男性	女性	20代	30代	40代	50代	それ以上	
2	移行統合 5年生の「合同」、6年生の「対称」を中学校へ	1. とても賛成	10.2	11.6	9.2	11.1	9.3	8.4	15.7	0.0
		2. どちらかといえば賛成	44.3	43.3	45.1	44.4	39.1	47.6	44.1	75.0
		3. どちらかといえば反対	29.2	28.8	29.5	31.5	32.9	26.9	27.5	25.0
		4. とても反対	12.6	13.3	12.1	7.4	11.8	15.0	11.8	0.0
		5. 詳しい内容がよくわからない	3.6	3.0	4.1	5.6	6.8	2.2	1.0	0.0
	へ移行統合 6年生の「場合の数」を中学校へ	1. とても賛成	15.5	15.5	15.6	18.5	14.4	12.8	21.6	25.0
		2. どちらかといえば賛成	52.1	50.0	53.7	42.6	48.8	57.7	50.0	50.0
		3. どちらかといえば反対	18.6	20.3	17.5	27.8	19.4	17.2	15.7	25.0
		4. とても反対	8.0	9.9	6.7	3.7	8.1	8.8	8.8	0.0
		5. 詳しい内容がよくわからない	5.7	4.3	6.7	7.4	9.4	3.5	3.9	0.0
	削除 5年生の「男女性の特徴」を	1. とても賛成	3.7	4.7	2.9	3.8	3.7	2.6	5.9	0.0
		2. どちらかといえば賛成	28.5	28.0	28.9	22.6	21.1	33.5	30.4	75.0
		3. どちらかといえば反対	42.6	43.1	42.2	37.7	50.3	40.1	40.2	0.0
		4. とても反対	18.3	18.5	18.1	26.4	16.8	16.7	19.6	25.0
		5. 詳しい内容がよくわからない	6.9	5.6	7.9	9.4	8.1	7.0	3.9	0.0
	移行統合 4年生の「空気中の水蒸気の変化」を中学校へ	1. とても賛成	7.7	7.3	7.9	3.7	6.8	6.2	14.7	0.0
		2. どちらかといえば賛成	40.7	44.2	38.1	37.0	35.4	46.7	37.3	50.0
		3. どちらかといえば反対	32.1	30.9	33.0	37.0	36.0	30.4	27.5	25.0
		4. とても反対	9.5	9.9	9.2	5.6	8.7	8.8	13.7	25.0
		5. 詳しい内容がよくわからない	10.0	7.7	11.7	16.7	13.0	7.9	6.9	0.0
移行・統合 5年生の「水溶液の蒸発による物質の分離」を中学校へ移行統合	1. とても賛成	9.5	10.4	8.9	5.8	9.4	7.0	17.8	0.0	
	2. どちらかといえば賛成	45.9	46.5	45.4	50.0	38.8	50.9	42.6	75.0	
	3. どちらかといえば反対	27.0	25.7	27.9	28.8	29.4	26.8	22.8	25.0	
	4. とても反対	7.3	9.1	6.0	1.9	8.1	7.0	9.9	0.0	
	5. 詳しい内容がよくわからない	10.3	8.3	11.7	13.5	14.4	8.3	6.9	0.0	
統合 6年生の「物の通り道や養分」を中学校へ移行統合	1. とても賛成	8.8	10.3	7.6	7.5	9.3	6.6	13.7	0.0	
	2. どちらかといえば賛成	39.9	43.3	37.3	41.5	40.4	43.6	29.4	50.0	
	3. どちらかといえば反対	33.8	29.6	36.9	34.0	31.7	35.2	33.3	50.0	
	4. とても反対	9.0	8.6	9.2	3.8	6.8	7.0	19.6	0.0	
	5. 詳しい内容がよくわからない	8.6	8.2	8.9	13.2	11.8	7.5	3.9	0.0	
へ移行統合 6年生の「和や金属の燃焼」を中学校へ移行統合	1. とても賛成	12.1	11.6	12.4	9.3	11.2	10.1	19.8	0.0	
	2. どちらかといえば賛成	53.4	56.9	50.8	55.6	49.7	55.5	52.5	75.0	
	3. どちらかといえば反対	18.8	15.5	21.3	20.4	21.1	19.4	12.9	25.0	
	4. とても反対	6.0	7.3	5.1	1.9	5.0	6.2	9.9	0.0	
	5. 詳しい内容がよくわからない	9.7	8.6	10.5	13.0	13.0	8.8	5.0	0.0	
学校へ移行統合 6年生の「星や南天、全天の動き」を中学校へ移行統合	1. とても賛成	10.6	11.2	10.2	7.4	11.9	10.1	11.9	0.0	
	2. どちらかといえば賛成	45.4	40.5	49.0	40.7	38.8	48.9	49.5	75.0	
	3. どちらかといえば反対	28.2	29.3	27.4	37.0	31.3	27.3	20.8	25.0	
	4. とても反対	9.0	12.5	6.4	3.7	8.1	8.4	14.9	0.0	
	5. 詳しい内容がよくわからない	6.8	6.5	7.0	11.1	10.0	5.3	3.0	0.0	
を導入 5、6年生で課題選択学習	1. とても賛成	8.8	10.3	7.6	13.2	11.2	5.7	9.8	0.0	
	2. どちらかといえば賛成	42.0	45.1	39.7	49.1	38.5	40.8	45.1	75.0	
	3. どちらかといえば反対	27.7	24.5	30.2	24.5	25.5	31.6	24.5	25.0	
	4. とても反対	12.4	11.6	13.0	5.7	13.7	11.8	15.7	0.0	
	5. 詳しい内容がよくわからない	9.1	8.6	9.5	7.5	11.2	10.1	4.9	0.0	
へ削除 5、6年生の「長調と短調の視唱や視	1. とても賛成	13.0	12.0	13.7	7.4	14.9	12.3	14.7	0.0	
	2. どちらかといえば賛成	42.3	37.3	46.0	37.0	35.4	47.1	45.1	50.0	
	3. どちらかといえば反対	18.6	17.6	19.4	24.1	18.0	15.9	22.5	25.0	
	4. とても反対	3.1	2.6	3.5	5.6	2.5	3.1	2.9	0.0	
	5. 詳しい内容がよくわからない	23.0	30.5	17.5	25.9	29.2	21.6	14.7	25.0	

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性 別		年 代 別					
			男性	女性	20代	30代	40代	50代	それ以上	
2	除 1、2年生の 二部合唱を削 る	1. とても賛成	13.2	10.8	15.0	5.7	14.9	11.9	17.8	0.0
		2. どちらかといえば賛成	42.4	44.0	41.2	26.4	41.6	44.7	45.5	75.0
		3. どちらかといえば反対	26.1	20.7	30.0	45.3	21.7	24.8	25.7	25.0
		4. とても反対	5.7	4.7	6.4	7.5	5.0	4.9	7.9	0.0
		5. 詳しい内容がよくわからない	12.7	19.8	7.3	15.1	16.8	13.7	3.0	0.0
	を扱う 3年生から 「保健の学習」	1. とても賛成	25.9	27.9	24.4	40.7	29.8	22.9	19.6	0.0
		2. どちらかといえば賛成	55.5	53.2	57.1	48.1	55.3	58.6	52.0	75.0
		3. どちらかといえば反対	13.3	12.4	14.0	11.1	10.6	12.8	19.6	25.0
		4. とても反対	2.2	2.1	2.2	0.0	1.9	1.3	5.9	0.0
		5. 詳しい内容がよくわからない	3.1	4.3	2.2	0.0	2.5	4.4	2.9	0.0
	に運動を加わる 「心と体を二 体ほぐし ながら新 た」	1. とても賛成	31.0	27.9	33.2	44.4	33.8	26.5	29.4	25.0
		2. どちらかといえば賛成	53.1	53.6	52.7	48.1	50.0	54.9	55.9	75.0
		3. どちらかといえば反対	6.0	7.7	4.8	1.9	5.6	6.6	7.8	0.0
		4. とても反対	1.8	3.0	1.0	1.9	1.3	2.2	2.0	0.0
		5. 詳しい内容がよくわからない	8.1	7.7	8.3	3.7	9.4	9.7	4.9	0.0
	仕方が削除 の記録	1. とても賛成	4.4	5.2	3.8	3.8	3.1	3.5	8.8	0.0
		2. どちらかといえば賛成	27.1	27.2	27.1	20.8	18.6	32.3	32.4	25.0
		3. どちらかといえば反対	47.1	43.5	49.7	56.6	49.1	45.1	42.2	75.0
		4. とても反対	11.9	12.9	11.1	7.5	15.5	9.7	13.7	0.0
		5. 詳しい内容がよくわからない	9.5	11.2	8.3	11.3	13.7	9.3	2.9	0.0
が削除 がほころび 直し	1. とても賛成	2.7	3.0	2.5	0.0	1.2	4.0	3.9	0.0	
	2. どちらかといえば賛成	25.5	25.8	25.4	20.4	22.4	28.8	27.2	0.0	
	3. どちらかといえば反対	45.8	39.5	50.5	48.1	42.2	46.9	45.6	100.0	
	4. とても反対	15.3	15.5	15.2	16.7	17.4	11.9	19.4	0.0	
	5. 詳しい内容がよくわからない	10.6	16.3	6.3	14.8	16.8	8.4	3.9	0.0	
3	が基礎的 な学力 が低下す る	1. とてもそう思う	23.9	19.7	27.0	24.1	22.4	24.2	26.5	0.0
		2. わりとそう思う	33.9	30.0	36.8	37.0	32.3	35.2	31.4	50.0
		3. あまりそう思わない	34.5	37.3	32.4	31.5	38.5	33.9	30.4	50.0
		4. ぜんぜんそう思わない	6.2	11.6	2.2	3.7	5.0	5.7	10.8	0.0
		5. わからない	1.5	1.3	1.6	3.7	1.9	0.9	1.0	0.0
	なる つまらな く	1. とてもそう思う	3.5	3.4	3.5	5.6	1.2	4.0	5.0	0.0
		2. わりとそう思う	13.7	13.3	14.1	13.0	13.0	14.6	13.9	0.0
		3. あまりそう思わない	54.6	49.4	58.5	51.9	54.7	54.4	54.5	100.0
		4. ぜんぜんそう思わない	24.9	32.2	19.5	24.1	27.3	23.9	24.8	0.0
		5. わからない	3.3	1.7	4.5	5.6	3.7	3.1	2.0	0.0
	りなく なる	1. とてもそう思う	19.2	17.2	20.7	22.2	21.1	18.5	16.8	0.0
		2. わりとそう思う	33.5	30.0	36.0	25.9	36.0	32.6	34.7	50.0
		3. あまりそう思わない	34.0	34.8	33.4	46.3	31.1	33.5	33.7	25.0
		4. ぜんぜんそう思わない	11.3	16.7	7.3	5.6	8.7	13.2	13.9	25.0
		5. わからない	2.0	1.3	2.5	0.0	3.1	2.2	1.0	0.0
	が塾通 いに拍 車	1. とてもそう思う	25.9	22.3	28.6	33.3	28.0	25.6	20.6	0.0
		2. わりとそう思う	46.9	46.4	47.3	35.2	52.8	45.8	46.1	50.0
		3. あまりそう思わない	20.6	22.3	19.4	18.5	14.9	22.9	24.5	50.0
		4. ぜんぜんそう思わない	4.0	6.9	1.9	11.1	1.9	3.1	5.9	0.0
		5. わからない	2.6	2.1	2.9	1.9	2.5	2.6	2.9	0.0
の学 力差が 大き くなる	1. とてもそう思う	33.2	31.3	34.5	37.7	31.7	33.9	32.7	0.0	
	2. わりとそう思う	34.8	32.2	36.7	28.3	38.5	33.0	33.7	100.0	
	3. あまりそう思わない	26.2	29.2	24.0	24.5	25.5	27.3	26.7	0.0	
	4. ぜんぜんそう思わない	4.8	7.3	2.9	7.5	3.7	4.4	5.9	0.0	
	5. わからない	1.1	0.0	1.9	1.9	0.6	1.3	1.0	0.0	

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性別		年代別						
			男性	女性	20代	30代	40代	50代	それ以上		
3	主体的な活動が楽しくなる	1. とてもそう思う	6.8	10.7	3.8	9.3	9.9	4.9	4.9	0.0	
		2. わりとそう思う	37.5	42.5	33.8	40.7	32.9	37.2	43.1	50.0	
		3. あまりそう思わない	44.6	35.2	51.6	33.3	46.6	48.7	38.2	50.0	
		4. ぜんぜんそう思わない	6.8	7.7	6.1	7.4	5.6	4.9	12.7	0.0	
		5. わからない	4.4	3.9	4.8	9.3	5.0	4.4	1.0	0.0	
	学校生活が楽しくなる	1. とてもそう思う	4.4	7.3	2.2	1.9	6.8	3.1	4.9	0.0	
		2. わりとそう思う	34.5	42.5	28.6	37.0	28.0	35.2	40.2	75.0	
		3. あまりそう思わない	46.0	37.3	52.4	42.6	49.1	47.1	41.2	25.0	
		4. ぜんぜんそう思わない	5.3	5.6	5.1	1.9	5.0	4.8	8.8	0.0	
		5. わからない	9.9	7.3	11.7	16.7	11.2	9.7	4.9	0.0	
	基礎的な学力が定着する	1. とてもそう思う	2.2	3.4	1.3	5.6	0.0	2.6	2.9	0.0	
		2. わりとそう思う	26.1	28.8	24.1	27.8	28.6	23.8	24.5	75.0	
		3. あまりそう思わない	47.6	47.6	47.6	51.9	43.5	48.0	52.0	25.0	
		4. ぜんぜんそう思わない	17.9	15.0	20.0	7.4	18.0	20.3	18.6	0.0	
		5. わからない	6.2	5.2	7.0	7.4	9.9	5.3	2.0	0.0	
	子どものための時間を利用する	1. とてもそう思う	12.1	13.8	10.9	16.7	11.3	10.1	16.0	0.0	
		2. わりとそう思う	49.7	48.7	50.5	40.7	53.1	52.0	42.0	100.0	
		3. あまりそう思わない	26.6	25.4	27.5	20.4	22.5	30.0	30.0	0.0	
		4. ぜんぜんそう思わない	6.1	6.0	6.1	9.3	5.0	5.3	8.0	0.0	
		5. わからない	5.5	6.0	5.1	13.0	8.1	2.6	4.0	0.0	
休みが増え、学校生活が落ちる	1. とてもそう思う	8.8	7.3	9.8	9.3	6.2	10.6	8.7	0.0		
	2. わりとそう思う	27.4	21.9	31.4	31.5	23.0	27.4	33.0	0.0		
	3. あまりそう思わない	44.7	48.1	42.2	40.7	46.6	43.8	43.7	100.0		
	4. ぜんぜんそう思わない	13.3	16.7	10.8	11.1	15.5	12.8	12.6	0.0		
	5. わからない	5.8	6.0	5.7	7.4	8.7	5.3	1.9	0.0		
楽しい行事や活動が減る	1. とてもそう思う	15.5	11.6	18.4	16.7	18.6	14.1	13.7	0.0		
	2. わりとそう思う	42.0	39.9	43.5	44.4	42.2	43.2	37.3	50.0		
	3. あまりそう思わない	33.8	36.9	31.4	31.5	29.8	35.2	37.3	50.0		
	4. ぜんぜんそう思わない	6.8	9.0	5.1	7.4	5.0	6.6	9.8	0.0		
	5. わからない	2.0	2.6	1.6	0.0	4.3	0.9	2.0	0.0		
いじめ、不登校などの子どもたちの問題が進む	1. とてもそう思う	6.2	6.4	6.1	7.4	5.0	5.7	8.8	0.0		
	2. わりとそう思う	14.8	13.3	15.9	18.5	15.0	13.2	16.7	0.0		
	3. あまりそう思わない	54.8	52.4	56.7	44.4	55.6	56.8	53.9	75.0		
	4. ぜんぜんそう思わない	11.9	15.9	8.9	13.0	11.9	11.0	12.7	25.0		
	5. わからない	12.2	12.0	12.4	16.7	12.5	13.2	7.8	0.0		
宿題や家庭学習が増える	1. とてもそう思う	13.3	12.9	13.6	20.4	10.6	12.3	16.5	0.0		
	2. わりとそう思う	43.0	44.6	41.8	40.7	46.6	41.9	39.8	75.0		
	3. あまりそう思わない	34.1	32.2	35.4	27.8	31.7	37.9	33.0	25.0		
	4. ぜんぜんそう思わない	5.5	6.4	4.7	3.7	6.2	5.3	5.8	0.0		
	5. わからない	4.2	3.9	4.4	7.4	5.0	2.6	4.9	0.0		
4	子どもの能力の変化	計算力	1. かなり低下する	26.2	22.6	28.8	27.8	25.6	26.1	27.5	0.0
			2. 少し低下する	43.4	45.2	42.1	46.3	46.9	43.4	37.3	25.0
			3. 変わらない	24.7	27.0	23.1	14.8	23.8	26.1	27.5	50.0
			4. 少し向上する	4.8	4.3	5.1	9.3	3.8	3.1	6.9	25.0
			5. かなり向上する	0.9	0.9	0.9	1.9	0.0	1.3	1.0	0.0
	子どもの能力の変化	読書量や読解力	1. かなり低下する	21.9	17.4	25.2	24.1	20.0	23.2	21.6	0.0
			2. 少し低下する	36.6	36.1	36.9	44.4	40.0	33.9	32.4	50.0
			3. 変わらない	30.7	35.2	27.4	20.4	28.1	33.9	32.4	50.0
			4. 少し向上する	9.7	10.4	9.2	9.3	11.3	8.0	11.8	0.0
			5. かなり向上する	1.1	0.9	1.3	1.9	0.6	0.9	2.0	0.0

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性別		年代別					
			男性	女性	20代	30代	40代	50代	それ以上	
4 新学習指導要領の実施で予想される子どもの能力の変化	漢字の読み書きの力	1. かなり低下する	18.9	17.0	20.3	13.0	16.1	23.6	15.7	25.0
		2. 少し低下する	40.5	38.7	41.8	44.4	43.5	39.6	37.3	0.0
		3. 変わらない	32.1	35.7	29.4	27.8	32.9	30.7	35.3	50.0
		4. 少し向上する	7.9	7.8	7.9	13.0	7.5	5.3	10.8	25.0
		5. かなり向上する	0.7	0.9	0.6	1.9	0.0	0.9	1.0	0.0
	文章表現力	1. かなり低下する	17.9	15.2	20.0	20.4	17.4	16.8	20.8	0.0
		2. 少し低下する	31.5	32.0	31.1	25.9	36.6	31.9	25.7	25.0
		3. 変わらない	35.7	35.5	35.9	29.6	31.1	41.2	33.7	50.0
		4. 少し向上する	13.0	14.7	11.7	20.4	11.8	9.7	17.8	25.0
		5. かなり向上する	1.8	2.6	1.3	3.7	3.1	0.4	2.0	0.0
	自分の考えや意見を発表する力	1. かなり低下する	5.3	5.6	5.1	5.6	4.3	4.4	8.9	0.0
		2. 少し低下する	8.8	10.4	7.6	7.4	10.6	8.9	6.9	0.0
		3. 変わらない	28.3	26.0	29.9	18.5	27.3	28.9	31.7	75.0
		4. 少し向上する	51.2	49.8	52.2	61.1	50.9	50.2	49.5	25.0
		5. かなり向上する	6.4	8.2	5.1	7.4	6.8	7.6	3.0	0.0
	基礎的な運動能力	1. かなり低下する	9.4	11.3	8.0	9.3	10.6	9.4	7.9	0.0
		2. 少し低下する	32.0	33.0	31.2	25.9	37.9	29.9	29.7	50.0
		3. 変わらない	53.1	50.9	54.8	51.9	47.8	56.7	55.4	25.0
		4. 少し向上する	5.5	4.8	6.1	13.0	3.7	4.0	6.9	25.0
		5. かなり向上する	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	社会の一般的な知識や常識	1. かなり低下する	9.0	8.7	9.2	5.6	8.1	9.3	11.9	0.0
		2. 少し低下する	25.1	23.0	26.7	37.0	22.5	25.2	22.8	25.0
		3. 変わらない	47.3	45.2	48.9	40.7	52.5	48.2	40.6	50.0
		4. 少し向上する	17.4	20.9	14.9	16.7	15.6	15.9	23.8	25.0
		5. かなり向上する	1.1	2.2	0.3	0.0	1.3	1.3	1.0	0.0
	創造力や工夫する力	1. かなり低下する	3.3	3.0	3.5	0.0	2.5	3.1	6.9	0.0
		2. 少し低下する	9.6	9.1	9.9	14.8	9.4	7.5	11.9	0.0
		3. 変わらない	32.5	28.3	35.7	18.5	33.3	36.3	30.7	25.0
		4. 少し向上する	51.7	55.2	49.0	61.1	52.2	49.1	50.5	75.0
		5. かなり向上する	2.9	4.3	1.9	5.6	2.5	4.0	0.0	0.0
	友達や他人を思いやる気持ち	1. かなり低下する	3.1	3.0	3.2	5.6	1.3	2.7	5.9	0.0
		2. 少し低下する	11.7	12.1	11.5	14.8	10.0	10.6	15.8	0.0
		3. 変わらない	64.4	60.6	67.2	61.1	69.4	65.5	56.4	50.0
		4. 少し向上する	20.2	23.4	17.8	18.5	19.4	19.9	21.8	50.0
		5. かなり向上する	0.6	0.9	0.3	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0
	集団としてのモラル	1. かなり低下する	6.4	6.5	6.4	5.6	4.4	5.8	11.9	0.0
		2. 少し低下する	17.4	16.0	18.5	18.5	18.1	16.4	18.8	0.0
		3. 変わらない	60.6	58.4	62.1	64.8	64.4	61.1	51.5	50.0
		4. 少し向上する	15.4	18.6	13.1	9.3	13.1	16.8	17.8	50.0
		5. かなり向上する	0.2	0.4	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	ゲームや学習計画や実践する力	1. かなり低下する	2.8	2.6	2.9	5.6	1.2	3.1	3.0	0.0
		2. 少し低下する	8.3	10.0	7.0	13.0	8.1	6.7	9.9	0.0
		3. 変わらない	36.3	37.2	35.7	25.9	41.6	35.1	36.6	25.0
		4. 少し向上する	48.1	44.2	51.0	51.9	43.5	50.2	47.5	75.0
		5. かなり向上する	4.6	6.1	3.5	3.7	5.6	4.9	3.0	0.0
自ら進んで行動したりする力	1. かなり低下する	3.3	3.0	3.5	7.4	1.2	3.5	4.0	0.0	
	2. 少し低下する	5.9	6.5	5.4	5.6	5.0	4.9	9.9	0.0	
	3. 変わらない	30.6	26.8	33.3	13.0	30.4	34.1	32.7	25.0	
	4. 少し向上する	56.0	58.0	54.6	72.2	57.1	52.7	52.5	75.0	
	5. かなり向上する	4.2	5.6	3.2	1.9	6.2	4.9	1.0	0.0	

資料2 基礎集計表

質問項目	全体	性別		年代別						
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	それ以上		
4 新学習指導要領の実施で予想 たぐいしもの能力の変化	自ら課題をと え、解決し いく力	1. かなり低下する	2.9	3.5	2.5	9.3	0.6	3.1	3.0	0.0
		2. 少し低下する	6.2	5.6	6.7	0.0	5.0	7.1	9.9	0.0
		3. 変わらない	28.0	20.8	33.3	20.4	21.7	32.7	30.7	50.0
		4. 少し向上する	57.0	62.3	53.0	68.5	65.8	50.0	52.5	50.0
		5. かなり向上する	5.9	7.8	4.4	1.9	6.8	7.1	4.0	0.0
5 新学習指導要領の実施に伴い、次のようなことをどのよう に考えるか	内容について 知っているか	1. とてもよく知っている	0.2	0.4	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0
		2. わりと知っている	11.7	18.1	7.0	9.3	8.7	13.3	13.6	25.0
		3. 少しだけ知っている	38.5	35.8	40.5	37.0	36.6	37.6	43.7	50.0
		4. あまり知らない	39.4	34.9	42.7	38.9	45.3	37.6	35.0	25.0
		5. ぜんぜん知らない	9.3	10.3	8.5	14.8	8.1	10.2	6.8	0.0
		6. よくわからない	0.9	0.4	1.3	0.0	0.6	1.3	1.0	0.0
	訂正の 時間 の 総合 的 な 改 訂 か	1. とても賛成	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		2. わりと賛成	6.7	10.3	4.1	11.1	5.0	7.5	5.8	0.0
		3. どちらともいえない	50.1	46.8	52.5	53.7	47.2	48.9	53.4	100.0
		4. わりと反対	34.1	31.8	35.8	24.1	36.6	36.1	32.0	0.0
		5. とても反対	4.6	6.0	3.5	5.6	5.0	4.0	4.9	0.0
		6. よくわからない	4.6	5.2	4.1	5.6	6.2	3.5	3.9	0.0
	知っているか	1. とてもよく知っている	6.2	9.0	4.1	0.0	5.6	4.8	13.6	0.0
		2. わりと知っている	43.7	53.6	36.4	33.3	37.3	46.3	52.4	75.0
		3. 少し知っている	40.6	29.6	48.7	51.9	49.1	38.3	28.2	0.0
		4. あまりよく知らない	9.1	6.9	10.8	14.8	8.1	10.1	4.9	25.0
		5. 知らない	0.4	0.9	0.0	0.0	0.0	0.4	1.0	0.0
	訂正の内容 で 一番 不安 に 思 っ て い る 教 科	1. 国語	25.8	21.0	29.3	20.8	23.1	24.3	35.0	50.0
		2. 社会	1.8	1.3	2.2	0.0	1.9	3.1	0.0	0.0
		3. 算数	51.7	49.3	53.5	60.4	51.9	54.4	42.0	25.0
		4. 理科	3.7	5.7	2.2	1.9	5.6	1.8	5.0	25.0
		5. 音楽	1.5	0.9	1.9	0.0	0.6	2.2	2.0	0.0
		6. 図工	1.7	3.1	0.6	1.9	1.9	1.3	2.0	0.0
		7. 体育	5.0	8.3	2.5	7.5	6.3	4.0	4.0	0.0
		8. 家庭	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		9. 生活科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		10. 1つもない	4.4	7.0	2.5	5.7	4.4	4.0	5.0	0.0
		11. よくわからない	4.4	3.5	5.1	1.9	4.4	4.9	5.0	0.0
	よく改訂された と思う教科	1. 国語	7.2	8.7	6.1	7.7	6.3	7.9	6.9	0.0
		2. 社会	6.6	8.7	5.1	1.9	8.9	6.6	5.9	0.0
3. 算数		14.2	18.3	11.2	21.2	12.7	11.9	17.8	25.0	
4. 理科		9.4	8.7	9.9	7.7	7.6	9.3	13.9	0.0	
5. 音楽		0.7	0.4	1.0	1.9	0.0	1.3	0.0	0.0	
6. 図工		1.8	2.2	1.6	5.8	2.5	0.9	1.0	0.0	
7. 体育		6.3	6.6	6.1	15.4	10.8	3.1	2.0	0.0	
8. 家庭		1.5	0.4	2.2	0.0	1.9	1.3	2.0	0.0	
9. 生活科		1.8	1.3	2.2	0.0	1.9	1.8	3.0	0.0	
10. 1つもない		11.1	12.7	9.9	5.8	7.0	12.3	17.8	0.0	
11. よくわからない		39.3	31.9	44.7	32.7	40.5	43.6	29.7	75.0	
こちらが 学習内容の 3割	1. とてもよい	4.0	7.4	1.6	1.9	1.9	4.8	6.9	0.0	
	2. どちらかといえばよい	33.8	37.8	30.8	34.0	34.0	31.3	37.3	75.0	
	3. どちらかといえばよくない	40.2	36.5	42.9	39.6	42.1	41.0	36.3	25.0	
	4. とてもよくない	13.4	11.7	14.6	13.2	10.1	15.0	15.7	0.0	
	5. よくわからない	8.6	6.5	10.2	11.3	11.9	7.9	3.9	0.0	

資料2 基礎集計表

質問項目	全体	性 別		年 代 別						
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	それ以上		
6 次のようなことをどのよう に考えているか	学校評議員 の導入	1. とても賛成	10.1	15.2	6.3	11.3	10.6	8.0	13.9	0.0
		2. やや賛成	39.4	47.0	34.0	41.5	42.2	36.3	40.6	50.0
		3. やや反対	21.3	17.0	24.4	15.1	16.8	25.7	20.8	50.0
		4. とても反対	10.6	9.1	11.7	13.2	6.2	10.6	16.8	0.0
		5. わからない	18.5	11.7	23.5	18.9	24.2	19.5	7.9	0.0
	弾力化 の1単位時間の	1. とても賛成	32.7	36.8	29.7	39.6	33.5	32.2	29.4	25.0
		2. やや賛成	56.1	52.4	58.9	47.2	57.8	56.4	56.9	75.0
		3. やや反対	7.7	5.6	9.2	9.4	6.2	8.8	6.9	0.0
		4. とても反対	1.3	2.2	0.6	0.0	1.9	1.3	1.0	0.0
		5. わからない	2.2	3.0	1.6	3.8	0.6	1.3	5.9	0.0
	学校間連帯	1. とても賛成	27.1	29.0	25.7	35.8	32.3	22.0	25.7	25.0
		2. やや賛成	56.4	56.3	56.5	52.8	51.6	61.7	53.5	75.0
		3. やや反対	6.2	6.9	5.7	0.0	4.3	7.5	9.9	0.0
		4. とても反対	0.9	1.3	0.6	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0
		5. わからない	9.3	6.5	11.4	11.3	11.8	8.8	5.9	0.0
	複数担任制や クラスの少制	1. とても賛成	63.9	64.9	63.2	65.4	64.0	61.2	68.6	75.0
		2. やや賛成	31.0	31.6	30.5	30.8	30.4	33.9	25.5	25.0
		3. やや反対	2.9	2.2	3.5	0.0	3.7	3.1	2.9	0.0
		4. とても反対	1.3	0.4	1.9	3.8	1.2	0.4	2.0	0.0
		5. わからない	0.9	0.9	1.0	0.0	0.6	1.3	1.0	0.0
	学区の枠の 拡大や学校の 自由化	1. とても賛成	17.1	26.0	10.5	13.2	22.0	15.0	16.8	0.0
		2. やや賛成	39.7	42.0	38.0	39.6	42.1	41.0	30.7	100.0
		3. やや反対	25.4	17.7	31.0	24.5	20.8	24.2	36.6	0.0
		4. とても反対	11.4	11.3	11.5	5.7	8.8	14.5	11.9	0.0
		5. わからない	6.4	3.0	8.9	17.0	6.3	5.3	4.0	0.0
	スクールの 配	1. とても賛成	61.4	60.2	62.2	67.9	67.1	59.0	54.5	50.0
		2. やや賛成	32.6	35.5	30.5	28.3	28.0	35.7	34.7	50.0
		3. やや反対	3.1	1.7	4.1	3.8	2.5	2.6	5.0	0.0
		4. とても反対	0.9	1.3	0.6	0.0	0.0	1.3	2.0	0.0
		5. わからない	2.0	1.3	2.5	0.0	2.5	1.3	4.0	0.0
	教科内にお ける内容の 拡大・推 進	1. とても賛成	20.7	24.7	17.8	18.9	23.6	20.3	18.8	0.0
		2. やや賛成	50.0	50.6	49.5	58.5	49.7	49.8	45.5	75.0
		3. やや反対	19.4	16.5	21.6	9.4	18.0	20.3	24.8	25.0
		4. とても反対	2.4	2.6	2.2	0.0	1.2	3.5	3.0	0.0
		5. わからない	7.5	5.6	8.9	13.2	7.5	6.2	7.9	0.0
	授業形態の 多様化	1. とても賛成	53.6	55.4	52.4	50.9	55.3	51.1	57.3	75.0
		2. やや賛成	41.1	39.8	42.0	47.2	38.5	44.1	35.9	25.0
		3. やや反対	3.1	3.0	3.2	1.9	4.3	2.6	2.9	0.0
		4. とても反対	1.3	1.7	0.9	0.0	1.2	1.3	1.9	0.0
		5. わからない	0.9	0.0	1.6	0.0	0.6	0.9	1.9	0.0
	情報機器や コンピュータ を活用した 授業	1. とても賛成	40.3	47.6	34.9	56.6	44.7	38.3	30.7	0.0
		2. やや賛成	50.5	43.7	55.6	37.7	46.6	52.4	57.4	100.0
		3. やや反対	6.4	7.4	5.7	3.8	6.2	5.7	9.9	0.0
		4. とても反対	1.1	0.9	1.3	0.0	0.6	1.3	2.0	0.0
		5. わからない	1.6	0.4	2.5	1.9	1.9	2.2	0.0	0.0
	総合的な学 習の時間 の新設	1. とても賛成	19.7	25.5	15.3	26.4	16.3	18.1	25.7	0.0
		2. やや賛成	39.2	42.4	36.7	35.8	43.1	39.4	31.7	100.0
		3. やや反対	26.3	20.8	30.4	17.0	29.4	27.0	25.7	0.0
		4. とても反対	10.1	7.8	11.8	11.3	5.0	11.5	14.9	0.0
		5. わからない	4.8	3.5	5.8	9.4	6.3	4.0	2.0	0.0

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性 別		年 代 別					
			男性	女性	20代	30代	40代	50代	それ以上	
6	削減 学校行事の	1. とても賛成	6.8	7.4	6.3	13.2	8.7	4.4	5.9	0.0
		2. やや賛成	25.0	20.3	28.5	15.1	20.5	26.9	33.3	25.0
		3. やや反対	39.3	41.6	37.7	43.4	36.0	40.1	39.2	75.0
		4. とても反対	26.3	28.1	25.0	24.5	30.4	26.9	20.6	0.0
		5. わからない	2.6	2.6	2.5	3.8	4.3	1.8	1.0	0.0
	づくり 特色ある学校の 推進	1. とても賛成	26.1	35.5	19.2	30.2	24.2	25.1	30.1	0.0
		2. やや賛成	55.7	50.6	59.3	58.5	59.6	55.5	46.6	100.0
		3. やや反対	11.1	8.2	13.2	5.7	8.1	12.8	15.5	0.0
		4. とても反対	2.0	2.2	1.9	0.0	1.2	3.1	1.9	0.0
		5. わからない	5.1	3.5	6.3	5.7	6.8	3.5	5.8	0.0
	課 教員の人事考 制度の採用	1. とても賛成	10.6	16.5	6.3	11.3	12.4	7.0	16.0	0.0
		2. やや賛成	24.6	30.4	20.3	34.0	21.7	22.9	26.0	75.0
		3. やや反対	19.8	16.5	22.2	13.2	18.6	23.8	17.0	0.0
		4. とても反対	19.6	17.8	21.0	7.5	16.8	22.5	25.0	0.0
		5. わからない	25.3	18.7	30.2	34.0	30.4	23.8	16.0	25.0
	の 民間人から 校長登用	1. とても賛成	6.8	8.7	5.4	15.1	7.5	4.8	5.8	0.0
		2. やや賛成	25.4	28.1	23.3	26.4	27.3	22.5	27.2	50.0
		3. やや反対	29.0	27.7	30.0	18.9	31.7	32.6	22.3	25.0
		4. とても反対	25.4	26.8	24.3	24.5	18.0	27.3	33.0	25.0
		5. わからない	13.5	8.7	17.0	15.1	15.5	12.8	11.7	0.0
	時 クラブ活動の 削減	1. とても賛成	8.2	8.3	8.2	7.5	9.9	5.3	12.7	0.0
		2. やや賛成	24.2	21.7	25.9	17.0	30.4	24.8	16.7	25.0
		3. やや反対	46.0	43.9	47.5	58.5	36.6	49.1	46.1	75.0
		4. とても反対	18.5	22.2	15.8	17.0	18.6	18.6	19.6	0.0
		5. わからない	3.1	3.9	2.5	0.0	4.3	2.2	4.9	0.0
	を 地域の人の力 借りた授業	1. とても賛成	44.5	45.0	44.2	58.5	52.2	41.0	33.0	50.0
		2. やや賛成	49.8	50.6	49.2	39.6	44.7	52.0	58.3	50.0
		3. やや反対	4.0	3.5	4.4	0.0	1.9	6.2	4.9	0.0
		4. とても反対	0.5	0.4	0.6	1.9	0.0	0.0	1.9	0.0
		5. わからない	1.1	0.4	1.6	0.0	1.2	0.9	1.9	0.0
	活 ボランティア 活動の推進	1. とても賛成	36.6	35.9	37.1	35.8	40.4	33.5	37.6	50.0
		2. やや賛成	49.6	49.4	49.8	50.9	46.0	53.7	45.5	50.0
		3. やや反対	7.7	8.2	7.3	9.4	6.8	7.0	9.9	0.0
		4. とても反対	2.6	3.5	1.9	0.0	1.9	3.1	4.0	0.0
		5. わからない	3.5	3.0	3.8	3.8	5.0	2.6	3.0	0.0
	推 や国際理解教育 進英語教育の	1. とても賛成	27.2	26.5	27.8	30.2	30.4	25.2	25.2	25.0
		2. やや賛成	54.1	53.9	54.3	54.7	53.4	58.8	44.7	50.0
		3. やや反対	11.0	12.6	9.8	9.4	8.7	8.8	19.4	25.0
		4. とても反対	4.4	4.3	4.4	1.9	2.5	4.4	8.7	0.0
		5. わからない	3.3	2.6	3.8	3.8	5.0	2.7	1.9	0.0
	推 環境教育の 進	1. とても賛成	41.8	42.4	41.3	43.4	45.3	37.9	43.7	50.0
		2. やや賛成	53.6	53.2	53.9	50.9	49.1	58.6	51.5	50.0
		3. やや反対	2.6	1.7	3.2	3.8	3.1	2.2	1.9	0.0
		4. とても反対	0.2	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
		5. わからない	1.8	2.6	1.3	1.9	2.5	1.3	1.9	0.0
徹 道徳教育の 底	1. とても賛成	36.9	39.0	35.4	47.2	41.6	30.0	40.2	25.0	
	2. やや賛成	45.9	43.3	47.8	37.7	45.3	49.3	42.2	75.0	
	3. やや反対	9.1	8.2	9.8	9.4	5.6	11.5	9.8	0.0	
	4. とても反対	2.7	4.8	1.3	0.0	0.6	3.1	6.9	0.0	
	5. わからない	5.3	4.8	5.7	5.7	6.8	6.2	1.0	0.0	

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性別		年代別						
			男性	女性	20代	30代	40代	50代	それ以上		
6	次のようなことをどのように考えているか	中高一貫教育の実施	1. とても賛成	17.8	18.3	17.4	20.8	16.1	17.7	19.6	0.0
			2. やや賛成	47.4	53.5	43.0	45.3	44.7	51.3	42.2	100.0
			3. やや反対	14.7	11.7	16.8	17.0	13.0	15.0	15.7	0.0
			4. とても反対	4.4	3.9	4.7	0.0	5.0	2.7	9.8	0.0
			5. わからない	15.8	12.6	18.0	17.0	21.1	13.3	12.7	0.0
	学校完全週5日制の実施	1. とても賛成	37.4	42.4	33.7	34.0	33.1	37.9	46.1	0.0	
		2. やや賛成	37.7	38.5	37.1	34.0	38.8	40.1	30.4	100.0	
		3. やや反対	14.7	9.1	18.7	11.3	15.0	16.3	12.7	0.0	
		4. とても反対	4.0	4.8	3.5	7.5	4.4	2.6	4.9	0.0	
		5. わからない	6.2	5.2	7.0	13.2	8.8	3.1	5.9	0.0	
	評価基準の説明	1. とても賛成	19.3	23.0	16.5	17.0	23.0	17.7	18.8	0.0	
		2. やや賛成	49.9	52.6	47.9	45.3	47.8	53.1	48.5	50.0	
		3. やや反対	8.3	8.3	8.3	11.3	4.3	8.4	11.9	25.0	
		4. とても反対	3.3	5.2	1.9	1.9	3.7	3.1	4.0	0.0	
		5. わからない	19.3	10.9	25.4	24.5	21.1	17.7	16.8	25.0	
	入スクールの導	1. とても賛成	11.7	15.2	9.2	18.9	10.6	11.5	10.9	0.0	
		2. やや賛成	46.0	47.8	44.6	39.6	47.8	46.7	43.6	75.0	
		3. やや反対	7.9	9.6	6.6	7.5	5.6	8.4	10.9	0.0	
		4. とても反対	1.3	1.7	0.9	0.0	0.6	0.9	4.0	0.0	
		5. わからない	33.2	25.7	38.6	34.0	35.4	32.6	30.7	25.0	
づ開かれた学校の推進	1. とても賛成	30.2	40.7	22.5	37.7	29.8	28.6	31.4	0.0		
	2. やや賛成	55.0	50.6	58.2	52.8	56.5	54.2	53.9	100.0		
	3. やや反対	6.8	3.0	9.5	3.8	4.3	9.3	6.9	0.0		
	4. とても反対	0.7	0.9	0.6	0.0	0.6	0.4	2.0	0.0		
	5. わからない	7.3	4.8	9.2	5.7	8.7	7.5	5.9	0.0		
7	新学習指導要領の実施に伴う学校や子どもたちの変化	反映される人々の意見や要望が学校教育に要	1. とてもそう思う	6.8	6.5	6.9	7.5	5.0	7.9	6.8	0.0
			2. わりとそう思う	54.7	58.9	51.7	58.5	60.9	49.3	54.4	75.0
			3. あまりそう思わない	32.5	29.4	34.7	30.2	29.8	36.1	30.1	25.0
			4. ぜんぜんそう思わない	2.0	3.5	0.9	0.0	0.6	2.2	4.9	0.0
			5. わからない	4.0	1.7	5.7	3.8	3.7	4.4	3.9	0.0
	なるようになる	1. とてもそう思う	13.9	12.6	14.8	7.5	11.8	14.5	19.4	0.0	
		2. わりとそう思う	33.8	29.4	36.9	22.6	29.8	39.6	31.1	75.0	
		3. あまりそう思わない	41.8	45.5	39.1	50.9	44.7	38.8	39.8	25.0	
		4. ぜんぜんそう思わない	5.7	9.5	2.8	7.5	7.5	3.1	7.8	0.0	
		5. わからない	4.9	3.0	6.3	11.3	6.2	4.0	1.9	0.0	
	になる	1. とてもそう思う	6.4	6.5	6.3	5.7	5.0	6.6	8.8	0.0	
		2. わりとそう思う	22.9	23.4	22.5	22.6	19.3	24.8	24.5	25.0	
		3. あまりそう思わない	54.0	51.1	56.2	50.9	59.6	51.8	51.0	75.0	
		4. ぜんぜんそう思わない	6.4	9.1	4.4	3.8	5.6	6.6	8.8	0.0	
		5. わからない	10.3	10.0	10.5	17.0	10.6	10.2	6.9	0.0	
	くなる	1. とてもそう思う	8.8	9.1	8.5	9.4	6.2	10.6	8.7	0.0	
		2. わりとそう思う	31.8	26.0	36.0	28.3	31.7	31.7	35.0	0.0	
		3. あまりそう思わない	44.9	48.9	42.0	43.4	47.2	44.1	42.7	75.0	
		4. ぜんぜんそう思わない	8.4	12.6	5.4	11.3	8.1	6.6	10.7	25.0	
		5. わからない	6.2	3.5	8.2	7.5	6.8	7.0	2.9	0.0	
れてくる	1. とてもそう思う	10.2	11.7	9.1	18.9	10.6	8.4	9.7	0.0		
	2. わりとそう思う	59.1	61.5	57.4	58.5	62.7	57.7	55.3	100.0		
	3. あまりそう思わない	25.9	21.2	29.3	18.9	21.1	30.4	28.2	0.0		
	4. ぜんぜんそう思わない	2.7	3.0	2.5	1.9	3.1	1.8	4.9	0.0		
	5. わからない	2.0	2.6	1.6	1.9	2.5	1.8	1.9	0.0		

資料2 基礎集計表

質問項目	全体	性別		年代別							
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	それ以上			
7 新学習指導要領の実施に伴う学校や子どもたちの変化	生まれる校間の格差が学級	1. とてもそう思う	18.6	24.2	14.6	30.2	19.9	17.7	13.6	0.0	
		2. わりとそう思う	60.0	54.5	63.9	54.7	59.6	62.8	56.3	75.0	
		3. あまりそう思わない	17.7	16.9	18.4	13.2	16.1	16.8	24.3	25.0	
		4. ぜんぜんそう思わない	1.8	3.0	0.9	1.9	2.5	0.9	2.9	0.0	
		5. わからない	1.8	1.3	2.2	0.0	1.9	1.8	2.9	0.0	
	つてくる王国がなくな	1. とてもそう思う	1.8	1.7	1.9	1.9	2.5	0.9	2.9	0.0	
		2. わりとそう思う	34.0	31.2	36.1	43.4	35.0	28.2	39.8	50.0	
		3. あまりそう思わない	47.2	46.8	47.5	37.7	43.1	55.9	38.8	50.0	
		4. ぜんぜんそう思わない	8.2	12.1	5.4	3.8	8.8	7.0	12.6	0.0	
		5. わからない	8.8	8.2	9.2	13.2	10.6	7.9	5.8	0.0	
	間が大幅に必要な	1. とてもそう思う	52.2	47.2	55.8	47.2	57.1	51.5	49.5	25.0	
		2. わりとそう思う	42.0	43.3	41.0	47.2	39.1	42.3	41.7	75.0	
		3. あまりそう思わない	4.7	8.2	2.2	3.8	2.5	5.3	7.8	0.0	
		4. ぜんぜんそう思わない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		5. わからない	1.1	1.3	0.9	1.9	1.2	0.9	1.0	0.0	
自主性が伸びる	1. とてもそう思う	7.3	9.1	6.0	11.3	6.8	7.5	5.8	0.0		
	2. わりとそう思う	50.4	57.1	45.4	47.2	54.7	47.6	50.5	75.0		
	3. あまりそう思わない	33.0	27.7	36.9	26.4	29.2	35.2	37.9	25.0		
	4. ぜんぜんそう思わない	3.6	2.6	4.4	1.9	3.1	4.0	4.9	0.0		
	5. わからない	5.7	3.5	7.3	13.2	6.2	5.7	1.0	0.0		
8 授業を受け持っているクラスで、次のような子どもをどのくらい見るか	出さない子	授業が始まるまで教科書を	1. ぜんぜんいない	22.6	24.4	21.2	34.6	21.5	20.5	23.3	0.0
		2. 1～2人くらい	38.6	31.7	43.8	32.7	44.3	37.9	33.7	33.3	
		3. 3～4人くらい	23.9	28.5	20.5	17.3	19.0	28.8	24.4	33.3	
		4. 5～6人くらい	7.7	8.1	7.4	9.6	8.2	7.3	7.0	0.0	
		5. それ以上いる	7.1	7.2	7.1	5.8	7.0	5.5	11.6	33.3	
	出たり入ったりしている子	授業中、教室を出たり入ったり	1. ぜんぜんいない	87.1	87.4	87.0	86.5	86.1	90.0	82.8	66.7
		2. 1～2人くらい	10.6	9.0	11.7	13.5	13.3	7.2	11.5	33.3	
		3. 3～4人くらい	1.7	3.2	0.7	0.0	0.6	1.8	4.6	0.0	
		4. 5～6人くらい	0.6	0.5	0.7	0.0	0.0	0.9	1.1	0.0	
		5. それ以上いる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ない子	授業中、注意やべりをもやめ	1. ぜんぜんいない	59.0	59.5	58.7	67.3	60.8	60.0	49.4	33.3
		2. 1～2人くらい	30.4	32.0	29.2	25.0	26.6	31.8	35.6	66.7	
		3. 3～4人くらい	5.0	4.5	5.4	1.9	7.6	3.6	5.7	0.0	
		4. 5～6人くらい	3.8	2.7	4.7	5.8	3.8	2.7	5.7	0.0	
		5. それ以上いる	1.7	1.4	2.0	0.0	1.3	1.8	3.4	0.0	
いる子	授業中、教室の後ろの方で寝ころんだりして	1. ぜんぜんいない	91.0	92.8	89.6	90.4	89.9	93.2	87.4	100.0	
	2. 1～2人くらい	8.4	6.3	10.0	9.6	8.9	6.3	12.6	0.0		
	3. 3～4人くらい	0.6	0.9	0.3	0.0	1.3	0.5	0.0	0.0		
	4. 5～6人くらい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	5. それ以上いる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
ている子	授業中マンガや小説を読ん	1. ぜんぜんいない	95.2	95.5	95.0	98.1	94.9	95.5	94.3	66.7	
	2. 1～2人くらい	4.2	3.2	5.0	1.9	5.1	3.6	4.6	33.3		
	3. 3～4人くらい	0.2	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0		
	4. 5～6人くらい	0.4	0.9	0.0	0.0	0.0	0.5	1.1	0.0		
	5. それ以上いる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
多い子	宿題や提出物など忘れ物が	1. ぜんぜんいない	5.2	4.1	6.1	11.8	1.3	5.4	8.1	0.0	
	2. 1～2人くらい	38.2	36.0	39.7	35.3	32.9	45.2	31.4	33.3		
	3. 3～4人くらい	37.0	40.1	34.7	33.3	45.6	32.6	33.7	66.7		
	4. 5～6人くらい	12.9	10.8	14.5	9.8	15.2	10.4	17.4	0.0		
	5. それ以上いる	6.7	9.0	5.1	9.8	5.1	6.3	9.3	0.0		

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性別		年代別						
			男性	女性	20代	30代	40代	50代	それ以上		
8	授業を受けているクラスで、次のような子どもをどのくらい見るか	くぐる子	1. ぜんぜんいない	90.0	86.5	92.6	88.5	88.6	89.6	94.2	100.0
			2. 1～2人くらい	9.2	12.6	6.7	9.6	10.1	10.4	4.7	0.0
			3. 3～4人くらい	0.2	0.0	0.3	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0
			4. 5～6人くらい	0.2	0.5	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0
			5. それ以上いる	0.4	0.5	0.3	0.0	0.6	0.0	1.2	0.0
	る子	1. ぜんぜんいない	81.6	83.3	80.3	86.5	79.1	83.7	78.2	66.7	
		2. 1～2人くらい	15.2	14.4	15.7	13.5	17.7	13.6	14.9	33.3	
		3. 3～4人くらい	1.9	0.9	2.7	0.0	1.9	1.4	4.6	0.0	
		4. 5～6人くらい	0.8	0.9	0.7	0.0	0.0	0.9	2.3	0.0	
		5. それ以上いる	0.6	0.5	0.7	0.0	1.3	0.5	0.0	0.0	
	しを取る子	1. ぜんぜんいない	62.6	63.5	61.9	59.6	60.1	64.3	65.5	33.3	
		2. 1～2人くらい	33.4	32.4	34.1	34.6	35.4	31.7	32.2	66.7	
		3. 3～4人くらい	3.5	3.6	3.3	3.8	3.8	3.6	2.3	0.0	
		4. 5～6人くらい	0.4	0.5	0.3	1.9	0.0	0.5	0.0	0.0	
		5. それ以上いる	0.2	0.0	0.3	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	
	る子	1. ぜんぜんいない	74.4	75.1	73.8	73.1	74.1	75.5	74.4	33.3	
		2. 1～2人くらい	22.5	21.7	23.2	23.1	22.8	21.4	23.3	66.7	
		3. 3～4人くらい	2.3	2.7	2.0	3.8	1.9	3.2	0.0	0.0	
		4. 5～6人くらい	0.6	0.5	0.7	0.0	0.6	0.0	2.3	0.0	
		5. それ以上いる	0.2	0.0	0.3	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	
で言う子	1. ぜんぜんいない	40.5	41.9	39.4	45.1	37.6	40.3	43.7	33.3		
	2. 1～2人くらい	43.2	43.7	42.8	29.4	43.3	43.9	48.3	66.7		
	3. 3～4人くらい	11.6	8.6	13.8	13.7	11.5	13.1	6.9	0.0		
	4. 5～6人くらい	2.5	2.3	2.7	7.8	3.2	1.4	1.1	0.0		
	5. それ以上いる	2.3	3.6	1.3	3.9	4.5	1.4	0.0	0.0		
くぐる子	1. ぜんぜんいない	71.2	68.9	72.9	78.8	68.4	72.4	67.8	100.0		
	2. 1～2人くらい	23.6	23.4	23.7	21.2	22.8	23.5	27.6	0.0		
	3. 3～4人くらい	3.8	5.4	2.7	0.0	6.3	2.7	4.6	0.0		
	4. 5～6人くらい	1.2	2.3	0.3	0.0	1.9	1.4	0.0	0.0		
	5. それ以上いる	0.2	0.0	0.3	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0		
る子	1. ぜんぜんいない	59.7	59.0	60.3	65.4	62.4	57.0	59.3	33.3		
	2. 1～2人くらい	30.8	29.3	32.0	25.0	26.1	34.4	32.6	66.7		
	3. 3～4人くらい	7.3	9.5	5.7	5.8	7.6	7.7	7.0	0.0		
	4. 5～6人くらい	1.7	1.8	1.7	1.9	3.8	0.5	1.2	0.0		
	5. それ以上いる	0.4	0.5	0.3	1.9	0.0	0.5	0.0	0.0		
校の子	1. ぜんぜんいない	63.8	59.0	67.4	69.2	64.6	63.3	61.6	33.3		
	2. 1～2人くらい	34.4	38.7	31.2	28.8	34.8	33.9	37.2	66.7		
	3. 3～4人くらい	1.5	2.3	1.0	1.9	0.6	2.3	1.2	0.0		
	4. 5～6人くらい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	5. それ以上いる	0.2	0.0	0.3	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0		
9	この数年間の、学校や教師の生活の変化も増えた	1. とてもそう思う	43.3	40.5	45.3	27.5	37.5	47.6	51.5	25.0	
		2. わりとそう思う	32.2	29.5	34.2	35.3	35.0	33.9	20.8	75.0	
		3. あまりそう思わない	21.2	24.7	18.7	33.3	23.1	16.7	22.8	0.0	
		4. ぜんぜんそう思わない	3.3	5.3	1.9	3.9	4.4	1.8	5.0	0.0	
	うに追いついた	1. とてもそう思う	38.2	30.5	43.7	22.0	32.7	43.1	44.4	25.0	
		2. わりとそう思う	44.1	45.6	43.1	52.0	51.6	40.4	35.4	75.0	
		3. あまりそう思わない	15.6	20.8	11.9	20.0	13.8	15.1	18.2	0.0	
		4. ぜんぜんそう思わない	2.0	3.1	1.3	6.0	1.9	1.3	2.0	0.0	
	つりも遅くな	1. とてもそう思う	42.2	36.1	46.5	33.3	40.4	44.9	44.0	25.0	
		2. わりとそう思う	31.1	32.2	30.4	35.3	27.3	33.0	31.0	25.0	
		3. あまりそう思わない	22.7	24.7	21.2	25.5	25.5	20.7	20.0	50.0	
		4. ぜんぜんそう思わない	4.1	7.0	1.9	5.9	6.8	1.3	5.0	0.0	

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性別		年代別						
			男性	女性	20代	30代	40代	50代	それ以上		
9	この数年間の、学校や教師の生活の変化	仕事が多くなった 持ち帰りの多い	1. とてもそう思う	45.0	36.1	51.4	37.3	47.8	46.3	42.6	25.0
			2. わりとそう思う	32.9	32.6	33.1	35.3	29.2	31.7	39.6	50.0
			3. あまりそう思わない	19.5	25.1	15.5	21.6	19.9	20.7	14.9	25.0
			4. ぜんぜんそう思わない	2.6	6.2	0.0	5.9	3.1	1.3	3.0	0.0
	この数年間の、学校や教師の生活の変化	自由で和やかな雰囲気	1. とてもそう思う	16.0	14.1	17.4	13.7	16.8	17.2	13.9	0.0
			2. わりとそう思う	21.3	16.7	24.6	21.6	18.0	26.0	15.8	25.0
			3. あまりそう思わない	47.4	49.8	45.7	39.2	50.9	43.2	54.5	75.0
			4. ぜんぜんそう思わない	15.3	19.4	12.3	25.5	14.3	13.7	15.8	0.0
	この数年間の、学校や教師の生活の変化	示す・伝達が多くなった	1. とてもそう思う	21.5	18.1	24.0	17.6	21.1	25.1	16.8	0.0
			2. わりとそう思う	33.6	29.1	36.9	21.6	29.8	37.4	37.6	25.0
			3. あまりそう思わない	37.1	39.6	35.3	52.9	40.4	30.0	38.6	75.0
			4. ぜんぜんそう思わない	7.7	13.2	3.8	7.8	8.7	7.5	6.9	0.0
	この数年間の、学校や教師の生活の変化	自分の意見を述べた	1. とてもそう思う	9.8	9.4	10.1	10.0	8.8	8.4	15.2	0.0
			2. わりとそう思う	23.0	18.4	26.3	16.0	22.0	26.9	18.2	50.0
			3. あまりそう思わない	51.2	50.7	51.6	60.0	47.8	52.0	50.5	50.0
			4. ぜんぜんそう思わない	16.0	21.5	12.0	14.0	21.4	12.8	16.2	0.0
この数年間の、学校や教師の生活の変化	教師を辞めた	1. とてもそう思う	8.9	4.0	12.4	8.0	7.5	8.0	14.3	0.0	
		2. わりとそう思う	23.3	19.7	25.8	14.0	20.8	29.2	19.4	0.0	
		3. あまりそう思わない	41.3	37.7	43.9	48.0	42.1	38.1	42.9	75.0	
		4. ぜんぜんそう思わない	26.4	38.6	17.8	30.0	29.6	24.8	23.5	25.0	
この数年間の、学校や教師の生活の変化	校内外の見聞が増えた	1. とてもそう思う	13.0	7.6	16.9	16.3	11.3	13.2	14.3	0.0	
		2. わりとそう思う	31.5	32.6	30.7	20.4	31.4	35.7	27.6	25.0	
		3. あまりそう思わない	44.9	45.1	44.7	40.8	47.2	42.7	49.0	25.0	
		4. ぜんぜんそう思わない	10.6	14.7	7.7	22.4	10.1	8.4	9.2	50.0	
この数年間の、学校や教師の生活の変化	教師の勤務時間が厳格された	1. とてもそう思う	26.0	18.8	31.1	18.0	30.0	23.3	30.6	0.0	
		2. わりとそう思う	30.1	29.0	30.8	32.0	22.5	36.1	27.6	25.0	
		3. あまりそう思わない	34.7	38.8	31.7	36.0	38.1	32.6	32.7	50.0	
		4. ぜんぜんそう思わない	9.3	13.4	6.3	14.0	9.4	7.9	9.2	25.0	
この数年間の、学校や教師の生活の変化	健康を害すことが多くなった	1. とてもそう思う	23.3	17.0	27.8	8.0	25.8	23.9	26.8	0.0	
		2. わりとそう思う	40.1	37.2	42.2	40.0	37.1	44.2	36.1	25.0	
		3. あまりそう思わない	29.7	33.6	26.8	38.0	28.3	28.3	28.9	75.0	
		4. ぜんぜんそう思わない	6.9	12.1	3.2	14.0	8.8	3.5	8.2	0.0	
10	次のようなことに自信があるか	パソコンを用いて授業を有利にする能力	1. とても自信がある	5.9	11.3	1.9	9.3	6.9	5.3	4.0	0.0
			2. わりと自信がある	14.8	23.4	8.6	20.4	18.1	12.3	12.9	0.0
			3. 少し自信がある	31.9	32.5	31.4	44.4	33.8	30.8	25.7	0.0
			4. あまり自信がない	35.3	27.7	41.0	20.4	32.5	38.8	39.6	50.0
			5. ぜんぜん自信がない	12.1	5.2	17.1	5.6	8.8	12.8	17.8	50.0
	次のようなことに自信があるか	総合的な学習の時間や知識、実行力	1. とても自信がある	4.8	6.9	3.2	0.0	3.8	4.8	8.9	0.0
			2. わりと自信がある	17.9	26.0	12.1	9.3	16.3	18.9	23.8	0.0
			3. 少し自信がある	35.0	37.2	33.3	35.2	32.5	33.9	39.6	75.0
			4. あまり自信がない	37.4	25.5	46.0	46.3	40.0	39.2	24.8	25.0
			5. ぜんぜん自信がない	4.9	4.3	5.4	9.3	7.5	3.1	3.0	0.0
	次のようなことに自信があるか	英語を話したりする能力	1. とても自信がある	2.2	3.5	1.3	3.7	3.1	0.9	3.0	0.0
			2. わりと自信がある	7.5	7.8	7.3	3.7	6.9	9.3	6.9	0.0
			3. 少し自信がある	18.3	19.9	17.1	27.8	18.1	17.2	16.8	0.0
			4. あまり自信がない	45.1	43.3	46.3	33.3	42.5	47.1	48.5	100.0
			5. ぜんぜん自信がない	26.9	25.5	27.9	31.5	29.4	25.6	24.8	0.0
	次のようなことに自信があるか	新学習指導要領の内容理解と4月からの実施に伴う対応力	1. とても自信がある	3.1	4.8	1.9	1.9	2.5	2.6	6.0	0.0
2. わりと自信がある			16.0	26.8	8.0	5.7	13.2	17.2	24.0	0.0	
3. 少し自信がある			33.0	32.5	33.3	26.4	31.4	30.4	44.0	50.0	
4. あまり自信がない			42.7	32.0	50.6	60.4	46.5	44.9	22.0	50.0	
5. ぜんぜん自信がない			5.2	3.9	6.1	5.7	6.3	4.8	4.0	0.0	

資料2 基礎集計表

質問項目	全体	性別		年代別						
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	それ以上		
10 次のようなことに自信があるか	子ども一人ひとりに自信を持って授業を進める能力	1. とても自信がある	4.3	6.1	2.9	0.0	5.1	4.0	6.1	0.0
		2. わりと自信がある	21.1	27.3	16.5	11.1	19.0	20.4	31.3	25.0
		3. 少し自信がある	39.2	38.5	39.7	31.5	41.1	38.5	42.4	25.0
		4. あまり自信がない	32.0	24.7	37.4	55.6	30.4	34.1	16.2	50.0
		5. ぜんぜん自信がない	3.5	3.5	3.5	1.9	4.4	3.1	4.0	0.0
	社会的な常識や知識、一般的な常識	1. とても自信がある	6.4	12.1	2.2	1.9	5.0	6.6	10.9	0.0
		2. わりと自信がある	30.1	34.2	27.1	14.8	25.8	30.8	43.6	25.0
		3. 少し自信がある	43.5	36.8	48.4	46.3	47.2	41.4	39.6	75.0
		4. あまり自信がない	17.8	14.7	20.1	31.5	20.1	18.5	5.9	0.0
		5. ぜんぜん自信がない	2.2	2.2	2.2	5.6	1.9	2.6	0.0	0.0
	子どもの心理を解する能力	1. とても自信がある	9.0	11.7	7.1	7.4	9.4	6.2	16.0	0.0
		2. わりと自信がある	38.1	35.9	39.7	40.7	37.1	36.7	41.0	50.0
		3. 少し自信がある	40.1	41.1	39.4	33.3	39.6	42.5	39.0	50.0
		4. あまり自信がない	11.8	10.4	12.8	14.8	13.2	13.7	4.0	0.0
		5. ぜんぜん自信がない	0.9	0.9	1.0	3.7	0.6	0.9	0.0	0.0
11 学級経営や教師の職業観	担任クラスは、まぐいっがう	1. とてもまぐいっがう	16.5	18.0	15.6	19.1	11.8	17.5	24.1	0.0
		2. わりとまぐいっがう	58.0	54.7	60.2	46.8	59.6	59.3	57.4	100.0
		3. 少しまぐいっがう	21.6	21.7	21.5	29.8	22.1	21.5	14.8	0.0
		4. あまりまぐいっがう	3.4	4.3	2.7	4.3	5.9	1.1	3.7	0.0
		5. ぜんぜんまぐいっがう	0.5	1.2	0.0	0.0	0.7	0.6	0.0	0.0
	教師になつてよかったと思	1. とてもよかった	40.9	46.6	36.7	53.8	41.1	36.4	43.5	50.0
		2. わりとよかった	32.7	30.8	34.1	21.2	31.6	33.6	39.1	25.0
		3. まあまあよかった	22.4	19.0	24.9	23.1	22.8	25.9	13.0	25.0
		4. あまりよくなかった	3.8	3.2	4.3	1.9	4.4	4.1	3.3	0.0
		5. まったくよくなかった	0.2	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0
	教師を辞めようと思つたことがあるか	1. 今辞めたいと思っている	2.5	0.9	3.6	3.8	0.6	0.9	8.5	0.0
		2. これまでに何度もある	20.0	13.4	24.8	13.5	21.9	21.4	18.1	0.0
		3. 4、5回ある	7.2	6.7	7.5	3.8	6.3	9.5	5.3	0.0
		4. 2、3回ある	23.2	21.9	24.2	15.4	26.9	23.2	20.2	50.0
		5. 1度だけある	10.8	11.6	10.1	5.8	10.0	11.8	11.7	25.0
	教師の仕事を楽しんでいるか	1. とても楽しい	26.4	31.3	22.9	36.5	29.4	21.7	26.9	25.0
		2. わりと楽しい	34.5	32.6	35.9	36.5	31.3	35.7	35.5	50.0
		3. まあまあ楽しい	31.5	27.2	34.6	25.0	32.5	34.4	26.9	25.0
		4. あまり楽しくない	7.0	8.0	6.2	1.9	6.9	7.7	8.6	0.0
		5. ぜんぜん楽しくない	0.6	0.9	0.3	0.0	0.0	0.5	2.2	0.0
	尋ねられたら、何年生を希望するか	1. 1年生	15.5	12.2	18.0	12.0	11.7	14.2	25.9	66.7
		2. 2年生	13.5	6.8	18.3	24.0	10.3	13.7	12.3	0.0
		3. 3年生	23.6	22.9	24.1	18.0	29.7	21.6	21.0	33.3
		4. 4年生	11.4	12.7	10.4	12.0	14.5	11.3	6.2	0.0
		5. 5年生	18.6	22.0	16.2	22.0	17.9	19.6	16.0	0.0
6. 6年生		17.4	23.4	12.9	12.0	15.9	19.6	18.5	0.0	
受け持ちたくない学年は何年生か	1. 1年生	39.7	55.2	29.0	35.0	39.2	42.9	36.2	0.0	
	2. 2年生	2.7	3.0	2.5	0.0	1.7	2.9	5.8	0.0	
	3. 3年生	3.9	2.4	5.0	2.5	4.2	4.0	4.3	0.0	
	4. 4年生	3.4	3.0	3.7	7.5	2.5	4.0	1.4	0.0	
	5. 5年生	11.3	9.7	12.4	22.5	15.8	6.9	7.2	50.0	
	6. 6年生	38.9	26.7	47.3	32.5	36.7	39.4	44.9	50.0	
12 教師としての悩み	年間授業時間が足りない	1. とても感じている	15.1	13.2	16.6	18.9	20.6	11.5	13.0	0.0
		2. わりと感じている	39.3	41.7	37.5	41.5	35.0	42.9	37.0	25.0
		3. あまり感じていない	41.5	40.8	42.0	37.7	41.3	41.6	42.4	75.0
		4. まったく感じていない	4.1	4.4	3.9	1.9	3.1	4.0	7.6	0.0

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性別		年代別								
			男性	女性	20代	30代	40代	50代	それ以上				
12	教 師 と し て の 悩 み	できないが、子どもたちが騒々しく授業に向いていない	1. とても感じている	1.5	0.9	1.9	0.0	2.5	1.3	1.1	0.0		
			2. わりと感じている	13.9	14.0	13.9	22.2	12.5	15.5	8.5	0.0		
			3. あまり感じていない	53.5	53.5	53.5	46.3	54.4	51.8	60.6	50.0		
			4. まったく感じていない	31.0	31.6	30.6	31.5	30.6	31.4	29.8	50.0		
	教 師 と し て の 悩 み	味・関心の興味が	1. とても感じている	2.6	3.9	1.6	0.0	1.3	4.0	3.2	0.0		
			2. わりと感じている	29.2	29.4	29.0	37.0	26.3	29.6	27.7	50.0		
			3. あまり感じていない	54.8	53.1	56.1	48.1	61.9	53.5	52.1	0.0		
			4. まったく感じていない	13.4	13.6	13.2	14.8	10.6	12.8	17.0	50.0		
	教 師 と し て の 悩 み	いざやりに授業が	1. とても感じている	15.4	14.5	16.0	13.5	22.0	12.8	11.8	0.0		
			2. わりと感じている	47.6	50.9	45.1	40.4	49.7	48.7	43.0	100.0		
			3. あまり感じていない	31.5	29.8	32.7	34.6	25.2	33.6	36.6	0.0		
			4. まったく感じていない	5.6	4.8	6.2	11.5	3.1	4.9	8.6	0.0		
	教 師 と し て の 悩 み	い学校の日や夜も	1. とても感じている	26.3	21.0	30.3	22.2	33.1	26.5	17.9	0.0		
			2. わりと感じている	44.9	42.8	46.5	44.4	40.6	45.1	49.5	100.0		
			3. あまり感じていない	24.1	29.3	20.3	27.8	22.5	24.8	24.2	0.0		
			4. まったく感じていない	4.6	7.0	2.9	5.6	3.8	3.5	8.4	0.0		
教 師 と し て の 悩 み	わが子どのを考えたか	1. とても感じている	1.5	0.9	1.9	0.0	0.6	2.7	1.0	0.0			
		2. わりと感じている	17.8	20.4	15.9	9.4	14.4	19.9	21.9	50.0			
		3. あまり感じていない	67.5	64.8	69.6	64.2	74.4	68.1	57.3	50.0			
		4. まったく感じていない	13.2	13.9	12.6	26.4	10.6	9.3	19.8	0.0			
教 師 と し て の 悩 み	均点の悪い	1. とても感じている	1.3	0.9	1.7	0.0	1.3	1.8	1.1	0.0			
		2. わりと感じている	8.9	9.0	8.8	24.5	9.6	6.4	4.6	0.0			
		3. あまり感じていない	68.0	68.9	67.3	50.9	68.8	69.7	71.3	100.0			
		4. まったく感じていない	21.8	21.2	22.2	24.5	20.4	22.0	23.0	0.0			
教 師 と し て の 悩 み	るいクラス内	1. とても感じている	1.0	0.9	1.0	0.0	0.6	1.4	1.1	0.0			
		2. わりと感じている	10.0	10.8	9.5	17.6	7.7	10.4	9.1	0.0			
		3. あまり感じていない	61.8	62.3	61.5	58.8	61.9	60.6	64.8	100.0			
		4. まったく感じていない	27.2	26.0	28.0	23.5	29.7	27.6	25.0	0.0			
教 師 と し て の 悩 み	りがな	1. とても感じている	1.5	2.7	0.7	1.9	1.9	1.4	1.1	0.0			
		2. わりと感じている	11.6	9.9	12.9	17.3	12.3	10.5	10.3	0.0			
		3. あまり感じていない	60.7	63.2	58.8	55.8	63.2	61.2	57.5	75.0			
		4. まったく感じていない	26.1	24.2	27.6	25.0	22.6	26.9	31.0	25.0			
13	勤務のある平日の平均的な時間	か そ 何 分 前 に 着 く か	1. 5分前	10.8	5.6	14.6	7.4	14.3	11.0	6.9	0.0		
			2. 10～15分前	26.1	18.5	31.7	16.7	27.3	26.9	26.5	50.0		
			3. 20～30分前	37.2	32.2	41.0	42.6	38.5	36.1	35.3	25.0		
			4. 40～50分前	15.5	25.8	7.9	24.1	13.7	14.5	15.7	25.0		
			5. 1時間前	7.3	12.0	3.8	5.6	4.3	7.9	11.8	0.0		
			6. それ以上前	3.1	6.0	1.0	3.7	1.9	3.5	3.9	0.0		
			く ら い か	平日(月～金)の退勤時刻は、およそ何時か	1. 5時前	0.5	0.9	0.3	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0
					2. 5時頃	4.7	3.9	5.4	3.7	3.1	3.5	10.8	0.0
	3. 5時半頃	17.5			10.3	22.9	7.4	17.4	18.5	20.6	25.0		
	4. 6時頃	28.3			27.9	28.6	7.4	31.7	31.3	28.4	0.0		
	5. 6時半頃	21.7			22.3	21.3	22.2	23.6	21.1	19.6	25.0		
	6. 7時頃	14.2			16.7	12.4	25.9	11.2	13.7	12.7	50.0		
	7. 7時半頃	6.2	8.2	4.8	18.5	5.0	5.7	2.9	0.0				
	8. 8時以降	6.8	9.9	4.4	14.8	8.1	4.8	4.9	0.0				

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性別		年代別						
			男性	女性	20代	30代	40代	50代	それ以上		
13	勤務のある平日の平均的な時間 いらか 学校のおよそどのくらいか 平日、家に帰ってからの仕事をしるか	1. しない	12.8	18.5	8.6	20.4	13.7	8.8	17.0	0.0	
		2. 30分くらい	16.5	19.7	14.1	13.0	16.1	18.1	15.0	25.0	
		3. 1時間くらい	34.6	31.8	36.7	38.9	34.8	33.9	33.0	50.0	
		4. 1時間半くらい	15.6	9.4	20.1	13.0	12.4	18.5	16.0	0.0	
		5. 2時間くらい	16.5	18.0	15.3	11.1	17.4	17.6	15.0	25.0	
		6. 3時間くらい	3.1	1.7	4.2	1.9	5.0	2.2	3.0	0.0	
		7. それ以上	0.9	0.9	1.0	1.9	0.6	0.9	1.0	0.0	
	何時くらいか 就寝時刻は、およそ	1. 9時前	0.6	0.9	0.3	0.0	1.3	0.0	1.0	0.0	
		2. 9時頃	2.0	2.1	1.9	0.0	2.5	2.7	1.0	0.0	
		3. 10時頃	10.1	8.6	11.2	3.7	15.0	7.6	11.8	0.0	
		4. 11時頃	32.8	33.0	32.7	35.2	26.9	32.4	42.2	25.0	
		5. 12時頃	40.9	39.1	42.3	40.7	41.9	41.8	36.3	75.0	
		6. 1時頃	11.7	14.2	9.9	18.5	11.3	12.9	6.9	0.0	
		7. それ以降	1.8	2.1	1.6	1.9	1.3	2.7	1.0	0.0	
14	教師と一般的企业に勤める人との比較	忙しさ	1. 絶対教師の方	13.2	7.1	17.9	11.5	8.5	13.9	20.6	0.0
			2. どちらかといえば教師	43.3	37.2	48.0	36.5	42.5	46.3	39.2	100.0
			3. どちらかといえば企業の人	35.4	43.8	29.1	44.2	41.8	32.4	28.9	0.0
			4. 絶対企業の人の方	8.0	11.9	5.1	7.7	7.2	7.4	11.3	0.0
	さる仕事が多	1. 絶対教師の方	52.2	41.3	60.4	42.6	56.7	54.0	46.5	50.0	
		2. どちらかといえば教師	42.0	50.0	36.0	38.9	38.2	42.4	48.5	50.0	
		3. どちらかといえば企業の人	5.0	7.0	3.6	16.7	5.1	2.7	4.0	0.0	
		4. 絶対企業の人の方	0.7	1.7	0.0	1.9	0.0	0.9	1.0	0.0	
	多さ	ストレスの	1. 絶対教師の方	22.5	17.3	26.4	11.5	17.5	27.4	24.2	50.0
			2. どちらかといえば教師	42.9	43.6	42.5	46.2	46.8	40.2	42.1	25.0
			3. どちらかといえば企業の人	28.6	29.3	28.1	28.8	28.6	28.8	28.4	25.0
			4. 絶対企業の人の方	5.9	9.8	3.0	13.5	7.1	3.7	5.3	0.0
	収入の多さ	1. 絶対教師の方	2.1	1.8	2.3	5.6	0.7	1.8	3.2	0.0	
		2. どちらかといえば教師	29.3	25.6	32.1	38.9	31.4	27.9	21.5	75.0	
		3. どちらかといえば企業の人	49.2	49.3	49.2	42.6	46.4	49.1	59.1	25.0	
		4. 絶対企業の人の方	19.4	23.3	16.4	13.0	21.6	21.2	16.1	0.0	
	多さ	家族旅行やスポーツの時間	1. 絶対教師の方	8.0	7.8	8.1	17.3	9.2	6.3	5.2	0.0
			2. どちらかといえば教師	48.3	46.1	50.0	53.8	52.6	45.5	44.8	50.0
			3. どちらかといえば企業の人	35.7	36.1	35.5	23.1	29.6	39.6	42.7	50.0
			4. 絶対企業の人の方	8.0	10.0	6.4	5.8	8.6	8.6	7.3	0.0
	情熱	仕事に対する熱心さ	1. 絶対教師の方	14.4	14.3	14.5	21.6	15.2	11.4	16.7	0.0
			2. どちらかといえば教師	63.7	59.8	66.8	60.8	62.8	67.3	58.3	75.0
			3. どちらかといえば企業の人	19.3	22.3	17.0	11.8	20.0	19.0	22.9	25.0
			4. 絶対企業の人の方	2.6	3.6	1.8	5.9	2.1	2.4	2.1	0.0
	こだわり	高学歴への	1. 絶対教師の方	1.9	1.3	2.4	2.0	1.3	1.8	3.1	0.0
			2. どちらかといえば教師	19.7	18.5	20.6	5.9	14.5	20.9	32.3	25.0
			3. どちらかといえば企業の人	58.5	52.4	63.2	68.6	59.2	59.1	50.0	75.0
			4. 絶対企業の人の方	19.9	27.8	13.9	23.5	25.0	18.2	14.6	0.0
つまさ	間さや余暇の趣味の豊か	1. 絶対教師の方	2.1	4.0	0.7	5.7	0.0	1.8	4.1	0.0	
		2. どちらかといえば教師	22.5	24.2	21.2	24.5	24.5	23.4	17.3	0.0	
		3. どちらかといえば企業の人	62.2	57.3	66.0	52.8	64.2	60.6	66.3	100.0	
		4. 絶対企業の人の方	13.2	14.5	12.1	17.0	11.3	14.2	12.2	0.0	
社会性	1. 絶対教師の方	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0		
	2. どちらかといえば教師	5.5	8.0	3.6	5.7	3.9	5.4	8.1	0.0		
	3. どちらかといえば企業の人	66.5	59.7	71.5	60.4	65.6	67.0	68.7	100.0		
	4. 絶対企業の人の方	27.9	31.9	24.9	34.0	30.5	27.1	23.2	0.0		